アラームイモビライザーガイド Vol.2

販売店様専用

2009.2

はじめに

平素は、ヤマハアラームイモビライザーを販売頂きまして誠にありがとうございます。

本書は、ヤマハアラームイモビライザーの商品情報とサービス情報を販売店様専用に編集したものです。お客様への販売やアフターサービス等での対応用資料としてご活用ください。

なお、盗難抑止装置の商品特性上、本書をお客様等に閲覧及び販売されないようお願い申し上げます。

本書は、発行日現在でヤマハアラームイモビライザーが設定されているモデルについて記載させていただきました。

旧モデルについては、2003年6月発行のアラームイモビライザーガイドをご参照願います。

株式会社 ワイズギア
営業部

ヤマハ発動機販売 株式会社
部品営業部

- 掲載価格はすべてメーカー希望小売価格です。
- 価格には消費税、工賃、送料等は含まれておりません。
- 商品の仕様及び価格は予告なく変更される場合があります。
- 商品は予告なく販売を終了させていただく場合があります。
- 商品の仕様及び価格は平成21年2月現在のものです。

目次

1. 商品ラインナップ

■ 商品ラインナップ

A322

アラームイモビライザー **NEWベーシック**

90793-67136 **13,440**円（本体価格12,800円）

Gセンサー仕様により2方向の感知が可能。小型化により軽量化。

■構成品／Gセンサー内蔵式本体ユニット、LEDインジケーター、サイレン

A321

アラームイモビライザー **リモコンシャッター車用**

90793-67135 **15,540**円（本体価格14,800円）

Gセンサー仕様により2方向の感知が可能。小型化により軽量化。車両のリモコンに連動して乗車時の解除を行ないます。

■構成品／Gセンサー内蔵式本体ユニット、LEDインジケーター、サイレン

A323

アラームイモビライザー **NEWスクーター**

90793-67192 **12,390**円（本体価格11,800円）

Gセンサー仕様により2方向の感知が可能。小型化により軽量化。

■構成品／Gセンサー内蔵式本体ユニット、LEDインジケーター、サイレン

A324

アラームイモビライザー **イモビライザー標準装備車用**

90793-67205 **14,490**円（本体価格13,800円）

イモビライザーが標準装備された車両専用のアラームユニットです。車両の揺れを検知したときに、サイレンを5秒間鳴らします。また、メインスイッチの不正操作に対しても3回の警告後、5秒間サイレンを鳴らします。
※車両のイモビライザーと連動タイプのため、本機にイモビライザー機能はありません。

■構成品／Gセンサー内蔵式本体ユニット、LEDインジケーター、サイレン

A325

アラームイモビライザー **スマートキー車用**

90793-67236 **16,800**円（本体価格16,000円）

OFF操作が車両のスマートキーと連動する便利な専用タイプ。
車両の揺れを検知したときに、サイレンを5秒間鳴らします。
※本機にイモビライザー機能はありません。

■構成品／Gセンサー内蔵式本体ユニット、LEDインジケーター、サイレン

1. 商品ラインナップ

■ 車種別適合表

モデル型式（センサー仕様）					A324（Gセンサー）		A322（Gセンサー）		A281（水銀センサー）		A306（水銀センサー）	
名称					イモビライザー標準装備車用		NEWベーシック		リモコン付		ベーシック	
品番					90793-67205		90793-67136		90793-67087		90793-67086	
価格					14,490円		13,440円		26,040円		11,445円	
取扱マニュアル参照ページ					4-16		4-11		4-12*		4-21*	
車種	仕向地	年式	型式	工数 (h)	ワイヤーリードの設定はありません		別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード	
					参照ページ		参照ページ		参照ページ		参照ページ	
					取付方法	結線図	取付方法	結線図	取付方法	結線図	取付方法	結線図
MT-01	EUR	’05～’08	5YU1,3,4,8,B,H	0.3	○ 3-54	5-8	–		–			
FJR1300A / AS	EUR	’06～’09	3P61,7,D,K,V 2D21,7 D,K,V	0.3	○ 3-56	5-8	–		–			
FJR1300 / A	EUR	’03～’05	5VS1,7,D 5JWG,N	0.3	○ 3-58	5-8	–		–			
FJR1300	EUR	’01～’02	5JW1,4	0.5	–		○ 90793-67113 90793-67139 5-44*	5-56*	○ 90793-67113 5-90*	5-100*	5-90*	5-100*
V-MAX	全て	全て	全て	–	装着できません							
XJR1300	JPN	’03～’09	5UX3,4,5,6,7,8, 9,B,C,D,E	0.3	○ 3-60	5-8	○ Q5K-YSK-001-U33 （5UX3,4のみ）※1 5-42*	5-50*	–			
	JPN	’02	5UX1,2	0.3	–		○ 3-14	5-2	○ 90793-67138 5-88*	5-100*	5-88*	5-100*
	JPN	’98～’01	5EA1,7,9,G,P,R,S	0.3	–		○ 90793-67139 3-14	5-3	○ 5-88*	5-94*	5-88*	5-94*
XJR1200	JPN	’94～’96	4KG1,2,3,4	0.5	–		○ 90793-66905 +90793-67139 5-40*	5-55*	○ 90793-66905 5-86*	5-99*	5-86*	5-99*
YZF-R1	CAN	’07～’08	4C86,D	0.3	○ 3-62	5-8	–		–			
	AUS CAN	’04～’06	5VY3,C,K,N 4B16	0.3	○ 3-64	5-8	–		–			
	EUR	’02～’03	5PW1,7	0.8	–		○ 90793-67140 5-36*	5-55*	–			
		’00～’01	5JJ1,8	0.8	–		○ 90793-67113 +90793-67139 5-34*	5-54*	○ 90793-67113 5-82*	5-99*	5-82*	5-99*
		’98～’99	4XV1,7	0.8	–		○ 90793-67144 +90793-67139 5-34*	5-54*	○ 90793-67114 –	5-98*	–	5-98*
FZ-1 / FZ-1 FAZER	JPN	’08～’09	2D1A / 3C3G,W	0.4	○ 3-66	5-8	–		–			
FZS1000 FAZER	EUR	’01～’03	5LV1,8,F	0.8	–		○ 90793-67114 90793-67139 5-32*	5-53*	○ 90793-67114 （5LV1,8のみ） 5-80*	5-98*	5-80*	5-98*
TDM900	EUR	’04～’09	5PS6,8,A,C,E,G,H 2B01,4,5,7	0.3	○ 3-68	5-8	–		–			
TDM850	JPN	’98～’99	5GG1,2	0.4	–		○ 90793-67139 3-16	5-3	○ 5-78*	5-94*	5-78*	5-94*
YZF-R6	CAN	’08～’09	13S6,9,G,K	0.3	○ 3-70	5-8	–		–			
	CAN	’06～’07	2C07,A,H	0.3	○ 3-72	5-8	–		–			
FZ6 / FZ6 S2 FZ6 FAZER FZ6 FAZER S2	EUR	’04～’09	1B31,3,5,7,9,B 5S51 / 5VX1,6,B,D 4S81,6,B / 5S22,3	0.4	○ 3-74	5-8	–		–			

※ 適合表以外の車種には取付けできません。
※1：イモビライザー機能付メインスイッチとの連動機能はありません。
*　：アラームイモビライザーガイド（2003年6月発行）をご覧ください。
▭：生産終了しておりますので、販売は終了しています。

モデル型式（センサー仕様）					A324（Gセンサー）		A322（Gセンサー）		A281（水銀センサー）		A306（水銀センサー）	
名称					イモビライザー標準装備車用		NEWベーシック		リモコン付		ベーシック	
品番					90793-67205		90793-67136		90793-67087		90793-67086	
価格					14,490円		13,440円		26,040円		11,445円	
取扱マニュアル参照ページ					4-16		4-11		4-12*		4-21*	
車種	仕向地	年式	型式	工数(h)	ワイヤーリードの設定はありません		別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード	
					参照ページ		参照ページ		参照ページ		参照ページ	
					取付方法	結線図	取付方法	結線図	取付方法	結線図	取付方法	結線図
FZ400	JPN	'97	4YR1,2,3	0.5	－		○ 90793-66907 +90793-67139		○ 90793-66907			
							5-18*	5-51*	5-66*	5-95*	5-66*	5-95*
SR400	JPN	'03～'08	3HTF,G,H,J,K,L,M,N,P,S	0.5	○		○ Q5K-YSK-001-U33（3HTF,G,Hのみ）※1		－			
					3-76	5-8	5-16*	5-50*				
XJR400R	JPN	'04～'07	4HMH,J,K,L	0.3	○		－		－			
					3-78	5-8						
	JPN	'98～'03	4HM9,A,B,C,D,E,F,G	0.3	－		○ 90793-67139		○（4HMGは除く）			
							3-18	5-3	5-70*	5-96*	5-70*	5-96*
	JPN	'95～'96	4HM3,4,5,6,7	0.5	－		○ 90793-67184 +90793-67139		○ 90793-67184			
							5-20*	5-52*	5-68*	5-96*	5-68*	5-96*
TW225 / 200	全て	全て	全て	－	装着できません							
ROAD STAR（XV1600）	JPN	'99～'00	5JA3,6	0.5	－		○ 90793-67139		○			
							3-20	5-3	5-92*	5-94*	5-92*	5-94*
DS11	JPN	'05～'08	3B91,2,3,4,5,6,7,8	0.4	○		－		－			
					3-80	5-8						
	JPN	'02～'03	5PBC,H	0.4	－		○		○ 90793-67138（5PBCのみ）			
							3-22	5-2	5-84*	5-100*	5-84*	5-100*
	JPN	'99～'01	5EL4,E / 5PB1	0.4	－		○ 90793-67139		○			
							3-22	5-3	5-84*	5-94*	5-84*	5-94*
DSC11	JPN	'03～'08	5KSP / 5YS6,G,S 11P1,2,3	0.4	○		○ Q5K-YSK-001-U33（5KSPのみ）※1		－			
					3-80	5-8	5-38*	5-50*				
	JPN	'02	5KSH	0.4	－		○		○ 90793-67138			
							3-22	5-2	5-84*	5-100*	5-84*	5-100*
	JPN	'01	5KS6	0.4	－		○ 90793-67139		○			
							3-22	5-3	5-84*	5-94*	5-84*	5-94*
DS4	JPN	'03～'08	5KP8,B,C,E,H,K,L,M	0.5	○		○ Q5K-YSK-001-U33（5KP8のみ）※1		－			
					3-82	5-8	5-24*	5-50*				
	JPN	'02	5KP7	0.5	－		○		○ 90793-67138			
							3-24	5-2	5-72*	5-100*	5-72*	5-100*
	JPN	'00～'01	5KP1,2,4	0.5	－		○ 90793-67139		○			
							3-24	5-3	5-72*	5-94*	5-72*	5-94*
DSC4	JPN	'04～'08	5KP9,D,F,G,J,N,P	0.5	○		－		－			
					3-82	5-8						
	JPN	'02～'03	5KP6,A	0.5	－		○		○ 90793-67138（5KP6のみ）			
							3-24	5-2	5-72*	5-100*	5-72*	5-100*
	JPN	'98～'01	4TR5,7,9 / 5KP3	0.5	－		○ 90793-67139		○			
							3-24	5-3	5-72*	5-94*	5-72*	5-94*
DS250	JPN	'08	19D1,2	0.5	－		○		－			
							3-26	5-2				
	JPN	'02～'07	5KR7,B,D,F,G,J	0.5	－		○		○ 90793-67138（5KR7のみ）			
							3-28	5-2	5-64*	5-100*	5-64*	5-100*
	JPN	'00～'01	5KR1,4	0.5	－		○ 90793-67139		○			
							3-28	5-3	5-64*	5-94*	5-64*	5-94*

※ 適合表以外の車種には取付けできません。
※1 ：イモビライザー機能付メインスイッチとの連動機能はありません。
* ：アラームイモビライザーガイド（2003年6月発行）をご覧ください。
▭ ：生産終了しておりますので、販売は終了しています。

1. 商品ラインナップ

モデル型式（センサー仕様）					A324（Gセンサー）		A322（Gセンサー）		A281（水銀センサー）		A306（水銀センサー）	
名称					イモビライザー標準装備車用		NEWベーシック		リモコン付		ベーシック	
品番					90793-67205		90793-67136		90793-67087		90793-67086	
価格					14,490円		13,440円		26,040円		11,445円	
取扱マニュアル参照ページ					4-16		4-11		4-12*		4-21*	
車種	仕向地	年式	型式	工数(h)	ワイヤーリードの設定はありません		別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード	
					参照ページ		参照ページ		参照ページ		参照ページ	
					取付方法	結線図	取付方法	結線図	取付方法	結線図	取付方法	結線図
XT660R / X	EUR	'04～'08	5VK1,6,8,A 1D21,4 / 10S1,3	0.3	○ 3-84	5-8	–		–			
WR250R / X	全て	全て	全て	–	装着できません							
TRICKER	全て	全て	全て	–	装着できません							
SEROW	全て	全て	全て	–	装着できません							
XT250X	全て	全て	全て	–	装着できません							
TMAX	JPN	'08	4B53	1.0	○ 3-86	5-8	–		–			
	EUR JPN	'04～'07	5VU1,3,5,6,9,D 15B7,8	1.0	○ 3-88	5-8	–		–			
	JPN	'01～'03	5GJ4,8,B,C	1.0	–		○ 90793-67112 90793-67139		○ 90793-67112（5GJ4,8のみ） TMAX専用品（90793-67111）の場合は本体に同梱			
							5-26*	5-52*	5-74*	5-97*	5-74*	5-97*
	EUR	'01～'02	5GJ1,5	1.0	–		○ 90793-67112 90793-67139		○ 90793-67112 TMAX専用品（90793-67111）の場合は本体に同梱			
							5-28*	5-53*	5-76*	5-97*	5-76*	5-97*

※ 適合表以外の車種には取付けできません。
＊　：アラームイモビライザーガイド（2003年6月発行）をご覧ください。
：生産終了しておりますので、販売は終了しています。

モデル型式（センサー仕様）					A321（Gセンサー）		A325（Gセンサー）	
名称					リモコンシャッター車用		スマートキー車用	
品番					90793-67135		90793-67236	
価格					15,540円		16,800円	
取扱マニュアル参照ページ					4-6		4-21	
車種	仕向地	年式	型式	工数(h)	ワイヤーリード設定はありません		ワイヤーリード設定はありません	
					参照ページ		参照ページ	
					取付方法	結線図	取付方法	結線図
GRAND MAJESTY 400	JPN	'05～'08	5RU9,M,S,V	0.9	○ 3-8	5-1	–	
GRAND MAJESTY 250	JPN	'04～'07	5VG1,2,3,4	0.9	○ 3-8	5-1	–	
MAJESTY（4D9）	JPN	'07	4D91	0.5	–		○ 3-90	5-9
MAXAM	JPN	'05～'07	1B71,4,5,7	0.4	○ 3-12	5-1	–	

※ 適合表以外の車種には取付けできません。

モデル型式（センサー仕様）					A321（Gセンサー）		A322（Gセンサー）		A281（水銀センサー）		A306（水銀センサー）	
名称					リモコンシャッター車用		NEWベーシック		リモコン付		ベーシック	
品番					90793-67135		90793-67136		90793-67087		90793-67086	
価格					15,540円		13,440円		26,040円		11,445円	
取扱マニュアル参照ページ					4-6		4-11		4-12*		4-21*	
車種	仕向地	年式	型式	工数(h)	ワイヤーリードの設定はありません		別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード	
					参照ページ		参照ページ		参照ページ		参照ページ	
					取付方法	結線図	取付方法	結線図	取付方法	結線図	取付方法	結線図
MAJESTY（5SJ）	JPN	'02～'06	5SJ1,3,4,C,D,E, F,H,J,L,M,N	0.4	○		○ ※2（5SJ1,3,4,C,D,E,Fのみ）		○ 90793-67138 ※2（5SJ1,3,4のみ）			
					3-10	5-1	5-12*	5-49*	5-62*	5-100*	5-62*	5-100*

※ 適合表以外の車種には取付けできません。
※2：本体付属のリモコンとの連動機能はありません。
＊　：アラームイモビライザーガイド（2003年6月発行）をご覧ください。
：生産終了しておりますので、販売は終了しています。

モデル型式（センサー仕様）					A322（Gセンサー）		A281（水銀センサー）		A306（水銀センサー）		A301（水銀センサー）	
名称					NEWベーシック		リモコン付		ベーシック		スクーター	
品番					90793-67136		90793-67087		90793-67086		90793-67037	
価格					13,440円		26,040円		11,445円		9,345円	
取扱マニュアル参照ページ					4-11		4-12*		4-21*		4-21*	
車種	仕向地	年式	型式	工数(h)	別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード	
					参照ページ		参照ページ		参照ページ		参照ページ	
					取付方法	結線図	取付方法	結線図	取付方法	結線図	取付方法	結線図
MAJESTY（5GM）	JPN	’00～’01	5GM1,8	0.9	○ 90793-67139		○				○ 90793-67185	
					3-30	5-3	5-62*	5-94*	5-62*	5-94*	5-164*	5-171*
MAJESTY（4HC / 5CG）	JPN	’98～’99	5CG2,4	0.9	○ 90793-67139		○				○ 90793-67185	
					3-30	5-3	5-62*	5-94*	5-62*	5-94*	5-164*	5-171*
MAJESTY 125	全て	全て	全て	－	装着できません							

※ 適合表以外の車種には取付けできません。
*　：アラームイモビライザーガイド（2003年6月発行）をご覧ください。
▭：生産終了しておりますので、販売は終了しています。

モデル型式（センサー仕様）					A323（Gセンサー）		A301（水銀センサー）		A305（水銀センサー）	
名称					NEWスクーター		スクーター		リモコンジョグ専用	
品番					90793-67192		90793-67037		90793-67090	
価格					12,390円		9,345円		10,395円	
取扱マニュアル参照ページ					4-11		4-21*		4-26*	
車種	仕向地	年式	型式	工数(h)	別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード		別売ワイヤーリード	
					参照ページ		参照ページ		参照ページ	
					取付方法	結線図	取付方法	結線図	取付方法	結線図
CYGNUS X FI	JPN	’07～’08	28S1,2	0.6	○ 90793-67259 ※3		－		－	
					3-32	5-4				
CYGNUS X	JPN	’03～’07	5UA1,2,4,5,6,7,8,9,A,B	1.0	○ 90793-67206		－		－	
					3-34	5-4				
GRAND AXIS 100（YA100W）	JPN	’98～’07	5FA1,2,3,4,5,6	0.5	○ 90793-67142		○ 90793-67142（5FA1,2,3のみ）		－	
					3-36	5-5	5-162*	5-171*		
VOX（XF50）	JPN	’06～’09	3B31,4,5,A,D,E	0.4	○ 90793-67258 ※3		－		－	
					3-38	5-5				
VINO molfe（XC50H）	JPN	’09	37B1	0.5	○ 90793-67258 ※3		－		－	
					3-40	5-5				
VINO 4サイクル FI（XC50）	JPN	’08	13P2,3,4	0.5	○ 90793-67258 ※3		－		－	
					3-40	5-5				
VINO 4サイクル（XC50）	JPN	’04～’07	5ST1,3,9,B,D,F,K,L,M,S,V,W,X	1.0	○ 90793-67222		－		－	
					3-42	5-6				
VINO 2サイクル（YJ50R）	JPN	’01～’03	5AUE,F,G,H,J,K,L,M,N	0.5	○ 90793-67141		○ 90793-67141		－	
					5-108*	5-133*	5-144*	5-167*		
	JPN	’00	5AU9,A,B,C,D	0.5	○ 90793-67186		○ 90793-67186		－	
					5-106*	5-132*	5-142*	5-166*		
	JPN	’97～’99	5AU1,2,3,4,5,6,7,8	0.5	○ 90793-67188（5AU7,8のみ）		○ 90793-67188		－	
					5-104*	5-132*	5-140*	5-166*		
APRIO（YJ50）	JPN	’00～’01	4JP9,A	0.5	○ 90793-67041		○ 90793-67041		－	
					5-112,114*	5-133*	5-148*	5-167*		
	JPN	’94～’98	4JP1,2,3,4,5,6,7,8	0.5	○ 90793-67188（4JP8のみ）		○ 90793-67188		－	
					5-110*	5-132*	5-146*	5-166*		
JOG 4サイクル（CE50）	JPN	’07～’09	3P31,2,3,4,5	0.5	○ 90793-67258 ※3		－		－	
					3-46	5-5				
JOG（CV50 / A / R）	JPN	’01～’07	5KN1,2,3,4,5,6 5SU1,2,3,4,5,6,7,8,B,C	0.5	○90793-67207 ※2		－		○（5KN1,2,3,4,5,6 / 5SU1,2のみ）	
					3-48	5-6			5-173*	5-176*
JOG ZR（CV50ZR）	JPN	’01～’07	5PT1,2 5SW1,2,3,4,5,6,7,8	0.5	○ 90793-67207 ※2		－		○（5PT1,2 / 5SW1のみ）	
					3-48	5-6			5-173*	5-176*
JOG POCHE（YV50H）	JPN	’99～’07	5GD1,2,3,4,5,6	0.5	○ 90793-67141		－		－	
					3-50	5-7				

※ 適合表以外の車種には取付けできません。
※2：本体付属のリモコンとの連動機能はありません。
※3：イモビライザー機能はありません。アラーム機能のみとなります。
*　：アラームイモビライザーガイド（2003年6月発行）をご覧ください。
▭：生産終了しておりますので、販売は終了しています。

1.商品ラインナップ

モデル型式（センサー仕様）					A323（Gセンサー）		A301（水銀センサー）		A305（水銀センサー）	
名称					NEWスクーター		スクーター		リモコンジョグ専用	
品番					90793-67192		90793-67037		90793-67090	
価格					12,390円		9,345円		10,395円	
取扱マニュアル参照ページ					4-11		4-21*		4-26*	
車種	仕向地	年式	型式	工数(h)	別売ワイヤーリード 参照ページ		別売ワイヤーリード 参照ページ		別売ワイヤーリード 参照ページ	
					取付方法	結線図	取付方法	結線図	取付方法	結線図
SUPER JOG ZR（YG50ZR）	JPN	'00	3YKB	0.5	○ 90793-67187		○ 90793-67187		–	
					5-118*	5-134*	5-152*	5-168*		
	JPN	'94～'98	3YK2,3,4,6,7,8,9,A	0.5	○ 90793-67189（3YKAのみ）		○ 90793-67189		–	
					5-116*	5-134*	5-150*	5-168*		
JOG POCHE（YV50H）	JPN	'99～'03	5GD1,2,3	0.5	○ 90793-67141		○ 90793-67141		–	
					5-120*	5-133*	5-156*	5-167*		
JOG POCHE（CV50H）	JPN	'94～'98	3KJ9,C,F	0.5	–		○ 90793-67188		–	
							5-154*	5-169*		
JOG ハンドルマウントヘッドライト（YV50Z）	JPN	'98～'00	5EM1,2,3,4	0.5	○ 90793-67038（5EM3,4のみ）		○ 90793-67038		–	
					5-122*	5-135*	5-158*	5-169,170*		
JOG 下付ヘッドライト（YV50C）	JPN	'98～'99	5BM1,3	0.5	○ 90793-67142（5BM3のみ）		○ 90793-67142		–	
					5-124*	5-135*	5-160*	5-170*		
GEAR FI（BX50）	JPN	'07～'08	10B1,2,3	0.5	○ 90793-67258 ※3		–		–	
					3-52	5-5				

※ 適合表以外の車種には取付けできません。
※3：イモビライザー機能はありません。アラーム機能のみとなります。
*　：アラームイモビライザーガイド（2003年6月発行）をご覧ください。
▭：生産終了しておりますので、販売は終了しています。

■ 補修部品一覧表

名称	商品番号	価格	備考
サイレン	90793-67129	2,100円（2,000円）	
インジケーターランプ（角）	90793-67190	1,050円（1,000円）	
インジケーターランプ（丸）	90793-67137	1,575円（1,500円）	リモコンシャッター車用 スマートキー車用

※（　）内は本体価格です。

2. 商品特長・仕様

■ 主な特長

●３重抑止機能

・音で警報を出すアラーム機能※1
・エンジンを始動できなくするイモビライザー機能※2
・光で警告するLEDインジケーターランプ

上記の３重の機能で盗難を抑止します。また、G（加速度）センサーを採用したことで盗難検知力が向上しました。さらに添付の「盗難警報機装着車」表示シールを貼れば、より効果が強まります。

※１：警報音は、振動または傾きの変化を感知すると５秒間鳴って止まり、すぐ自動的にシステムのセット状態に入ります。

※２：イモビライザー装着車、スマートキー車および50cc FI車にはイモビライザー機能はありません。

●メインスイッチによる簡単操作

操作は、バイクのメインスイッチだけで簡単に行なえます。システムのセットはメインスイッチをOFFにするだけです。また、セット完了を60秒後に確認音でユーザーに知らせます。

●省スペース設計による取付け作業性向上

ヤマハ車専用に開発した商品ですので取付けは確実です※3。さらに本体とセンサーを一体化したうえで体積比も旧モデルに対して約70%に抑えたため、作業性が向上しました。

※３：取付けには本製品（アラームイモビライザー）の他に、車種別のワイヤーリードを別途お買い上げいただく車種があります。

●バッテリーに負担をかけない省電力設計

作動中のバッテリー消費が心配ですが、本製品は消費電流が0.5mA以下となっています。バッテリーに負担をかけない安心設計です。

主要機能

①アラーム機能
車両の揺れや傾きの変化、あるいはメインスイッチへの不正操作を感知し、サイレン吹鳴による警告を行なう

②イモビライザー機能
エンジンの点火を遮断し、エンジンを始動できなくする

③自動セット機能
車両のメインスイッチをOFFにすることにより、60秒後にシステムがセットされる

④アラームキャンセル機能
給油時、整備時アラーム機能のみキャンセル可能

⑤感度調整機能
メインスイッチの操作によりセンサーの感度が調整可能

⑥スリープ機能
システムのセット状態が約１週間続くと自動的にLED点滅を停止させ省電力化を行なう

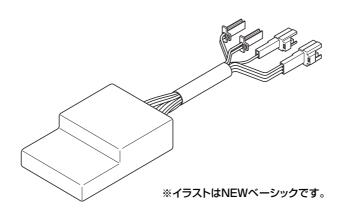
⑦バッテリー電圧検出機能
バッテリー電圧が10V程度まで低下すると、システムの解除時にサイレンにて警告をする

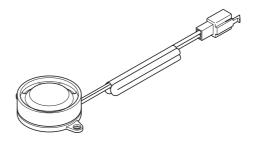
2. 商品特長・仕様

■ 各部品の説明

1）本体

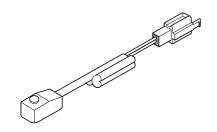
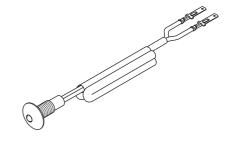
システムのセット、解除、インジケーターランプの表示などの制御を行ないます。
また、車両の移動等を内蔵のセンサーが検出して、サイレンを作動させる制御をしています。

※イラストはNEWベーシックです。

2）サイレン

アラーム本体の制御により、警報音を発します。

3）インジケーターランプ

点灯、点滅により、システムのセット、解除などの状態を表示します。

・NEWベーシック、イモビライザー標準装備車用、NEW スクーター

・リモコンシャッター車、スマートキー車用

■ 商品仕様

＜全モデル共通＞

本体	定格電圧	DC12V
	使用電圧範囲	DC8～16V
	消費電流	0.5mA 以下（待機時）
	外径寸法	70×56×25.5（mm）
	重量	125g
サイレン	形式	圧電式
	定格電圧	DC12V
	出力音圧レベル	122±5dB/12V/10cm
	周波数	2～4kHz
	重量	40g
インジケーターランプ	形式	LED（発光ダイオード）
	発光色	赤色
	重量	22g（A321、A325） 50g（A322、A323、A324）

■ 保証とアフターサービス

保証書	この製品の保証書はパッケージに添付されています。
保証期間	お買い上げ日より1年間です。 正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が無料修理いたします。
保証期間経過後の修理	お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。 修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により有料修理いたします。 修理のためお買い上げの販売店にお持ちになるときは、本体とインジケーターランプ、サイレンを一緒にお持ちください。
お願い	保証書に必要事項をご記入の上、大切に保管してください。また、保証書に忘れずにシリアルナンバーをご記入ください。 ＊シリアルナンバーは、本体のラベルに記載されています。

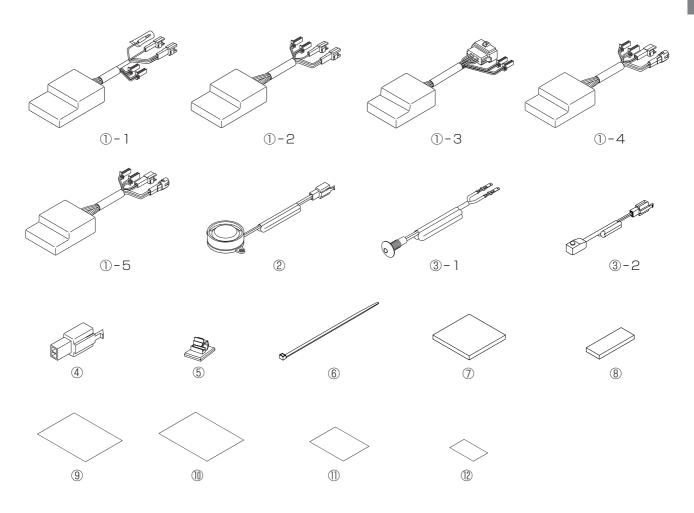
3. 取付方法

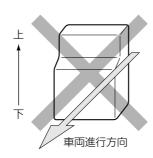
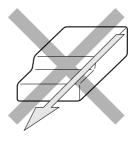
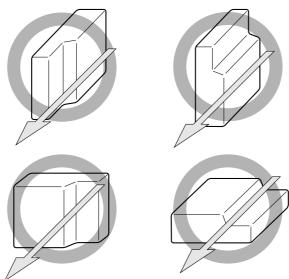
■ セットに含まれる部品

構成部品一覧表

モデル型式	A321	A325	A322	A323	A324
名称	リモコンシャッター車用	スマートキー車用	NEWベーシック	NEWスクーター	イモビライザー標準装備車用
本体	①-1 × 1	①-5 × 1	①-2 × 1	①-3 × 1	①-4 × 1
サイレン	②-1 × 1				
インジケーターランプ	③-1 × 1		③-2 × 1		
インジケーターランプ用カプラー（赤）	④-× 1		—		
クランプ	⑤ × 1				
バンド	⑥ × 3				
取付け用両面接着テープ（大）	⑦ × 1				
取付け用両面接着テープ（小）	⑧ × 1				
取扱説明書	⑨（A321用）×1	⑨（A325用）×1	⑨（A322用）×1	⑨（A323用）×1	⑨（A324用）×1
取付説明書	⑩（A321用）×1	⑩（A325用）×1	⑩（A322用）×1	⑩（A323用）×1	⑩（A324用）×1
保証書	⑪ × 1				
盗難抑止シール	⑫ × 1				

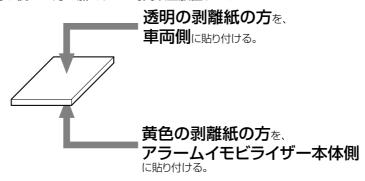
3

3. 取付方法

■ 取付上の注意

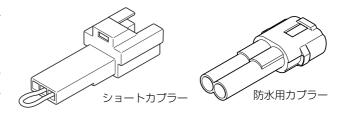
● 取付け方向についての注意事項

上記のように、本体を取付けますと、車両の姿勢変化を検出できなくなります。
取付け指示どおりに取付けてください。
なんらかの理由で、指示どおりに付けられない場合は、本体が下記のようになるように取付けてください。

● 取付け用両面接着テープ（大）の注意事項

本体を両面接着テープ（大）で取付けるときは、以下の点を厳守してください。

＊以下の作業を怠った場合、本体が剥がれ落ちる可能性があり、大変危険です。

1. テープを取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。
2. テープを貼るときは、しっかり押して圧着する。
3. テープ貼り付け後は、力を加えず24時間以上放置する。

● ショートカプラー・防水用カプラーについての注意事項

取付けを行われた方へ

車両側電源カプラーのショートカプラー・防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するときに必要です。廃棄せずに、大切に保管してください。また、車両を譲られるときは、取付説明書とともに車両を使用する方に渡してください。

● 同梱部品についての注意事項

本製品の同梱部品については、3-1 ページの「■ **セットに含まれる部品**」を参照してください。取付けを行なう前に、足りない部品や間違った部品がないかよく確認してください。

● インジケーターランプを推奨位置以外に取付ける場合の注意事項

インジケーターランプは、推奨位置以外にも取付けることができます。

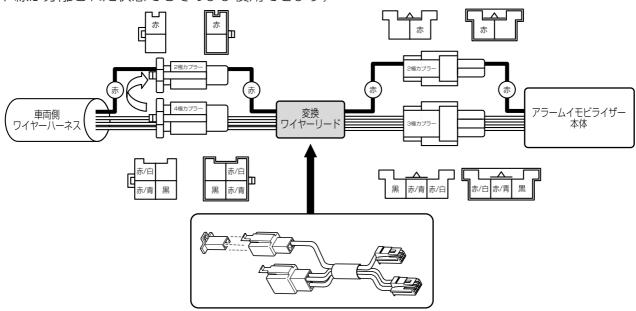
推奨位置以外に取付ける場合は、配線の噛み込みや引っ掛かりがないようにクランプ等を使用し、注意して取付けてください。

ガソリンタンクの下を通す場合は、タンクを外し配線がエンジンの上に垂れないように、付属のバンドでフレームなどに確実に固定してください。

メーター周辺のパネルに取付ける場合は、ハンドルカバーと干渉しないようにパネルに切り欠きや穴あけ加工を適宜行なってください。また、ハンドルを切ったとき、配線が引っ張られないようゆとりを持たせて取付けてください。

3. 取付方法

● 車両側カプラー（4 極）との接続時における注意事項

本ワイヤーリードと車両を接続するカプラーが被水すると、水によりカプラー内で赤リード線と他のリード線が通電し、アラームイモビライザーが誤作動する可能性があります。
赤リード線が分離されていない車種の場合は、下図矢印のように車両側のワイヤーハーネス４極カプラーから赤リード線の電極を引き抜き、ワイヤーリードの２極カプラーに付属しているカプラーへ差し込んで接続してください。（車両側に付属していたショートカプラーは、下図のように赤リード線が分離された状態でもそのまま使用できます）

カプラー電極の脱着作業要領

1) メス型カプラーの電極取外し要領

①図１を参照し、付属のニードルツールをノーズプライヤー（ラジオペンチ）でつかみながらゆっくりと図2、3の位置に差し込みます。

<注意>

・カプラーとノーズプライヤー距離は、3 mm 以上開けないでください。カプラーを貫通して手を刺すおそれがあります。

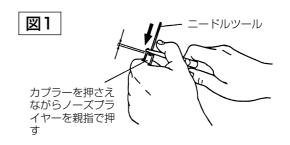
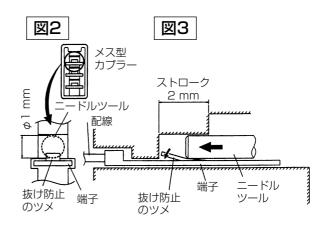
・また、図１以外の方法でも同様のおそれがありますので注意してください。

要点

・正常に差し込めた場合は、約2 mm 程ニードルツールが押し込まれます。

・ニードルツールの差し込みが行ないにくい場合、ニードル先端部にバリがあり、スムーズにツメの上を滑っていかない可能性があります。この場合は、目の細かなサンドペーパーなどで先端部を面取りしてください。

図1

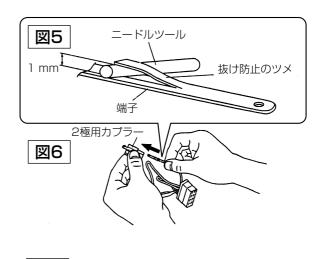
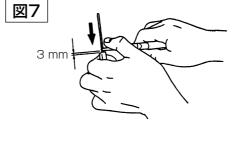
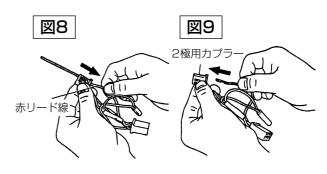
図2　図3

②図4のようにニードルツールを差し込んだまま、赤リード線の電極を引き抜きます。
③引き抜いた電極は、再度別のカプラーに差し込みます。図５のようにニードルツールをゲージとして使用し、抜け防止のためのツメを起こしてください。
④引き抜いた赤リード線の電極は図６を参照し、付属の２極メス型カプラーに差し込みます。

2)オス型カプラーの電極取外し要領

図7、8、９を参照し、メス型同様に作業してください。

要点

・取外し作業は１本ずつ行なってください。引き抜きだけをまとめて行なうと誤配線の可能性があります。
・抜け防止のためのツメが確実にセットされているか、また電極の方向も同時に確認してください。
・一つの電極の結線に２極用カプラーを使用します。オス、メスカプラーの互いに向かい合った位置に電極を差し込みますので、正しく接続されていることを確認して作業してください。

3. 取付方法

■ 型式別もくじ

リモコンシャッター車用（A321）

NEW ベーシック（A322）

※ 別売のワイヤーリード（90793-67139）が必要となります。取付け方法については、3-4ページをご確認ください。

NEW スクーター（A323）

イモビライザー標準装備車用（A324）

スマートキー車用（A325）

3.取付方法

■ 型式別取付方法

適合モデル

GRAND MAJESTY 400 (YP400G) 〈'05～'08、5RU9,M,S,V〉

GRAND MAJESTY 250 (YP250G) 〈'04～'07、5VG1,2,3,4〉

取付方法 (取付 0.9h)

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のモール、スクリーン、スクリーンの下にあるインナーパネル、フロントボデーカウリングを取外す。

③バッテリーの ⊖ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

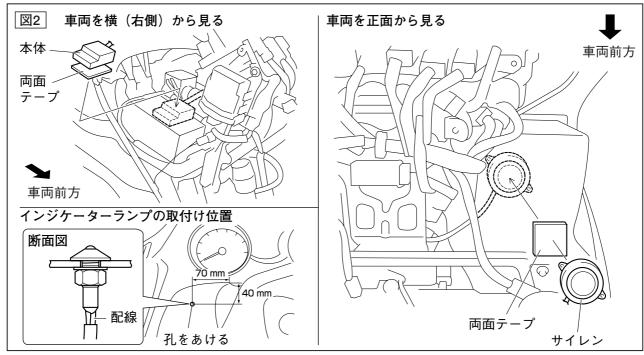
②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプを取付ける。

図 2 のインジケーターランプの取付け位置にドリル等でφ 6.2 ± 0.1mm の孔をあける。

＊パネルを破損しないように注意してください。

図1のように部品を取付け、インジケーターランプを固定してからインジケーターランプのワイヤーを赤カプラーに差し込む。

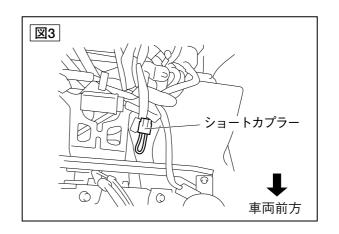
④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、ショートカプラーを取外す。（電源カプラーは、**図3**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーのショートカプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

③車両側の黄白線を探し、本体の黄白線と接続する。

● **配線の整理**

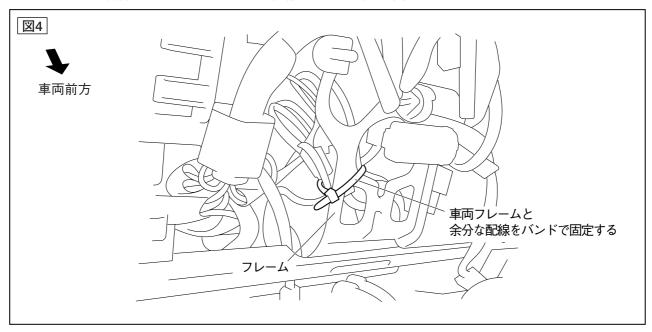
部品を取付けた後、余分な配線は付属のバンドで車両フレームに固定してください。

＊余分な配線が車両部品に挟まれないように注意してください。

＊サイレンが脱落しないように、サイレンの配線をバンドで確実に固定してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

MAJESTY（YP250）〈' 02～' 06、5SJ1,3,4,C,D,E,F,H,J,L,M,N〉

取付方法（取付 0.4h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のモール（ヤマハロゴが付いているパネル）、スクリーン、スクリーンの下にあるインナーパネル、メーターパネルを固定しているネジ（2 本のみ）を取外す。

③バッテリーの ⊖ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

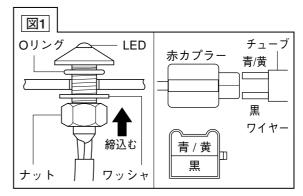
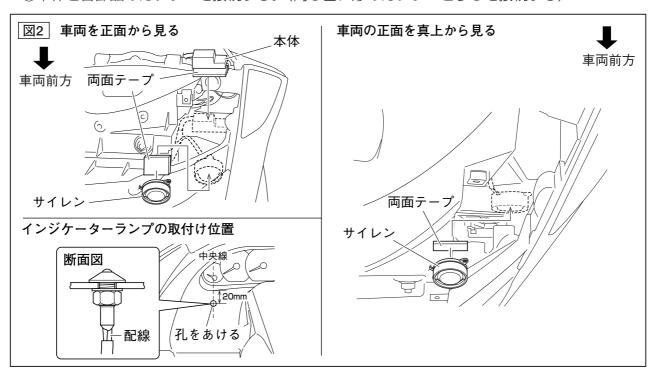
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプを取付ける。

図 2 の**インジケーターランプの取付け位置**にドリル等で φ 6.2 ± 0.1mm の孔をあける。

＊パネルを破損しないように注意してください。

図1のように部品を取付け、インジケーターランプを固定してからインジケーターランプのワイヤーを赤カプラーに差し込む。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

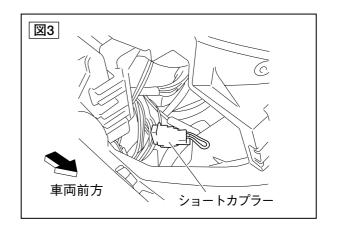
各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、ショートカプラーを取外す。（電源カプラーは、**図3**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの付近に空の2極カプラー（茶線、黒線）がありますが、アラームイモビライザーには使用しません。

＊車両側電源カプラーのショートカプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

③車両側の黄白線を探し、本体の黄白線と接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドで**図4**のように整理してください。

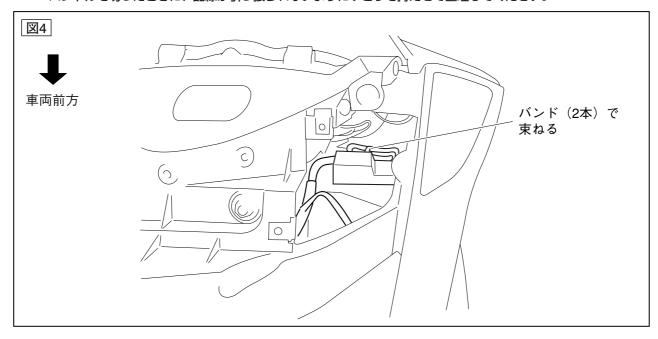
＊余分な配線が車両部品に挟まれないように注意してください。

＊サイレンが脱落しないように、サイレンの配線をバンドで確実に固定してください。

＊ハンドルを切ったときに、配線が引っ張られないようにゆとりを持たせて整理してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

MAXAM (CP250) 〈'05~'07、1B71,4,5,7〉

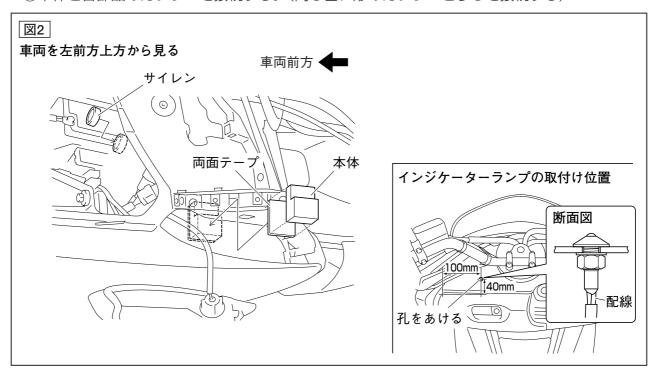
取付方法 (取付 0.4h)

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のフロントモール、スクリーン、メーターカバー、メーター、フラッシャー(前・左)、インナーパネルを取外す。
③バッテリーの ㊀ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。
①本体を付属の両面接着テープ(大)1 枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。
③インジケーターランプを取付ける。
図 2 の**インジケーターランプの取付け位置**にドリル等で φ 6.2 ± 0.1mm の孔をあける。
＊パネルを破損しないように注意してください。
図1のように部品を取付け、インジケーターランプを固定してからインジケーターランプのワイヤーを赤カプラーに差し込む。

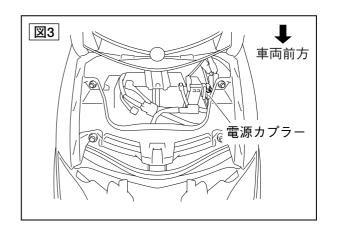
④本体と各部品のカプラーを接続する。(同じ色、形のカプラーどうしを接続する)

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、ショートカプラーを取外す。（電源カプラーは、**図3**の位置にあります）

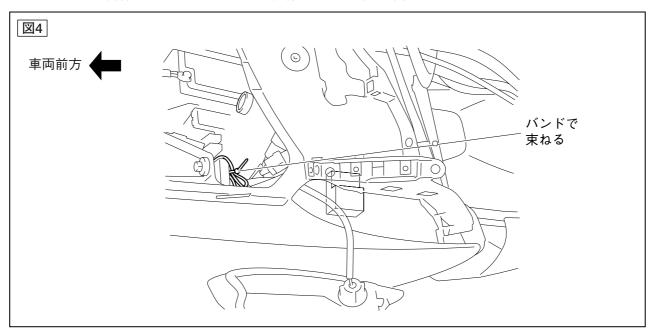
＊車両側電源カプラーのショートカプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

③車両側の黄白線を探し、本体の黄白線と接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドで整理してください。

＊余分な配線が車両部品に挟まれないように注意してください。

＊サイレンが脱落しないように、サイレンの配線をバンドで確実に固定してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

適合モデル

XJR1300 〈'98～'02、5EA1,7,9,G,P,R,S / 5UX1,2〉

取付方法 (取付 0.5h)

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のシートを取外す。

③バッテリーの ⊖ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚、（小）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプを取付ける。

＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の取付け位置とする場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、ショートカプラーを外す。

②ワイヤーリードと車両側電源カプラーを接続する。

＊車両側電源カプラーのショートカプラーは、車両をアラームなしで使用するときに必要ですので、大切に保管してください。

③ワイヤーリードと本体のカプラーを接続する。

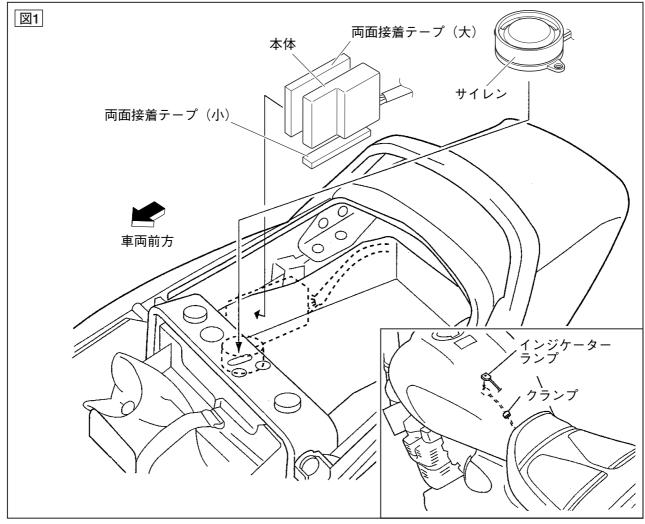
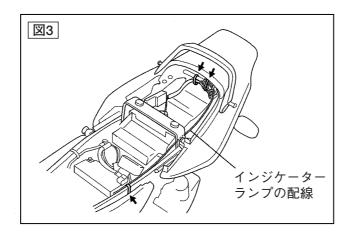
● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドを使用して**図3**のように整理してください。（⬅印）

＊余分な配線がシートに挟まれないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

TDM850 〈' 98〜' 99、5CG1,2〉

取付方法（取付 0.4h）

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のシート、パネル２（タンク右横のカウル）、カバーサイド２（タンク右下部の黒いカバー）を取外す。

③バッテリーの ㊀ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図１**の位置に取付けてください。

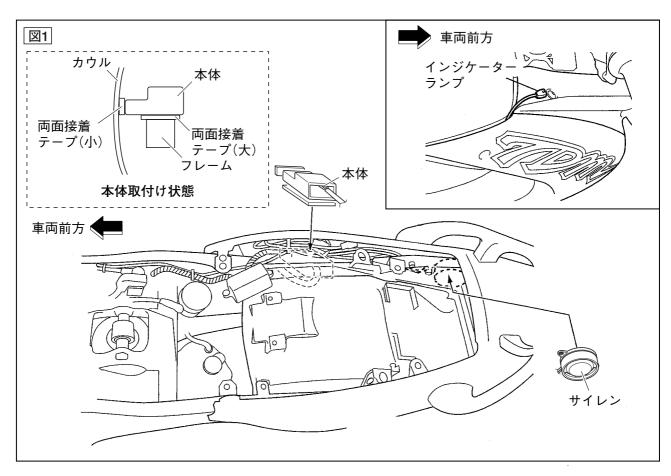
①本体を付属の両面接着テープ（大）と両面接着テープ（小）で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。（両面接着テープの裏紙をはがして接着する）

③インジケーターランプを取付ける。（両面接着テープの裏紙をはがして接着する）

＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の取付け位置とする場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、ショートカプラーを外す。（本体取付け部横にあります）

②ワイヤーリードと車両側電源カプラーを接続する。

＊車両側電源カプラーのショートカプラーは、車両をアラームなしで使用するときに必要ですので、大切に保管してください。

③ワイヤーリードと本体のカプラーを接続する。

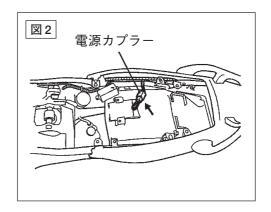
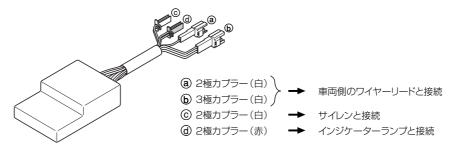
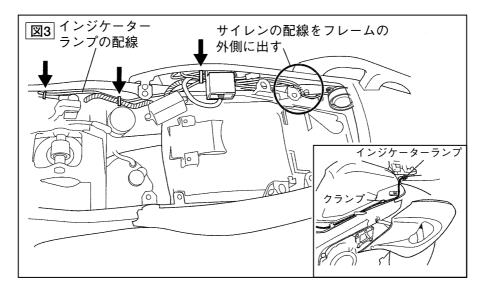
● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドを使用して**図3**のように整理してください。（⬅印）

＊余分な配線がシートに挟まれないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

XJR400R 〈' 98～' 03、4HM9,A,B,C,D,E,F,G〉

取付方法（取付 0.3h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のシート、シートカウル下部物入れスペースのダンパを取外す。

③バッテリーの ⊖ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

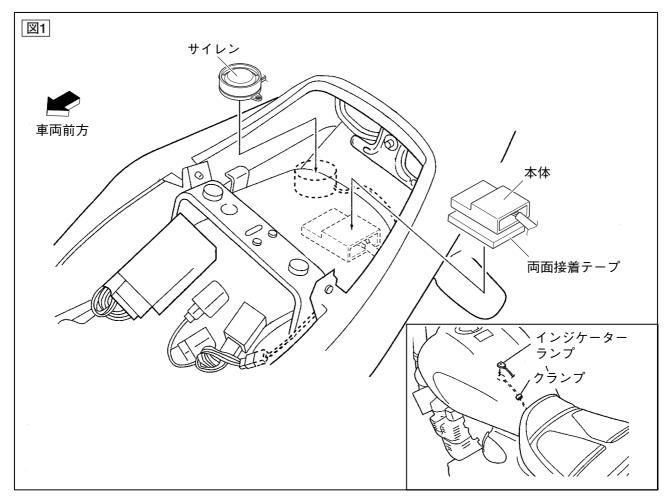
①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプを取付ける。

＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の取付け位置とする場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

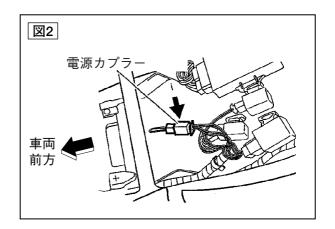
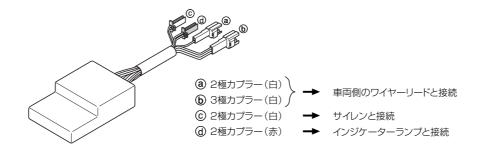
各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、ショートカプラーを外す。

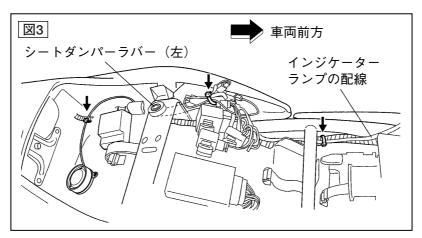
＊車両側電源カプラーはシートダンパーラバー(左)の下側付近にあります。(図3参照)

②ワイヤーリードと車両側電源カプラーを接続する。

＊車両側電源カプラーのショートカプラーは、車両をアラームなしで使用するときに必要ですので、大切に保管してください。

③ワイヤーリードと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドを使用して**図3**のように整理してください。（⬅印）

＊余分な配線がシートに挟まれないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ㊀ 端子と取外した車両部品を取付けます。

適合モデル

ROAD STAR (XV1600) 〈'99〜'00、5JA3,6〉

取付方法 (取付 0.5h)

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のライダーシート（メインスイッチのシートオープンポジション)、サイドカバー左（ボルト１本)、サイドカバー右（ボルト２本)、車載ツール（ゴムバンド）を取外す。

③バッテリーの ㊀ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

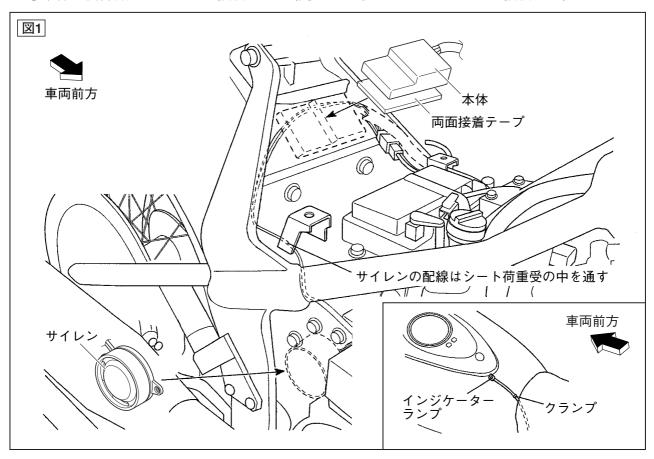
①本体を付属の両面接着テープ（大）１枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプを取付ける。

＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の取付け位置とする場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

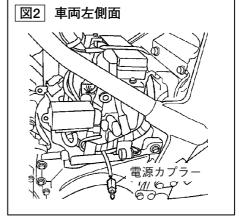
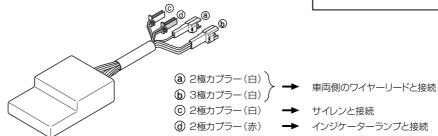
④本体と各部品のカプラーを接続する。(同じ色、形のカプラーどうしを接続する)

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探す。（サイドカバー左内のバッテリー横にあります）

②車両側電源カプラーのショートカプラーを外し、ワイヤーリードと接続する。

＊車両側電源カプラーのショートカプラーは、車両をアラームなしで使用するときに必要ですので、大切に保管してください。

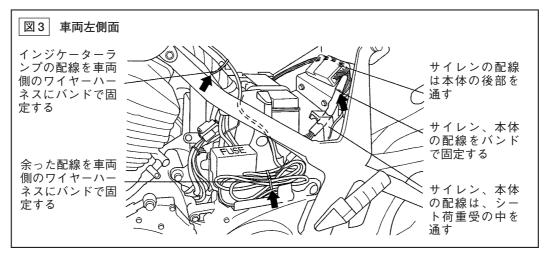
③ワイヤーリードと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドを使用して**図3**のように整理してください。

＊配線がサイドカバーやシートに挟まれないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

DS11（XVS1100）〈'99〜'03、5EL4,E / 5PB1,C,H〉
DSC11（XVS1100A）〈'01〜'02、5KS6,H〉

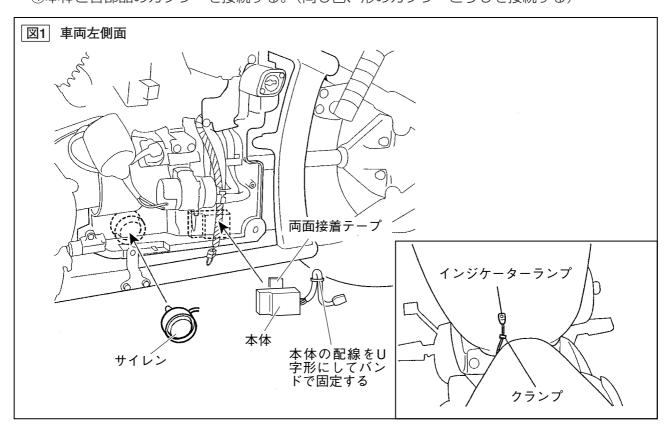
取付方法（取付0.4h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車の左側サイドカバー、カバーサイド３（エンジン左後方のメッキのカバー）を取外す。
③バッテリーの㊀端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図1**の位置に取付けてください。

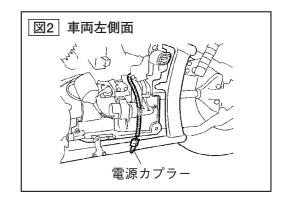
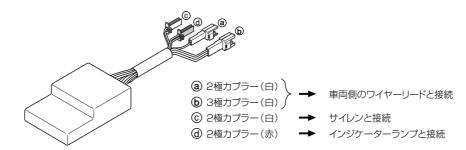
①本体を付属の両面接着テープ（大）１枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。
③インジケーターランプを取付ける。
＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の取付け位置とする場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。
④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● 電源カプラーの接続

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、ショートカプラーを外す。

②ワイヤーリードと車両側電源カプラーを接続する。

＊車両側電源カプラーのショートカプラーは、車両をアラームなしで使用するときに必要ですので、大切に保管してください。

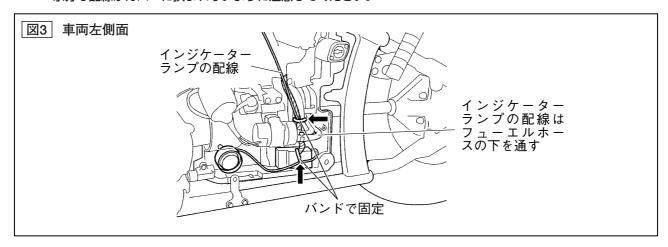
③ワイヤーリードと本体のカプラーを接続する。

● 配線の整理

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドを使用して**図3**のように整理してください。（⬅印）

＊余分な配線がカバーに挟まれないように注意してください。

● 車両部品の取付け

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

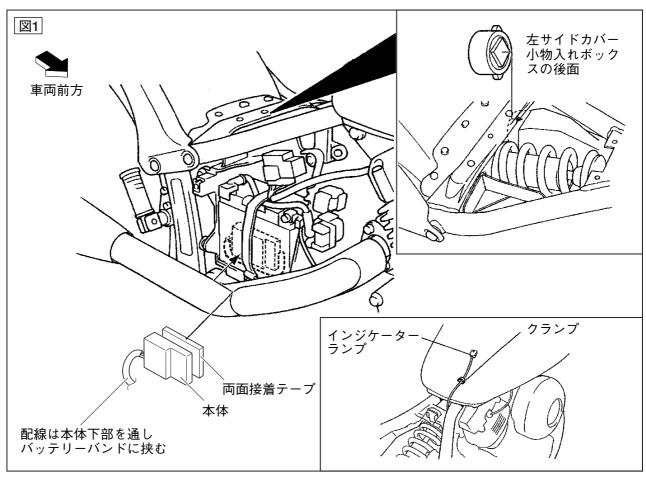
DS4 (XVS400) 〈'00〜'02、5KP1,2,4,7〉
DSC4 (XVS400C) 〈'98〜'03、4TR5,7,9 / 5KP3,6,A〉

取付方法 (取付 0.5h)

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のシート（タンデムシート、シングルシートの順番）、サイドカバー（右）を取外す。
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。
①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。（取付けガイド部に入れバッテリーバンドに挟む）
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。（左サイドカバー内小物入れボックス後面）
③インジケーターランプを取付ける。
＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の取付け位置とする場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。
④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● 電源カプラーの接続

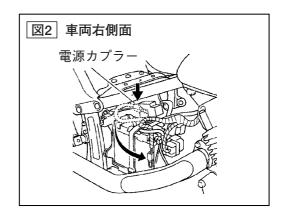
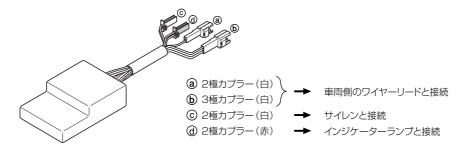
各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、バッテリー前方に移動させる。（バッテリー線の下を通す）

②車両側電源カプラーのショートカプラーを外し、ワイヤーリードと接続する。

＊車両側電源カプラーのショートカプラーは、車両をアラームなしで使用するときに必要ですので、大切に保管してください。

③ワイヤーリードと本体のカプラーを接続する。

図2　車両右側面

● 配線の整理

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドを使用して**図 3** のように整理してください。

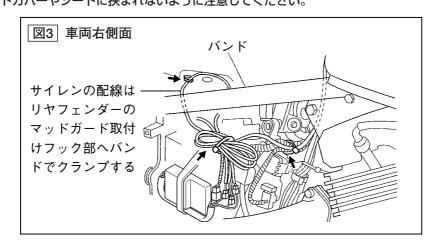
（⬅ 印）余分な配線はバッテリー上部のワイヤーハーネスにバンドで固定する。

＊配線がサイドカバーやシートに挟まれないように注意してください。

図3　車両右側面

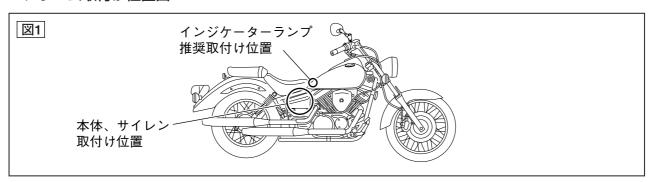
● 車両部品の取付け

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

DS250（XVS250） 〈'08、19D1,2〉

取付方法（取付 0.5h）

● アラーム取付け位置図

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のタンデムシート、シングルシート、カバーサイド2、サービスツールを取外す。
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
　＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。
③インジケーターランプはフレームコンプリートの下を通し、フェールタンクコンプリートに取付ける。
　＊図2は推奨取付け位置を示します。図2以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。
④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。
　（電源カプラーは、**図 2** の位置にあります）
　＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。
②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は**図 2** のように整理してください。

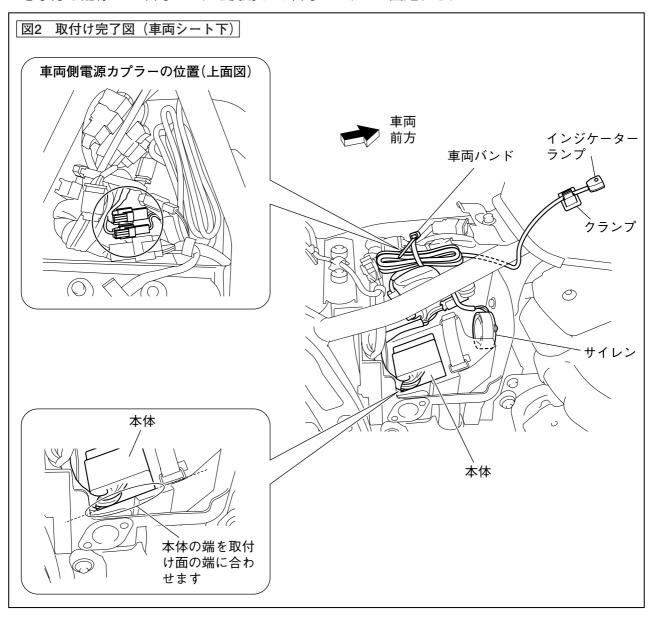
①インジケーターランプの配線は、付属のクランプを使用してフェールタンクコンプリートに固定する。

②余分な配線は、車両バンドを使用して車両ハーネスに固定する。

図2　取付け完了図（車両シート下）

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

DS250（XVS250）〈'00～'07、5KR1,4,7,B,D,F,G,J〉

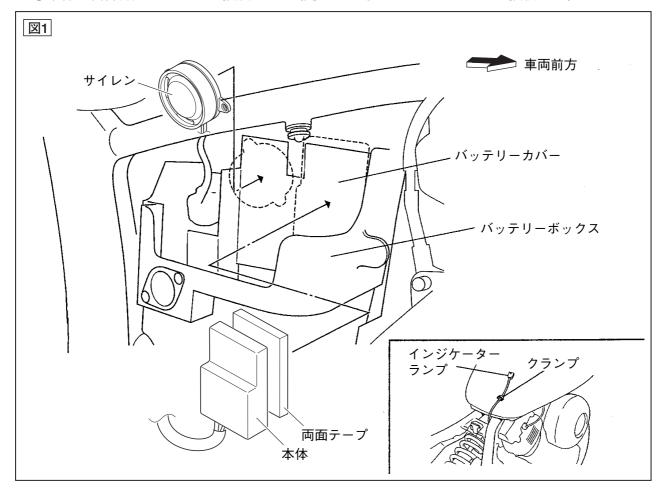
取付方法（取付 0.5h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のシングルシート、タンデムシート、右サイドカバー、バッテリーカバーを取外す。
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

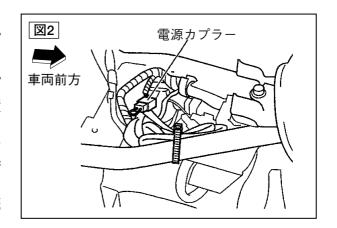
本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。
③インジケーターランプを取付ける。
＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。
④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、ショートカプラーを取外す。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーのショートカプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

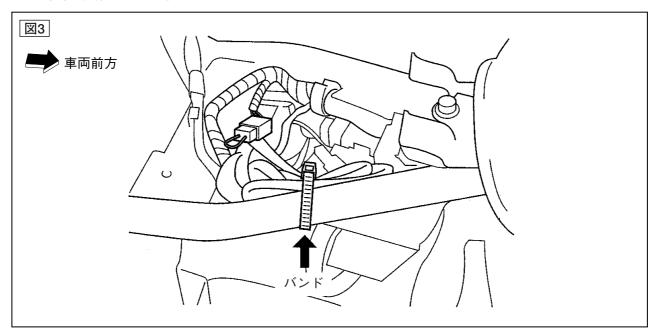
②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、余分な配線は付属のバンドを使用してバッテリー上部のワイヤーハーネスに固定してください。（⬅印）

＊余分な配線がシートに挟まれないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

MAJESTY（YP250）〈'98～'01、5CG2,4 / 5GM1,8〉

取付方法（取付 0.9h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のフロントスクリーン、フロントボディカウリングを取外す。

＊ヘッドライト、フロントフラッシャの配線がつながっているので注意してください。

③スタンダード車のハンドルアッパーカバーを取外す。

④バッテリーの ⊖ 端子を外す。

⑤部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

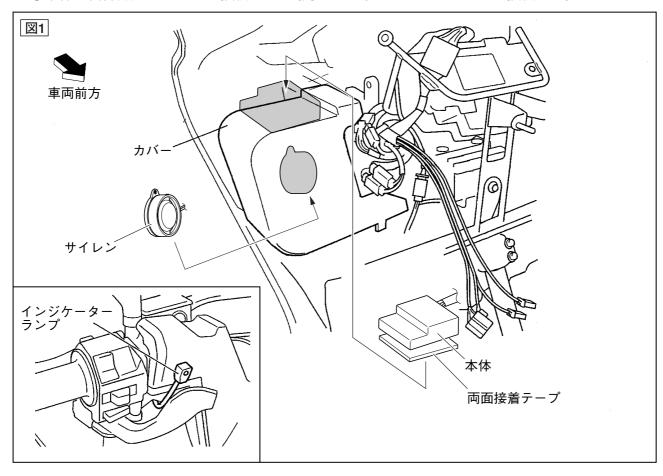
①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプを取付ける。

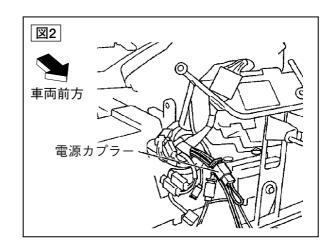
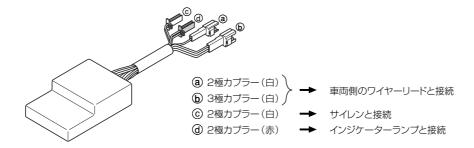
＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

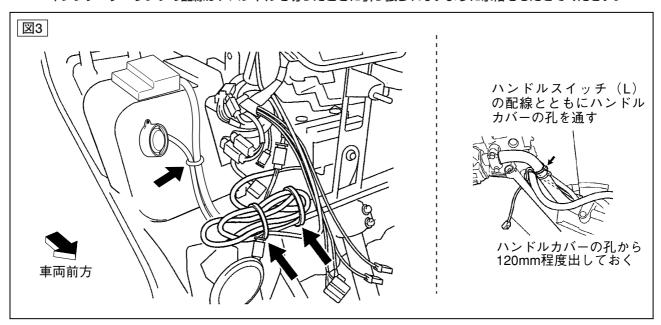
①車両側電源カプラーを探し、ショートカプラーを外す。
（車両側電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

②車両側電源カプラーのショートカプラーを外し、ワイヤーリードと接続する。
＊車両側電源カプラーのショートカプラーは、車両をアラームなしで使用するときに必要ですので、大切に保管してください。

③ワイヤーリードと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドを使用して**図3**のように整理してください。（⬅印）

＊サイレンが脱落しないように、サイレンの配線をバンドで本体の配線等にしっかりと固定してください。

＊インジケーターランプの配線は、ハンドルを切ったときに引っ張られないように余裕をもたせてください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ㊀ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル
CYGNUS X FI（XC125）〈'07～'08、28S1,2〉

取付方法（取付 0.6h）

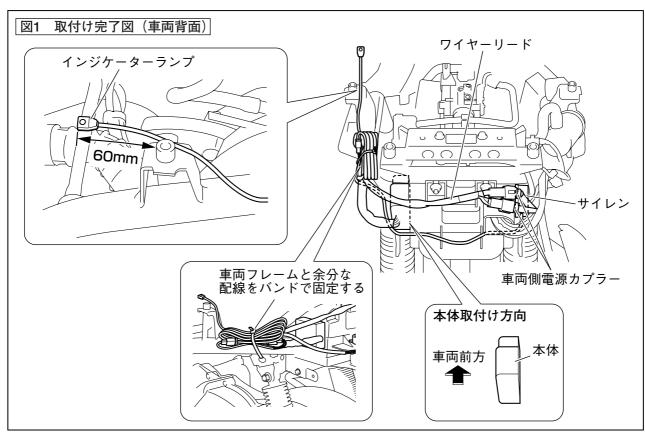
● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車の下記の車両部品を取外す。
グラブバーASSY、ラゲッジボックスASSY＆シート、カバーサイド1、カバーサイド2・3（テールランプごと外す）
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

＊CYGNUS X FI車（28S）にアラームイモビライザーA323 NEWスクーター（90793-67192）を装着する場合、別途ワイヤーリードXC125X FI車用（90793-67259）が必要となります。
＊アラームイモビライザーA323 NEWスクーター（90793-67192）を装着の場合、アラーム機能のみとなります。

● **本体とサイレンの取付け**

本体、サイレンは必ず**図1**の位置に取付けてください。
①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。
③本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）
＊インジケーターランプは後で取付けますが、本体との接続はこの時点で実施してください。

図1　取付け完了図（車両背面）

● ワイヤーリードの接続

本体とサイレンの取付けが終了したら、ワイヤーリードを接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。

（電源カプラーは、**図1**の位置にあります）

＊**車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。**

②ワイヤーリードの３極カプラー及び４極カプラーを車両側電源カプラーに接続する。

③ワイヤーリードの８極カプラーと本体のカプラーを接続する。

● 配線の整理

各部品の配線は、付属のバンドを使用して**図1**のように整理してください。（1ヶ所）

＊**インジケーターランプの配線は、車両フレームのカバーサイド取付け孔から約60mm残し、その他の配線は付属のバンドを使用して車両フレームに固定してください。（図1参照）**

● インジケーターランプの取付け

①インジケーターランプをカバーサイドの取付け孔に通してから、カバーサイドを取付ける。

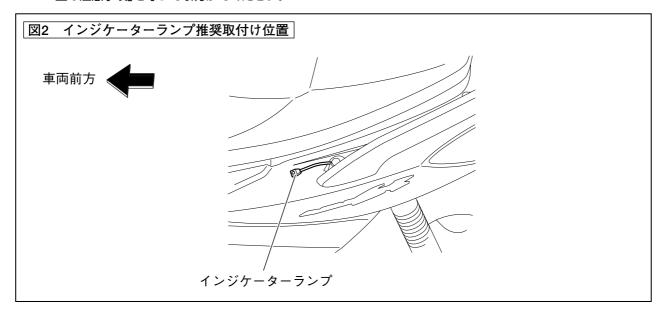
②インジケーターランプを取付ける。

＊**図2は推奨取付け位置を示します。図2以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。**

図2　インジケーターランプ推奨取付け位置

● 車両部品の取付け

バッテリーの ㊀ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3.取付方法

適合モデル

CYGNUS X（XC125）〈'03～'07、5UA1,2,4,5,6,7,8,9,A,B〉

取付方法（取付 1.0h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のパネルフロント（前部カバー）、レッグシールドを取外す。
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **本体とサイレンの取付け**

本体、サイレンは必ず**図1**の位置に取付けてください。

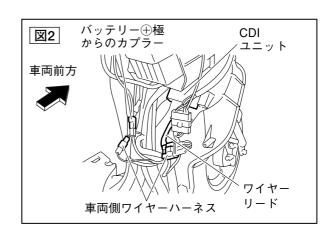
①本体を付属の両面接着テープ（大）1枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。
③本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）
＊インジケーターランプは後で取付けますが、本体との接続はこの時点で実施してください。

図1　車両正面

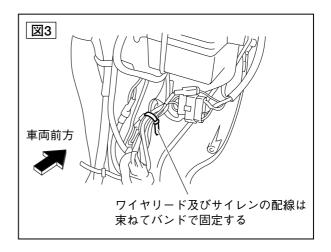
サイレン
バッテリーボックス
バッテリーボックスのコーナー部
本体のコーナー部
本体
本体のコーナー部とバッテリーボックスのコーナー部の位置を合わせて取付けてください。

● **ワイヤーリードの接続**

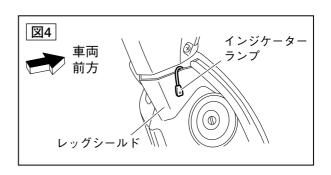
本体とサイレンの取付けが終了したら、ワイヤーリードを接続します。

①CDIユニットに接続されているカプラーを外す。
②ワイヤーリードの８極カプラーをCDIユニット及び車両側ワイヤーハーネスに接続する。
③バッテリー ⊕ 極からのカプラーを外す。
④ワイヤーリードの１極カプラーをバッテリー及び車両側ワイヤーハーネスに接続する。
⑤ワイヤーリードの８極カプラーと本体のカプラーを接続する。
＊ワイヤーリードの8極カプラーと本体のカプラーが接続されると自動セットされます。もし解除したい場合は4.取扱方法の〈ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき〉を参照ください。

● 配線の整理 1

本体、サイレン、ワイヤーリードの配線は、付属のバンドを使用して**図3**のように整理してください。

＊余分な配線が垂れないように注意してください。
＊インジケーターランプの配線は後で整理します。

● インジケーターランプの取付け

①レッグシールドを取付ける。
②インジケーターランプを取付ける。

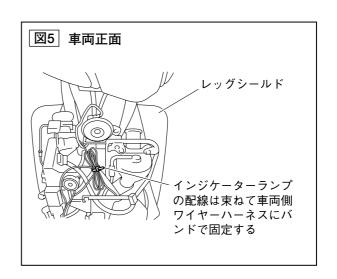
＊図4は推奨取付け位置を示します。図4以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

● 配線の整理 2

インジケーターランプの配線は、付属のバンドを使用して**図 5** のように整理してください。

＊余分な配線が垂れないように注意してください。

● 車両部品の取付け

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

GRAND AXIS 100 (YA100W) 〈'98～'07、5FA1,2,3,4,5,6〉

取付方法 （取付 0.5h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のパネルフロント（前部カバー）を取外す。

③バッテリーの ㊀ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

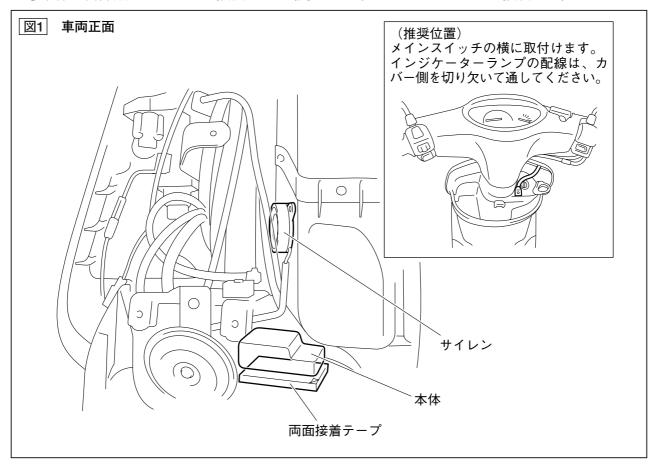
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプを取付ける。

＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

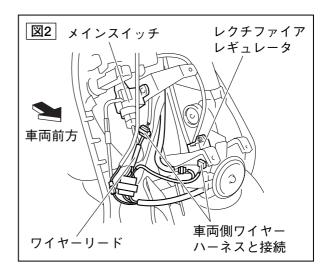
図1 車両正面

● **ワイヤーリードの接続**

各部品の取付けが終了したらワイヤーリードを接続します。

①メインスイッチに接続されているカプラーを外す。

②ワイヤーリードの6極カプラーをメインスイッチ及び車両側ワイヤーハーネスに接続する。

③レクチファイアレギュレータに接続されているカプラーを外す。

④ワイヤーリードの4極カプラーをレクチファイアレギュレータ及び車両側ワイヤーハーネスに接続する。

⑤ワイヤーリードの８極カプラーと本体のカプラーを接続する。

＊部品全てが接続されると自動セットされます。もし解除したい場合は4.取扱方法の〈ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき〉を参照ください。

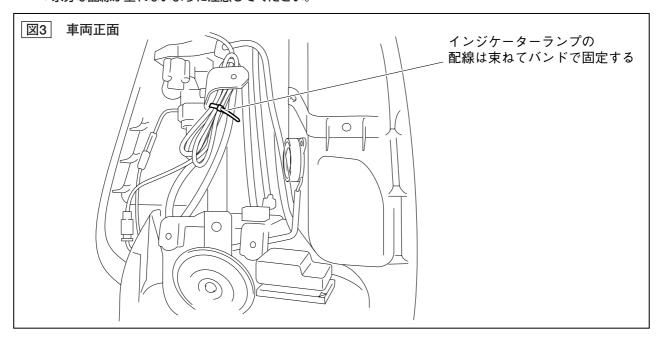
● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドで**図３**のように整理してください。

＊余分な配線が垂れないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ㊀ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

VOX（XF50）〈'06～'09、3B31,4,5,A,D,E〉

取付方法（取付 0.4h）

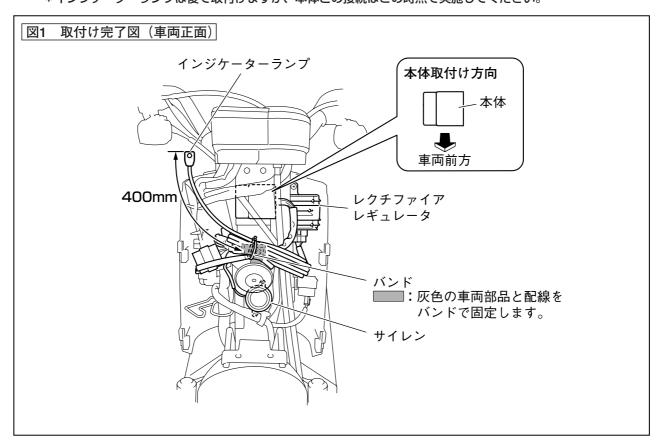
● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車の下記の車両部品を取外す。
カバーハンドルバーアッパ 1、カバーアウタチューブ、カバーアウタ 2、パネルフロント
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

＊VOX(XF50)にアラームイモビライザーA323 NEWスクーター(90793-67192)を装着する場合、別途ワイヤーリード50cc FI車用(90793-67258)が必要となります。
＊アラームイモビライザーA323 NEWスクーター(90793-67192)を装着の場合、アラーム機能のみとなります。

● 本体とサイレンの取付け

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。
①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。
③本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）
＊インジケーターランプは後で取付けますが、本体との接続はこの時点で実施してください。

図1　取付け完了図（車両正面）

● ワイヤーリードの接続

本体とサイレンの取付けが終了したら、ワイヤーリードを接続します。

①レクチファイアレギュレータに接続されているカプラーを外す。

②ワイヤーリードの6極カプラーをレクチファイアレギュレータ及び車両側ワイヤーハーネスに接続する。

③ワイヤーリードの８極カプラーと本体のカプラーを接続する。

● 配線の整理

各部品の配線は、付属のバンドを使用して**図１**のように整理してください。（1ヶ所）

＊インジケーターランプの配線は、バンド固定位置から約400mm残し、その他の配線は付属のバンドを使用して車両部品に固定してください。（図1参照）

● インジケーターランプの取付け

①インジケーターランプがカバーハンドルバーアッパ1のすき間から出るように、取外した車両部品を取付ける。

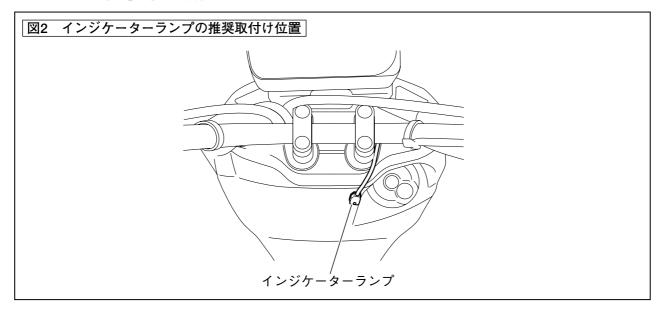
②インジケーターランプを取付ける。

＊図2は推奨取付け位置を示します。図2以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

図2　インジケーターランプの推奨取付け位置

● 車両部品の取付け

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

VINO molfe（XC50H）〈'09、37B1〉
VINO 4サイクル FI（XC50）〈'08、13P2,3,4〉

取付方法（取付 0.5h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。

② **XC50Hの場合**

スタンダード車のヘッドライトASSY、バスケット1、カバーASSY、ブラケットキャリアを取外す。

XC50の場合

スタンダード車のカバーヘッドライト、レッグシールド1を取外す。

③バッテリーの㊀端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

＊VINO molfe(XC50H)およびVINO 4サイクル FI車(XC50)にアラームイモビライザーA323 NEWスクーター(90793-67192)を装着する場合、別途ワイヤーリード50cc FI車用(90793-67258)が必要となります。

＊アラームイモビライザーA323 NEWスクーター(90793-67192)を装着の場合、アラーム機能のみとなります。

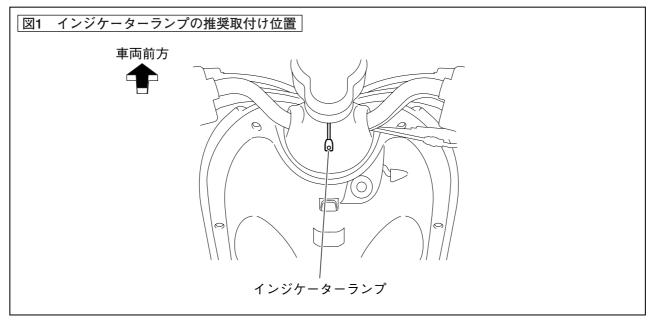
● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図1**の位置に取付けてください。

①インジケーターランプの配線を車両クランプ内に通し、ハンドルカバーのすき間から出す。（**図2**参照）

②インジケーターランプを取付ける。

＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

図1　インジケーターランプの推奨取付け位置

③本体を付属の両面接着テープ（大）1枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。

④サイレンを取付ける。

⑤本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **ワイヤーリードの接続**

各部品の取付けが終了したら、ワイヤーリードを接続します。

①レクチファイアレギュレータを取外す。

②レクチファイアレギュレータに接続されているカプラーを外す。

③ワイヤーリードの6極カプラーをレクチファイアレギュレータ及び車両側ワイヤーハーネスに接続する。

④ワイヤーリードの8極カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

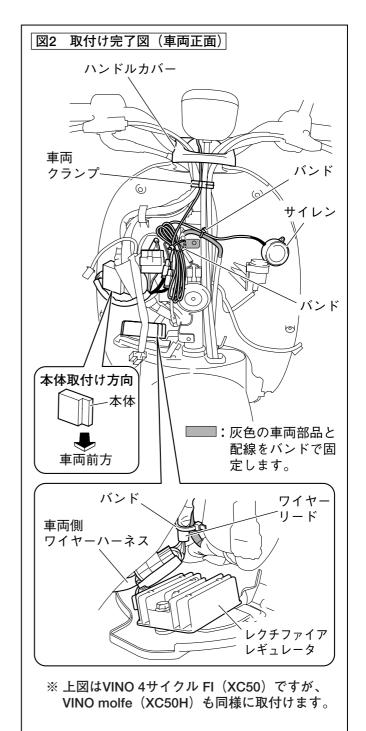
各部品の配線は、付属のバンドを使用して**図2**のように整理してください。（3ヶ所）

＊**レクチファイアレギュレータは高温になりますので、ワイヤーリードがレクチファイアレギュレータに接触しないように配線を整理してください。**

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

図2　取付け完了図（車両正面）

※ 上図はVINO 4サイクル FI（XC50）ですが、VINO molfe（XC50H）も同様に取付けます。

適合モデル

VINO 4サイクル（XC50）〈'04～'07、5ST1,3,9,B,D,F,K,L,M,S,V,W,X〉

取付方法（取付 1.0h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のカバーヘッドライト、フロントパネル、フロアマット、バッテリーカバー、モール（右側）、シート、サイドカバーを取外す。
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **インジケーターランプの取付け**

①インジケーターランプを取付ける前に、配線の取り回しを行なう。

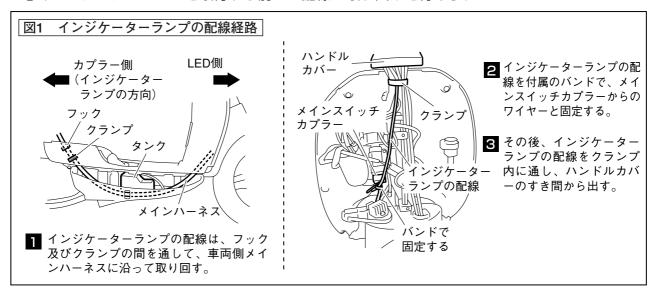
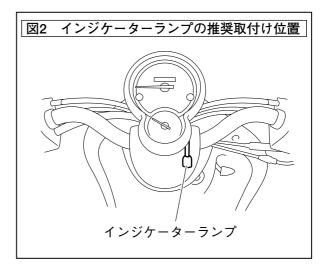



図1　インジケーターランプの配線経路

②インジケーターランプを取付ける。

＊**図2は推奨取付け位置を示します。図2以外の位置に取付ける場合は、****3-3ページの****「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。**

図2　インジケーターランプの推奨取付け位置

● **本体とサイレンの取付け**

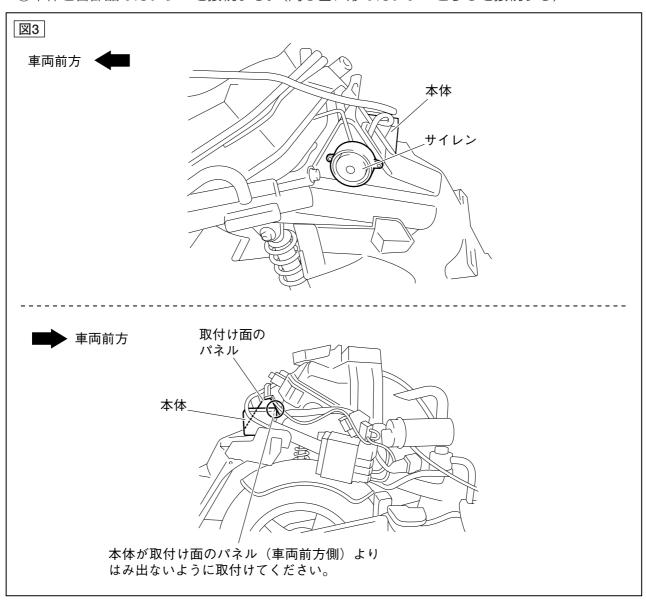
本体、サイレンは必ず**図 3** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

3. 取付方法

● **ワイヤーリードの接続**

各部品の取付けが終了したら、ワイヤーリードを接続します。

①CDI ユニットに接続されている 4 極カプラー及び 8 極カプラーを外す。

②ワイヤーリードの4極カプラー及び8極カプラーをCDIユニット及び車両側ワイヤーハーネスに接続する。

③サーモスイッチからの 2 極カプラーを外す。

④ワイヤーリードの 2 極カプラーをサーモスイッチ側及び車両側ワイヤーハーネスに接続する。

⑤ワイヤーリードの 8 極カプラーと本体のカプラーを接続する。

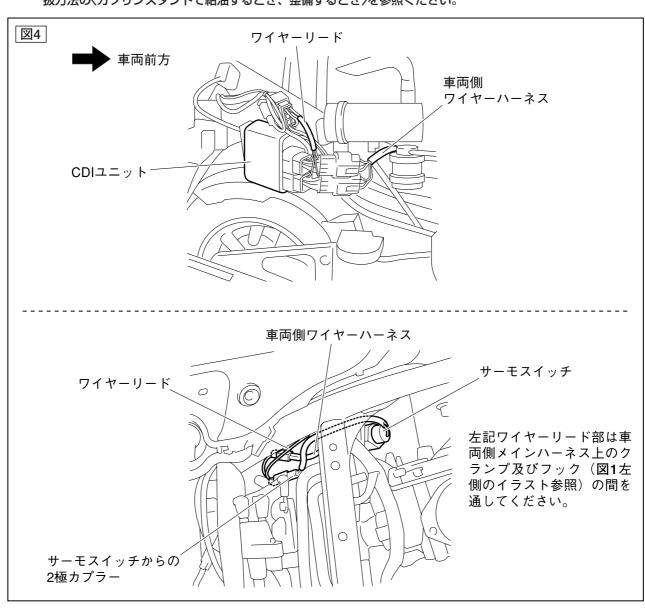
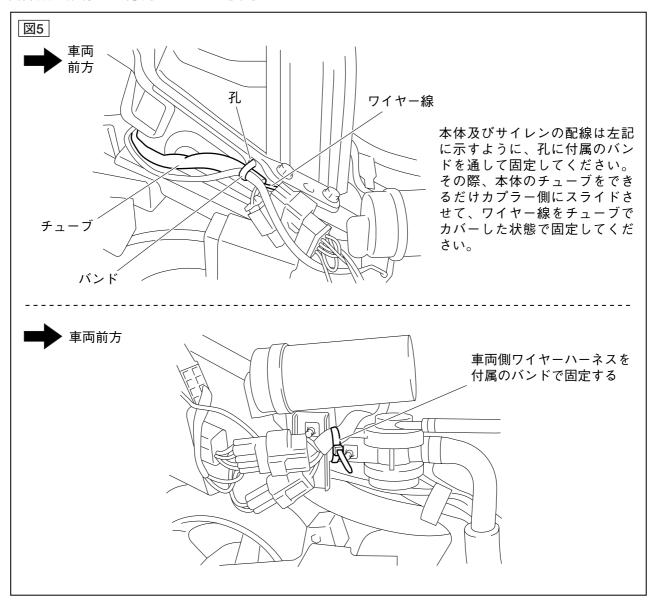
＊ワイヤーリードの8極カプラーと本体のカプラーが接続されると自動セットされます。もし解除したい場合は4.取扱方法の〈ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき〉を参照ください。

● **配線の整理**

各部品の配線は、付属のバンドを使用して**図 5** のように整理してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

JOG 4サイクル（CE50）〈'07～'09、3P31,2,3,4,5〉

取付方法（取付0.5h）

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のフロントフェンダを取外す。
③バッテリーの ㊀ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

＊JOG 4サイクル FI車（CE50）にアラームイモビライザーA323 NEWスクーター(90793-67192)を装着する場合、別途ワイヤーリード50cc FI車用(90793-67258)が必要となります。
＊アラームイモビライザーA323 NEWスクーター(90793-67192)を装着の場合、アラーム機能のみとなります。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図1**の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。

図1　取付け完了図（車両正面）

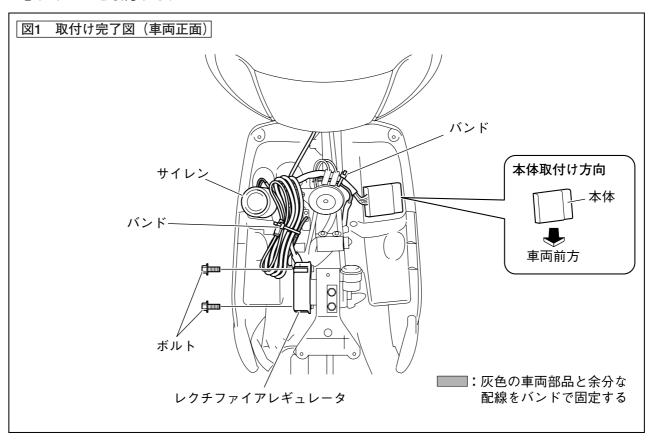
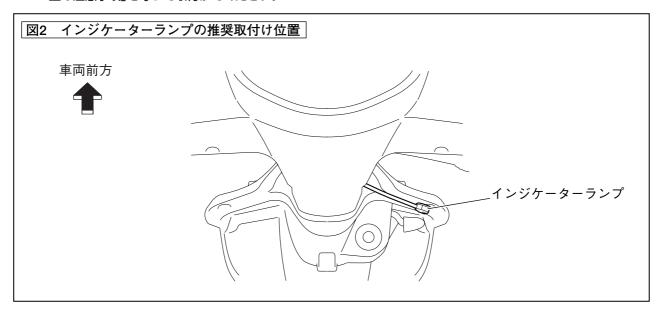
③インジケーターランプを取付ける。

＊図2は推奨取付け位置を示します。図2以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

図2　インジケーターランプの推奨取付け位置

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **ワイヤーリードの接続**

各部品の取付けが終了したら、ワイヤーリードを接続します。

①ボルトを２ヶ所外し、レクチファイアレギュレータを取外す。（**図１**参照）

②レクチファイアレギュレータに接続されているカプラーを外す。

③ワイヤーリードの6極カプラーをレクチファイアレギュレータ及び車両側ワイヤーハーネスに接続する。

④ワイヤーリードの８極カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

各部品の配線は、付属のバンドを使用して**図１**のように整理してください。（2ヶ所）

＊レクチファイアレギュレータは高温になりますので、ワイヤーリードがレクチファイアレギュレータに接触しないように配線を整理してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ㊀ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

JOG (CV50/A/R) 〈'01～'07、5KN1,2,3,4,5,6 / 5SU1,2,3,4,5,6,7,8,B,C〉
JOG ZR (CV50ZR) 〈'01～'07、5PT1,2 / 5SW1,2,3,4,5,6,7,8〉

取付方法 (取付 0.5h)

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のフェンダーフロント（前部カバー）を取外す。
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。
③インジケーターランプを取付ける。
＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。
④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **ワイヤーリードの接続**

各部品の取付けが終了したら、ワイヤーリードを接続します。

①メインスイッチに接続されているカプラーを外す。

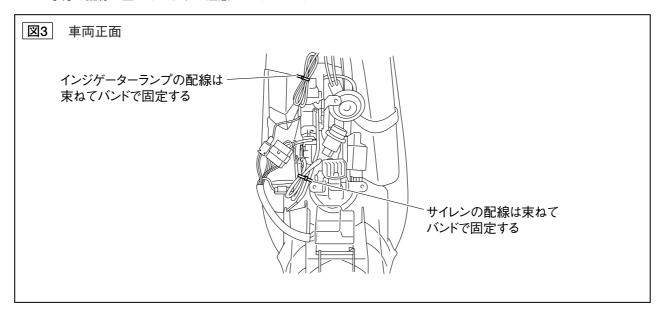
②ワイヤーリードの6極カプラーをメインスイッチ及び車両側ワイヤーハーネスに接続する。

③ワイヤーリードの8極カプラーと本体のカプラーを接続する。

＊部品全てが接続されると自動セットされます。もし解除したい場合は4.取扱方法の〈ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき〉を参照ください。

● **配線の整理**

各部品の配線は、付属のバンドを使用して**図3**のように整理してください。（2ヶ所）

＊余分な配線が垂れないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ㊀ 端子と取外した車両部品を取付けます。

適合モデル

JOG POCHE（YV50H）〈'99～'07、5GD1,2,3,4,5,6〉

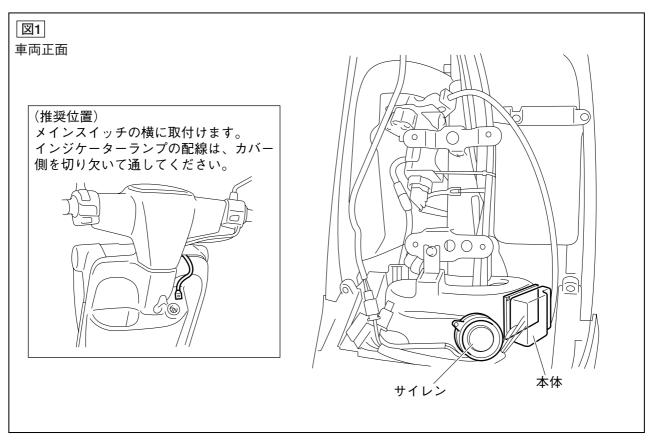
取付方法（取付 0.5h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のバスケット、フェンダーフロント（前部カバー）、バスケット取付けブラケットを取外す。
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
　＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。
③インジケーターランプを取付ける。
　＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。
④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **ワイヤーリードの接続**

本体とサイレンの取付けが終了したら、ワイヤーリードを接続します。

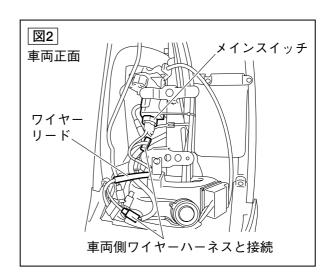
①メインスイッチに接続されているカプラーを外す。

②ワイヤーリードの6極カプラーをメインスイッチ及び車両側ワイヤーハーネスに接続する。

③ヘッドライトに接続されているカプラーを外す。

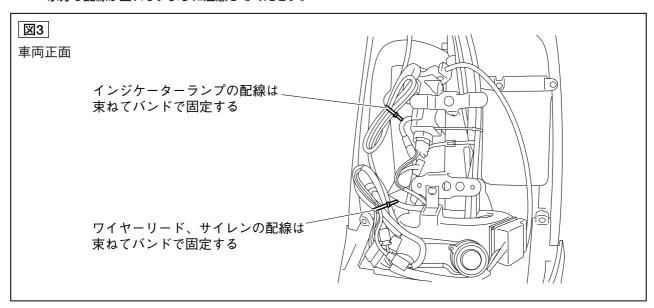
④ワイヤーリードの3極カプラーを車両側ワイヤーハーネスに接続する。

＊ヘッドライトへの接続は、フェンダーフロント(前部カバー)取付け時に行なう。

⑤ワイヤーリードの8極カプラーと本体のカプラーを接続する。

＊部品全てが接続されると自動セットされます。もし解除したい場合は4.取扱方法の〈ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき〉を参照ください。

● **配線の整理**

各部品の配線は、付属のバンドを使用して**図 3** のように整理してください。(2ヶ所)

＊余分な配線が垂れないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

GEAR FI（BX50）〈'07～'08、10B1,2,3〉

取付方法（取付 0.5h）

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のトレー（バッテリーカバー）、カバーサイド2、カバーサイド3、キャリアアセンブリを取外す。

③バッテリーの ㊀ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

＊GEAR FI車（BX50)にアラームイモビライザーA323 NEWスクーター(90793-67192)を装着する場合、別途ワイヤーリード50cc FI車用(90793-67258)が必要となります。

＊アラームイモビライザーA323 NEWスクーター(90793-67192)を装着の場合、アラーム機能のみとなります。

● 本体とサイレンの取付け

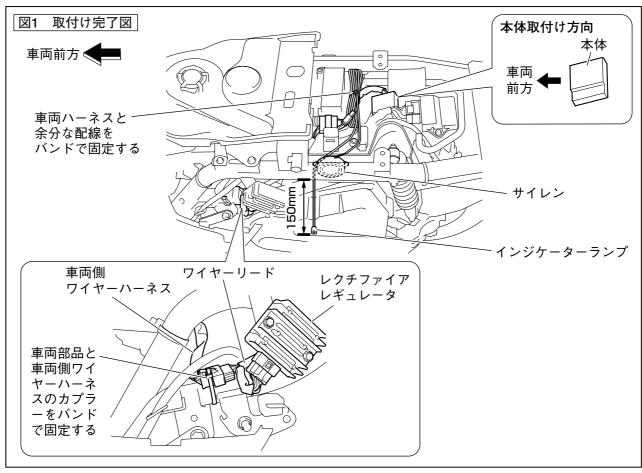
本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

＊インジケーターランプは後で取付けますが、本体との接続はこの時点で実施してください。

● **ワイヤーリードの接続**

本体とサイレンの取付けが終了したら、ワイヤーリードを接続します。

①レクチファイアレギュレータに接続されているカプラーを外す。

②ワイヤーリードの６極カプラーをレクチファイアレギュレータ及び車両側ワイヤーハーネスに接続する。

③ワイヤーリードの８極カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

各部品の配線は、付属のバンドを使用して**図３**のように整理してください。（2ヶ所）

＊インジケーターランプの配線は、車両側面のフレームから約150mm残し、その他の配線は付属のバンドを使用して車両部品に固定してください。（図1参照）

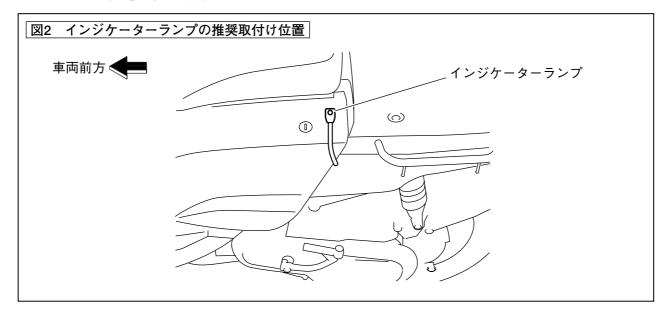
● **インジケーターランプと車両部品の取付け**

①インジケーターランプの発光部が車両カバーの外側に出るように、取外した車両部品とバッテリーの ㊀ 端子を取付ける。

②インジケーターランプを取付ける。

＊図2は推奨取付け位置を示します。図2以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

図2　インジケーターランプの推奨取付け位置

3. 取付方法

適合モデル

MT-01 〈' 05～' 08、5YU1,3,4,8,B,H〉

取付方法（取付 0.3h）

● アラーム取付け位置

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のシートを取外す。
③バッテリーの ㊀ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。

③**図3**の配線経路を通し、インジケーターランプを取付ける。

＊図3は推奨取付け位置を示します。図3以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

＊シート開閉時に、配線が挟まれないように車両内部を通してください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● 電源カプラーの接続

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● 配線の整理

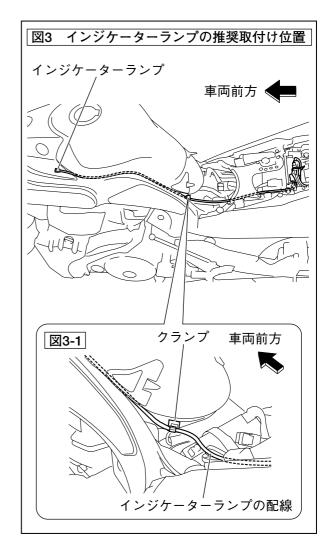
部品を取付けた後、各部品の配線を整理してください。

①インジケーターランプの配線を、付属のクランプを使用して**図3-1**の位置に固定する。

②余分な配線を、付属のバンドを使用して車両ハーネスに固定する。（**図2**参照）

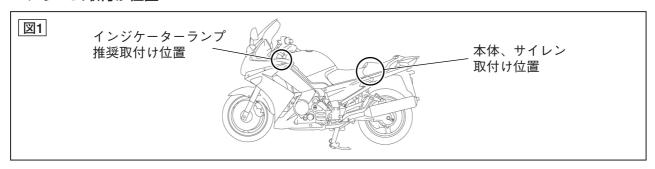
● 車両部品の取付け

バッテリーの㊀端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

FJR1300A / AS 〈'06～'09、3P61,7,D,K,V / 2D21,7,D,K,V〉

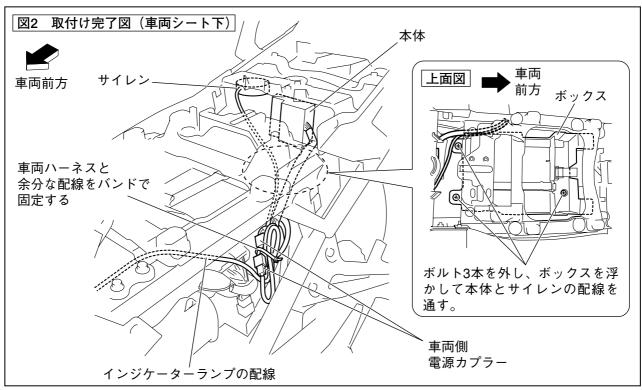
取付方法（取付 0.3h）

● アラーム取付け位置

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のシングルシート、タンデムシート、カバーサイド 1、カバーリアフェンダー 1 を取外す。
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①スタンダード車のボックスを取付けているボルト 3 本を取外す。
②本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。
③サイレンを取付ける。

④**図3**の配線経路を通し、インジケーターランプを取付ける。

＊図4は推奨取付け位置を示します。図4以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

＊シート開閉時に、配線が挟まれないように車両内部を通してください。

⑤本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● 電源カプラーの接続

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● 配線の整理

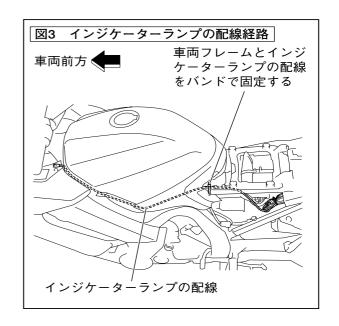
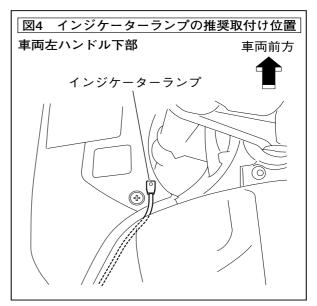
部品を取付けた後、各部品の配線を整理してください。

①インジケーターランプの配線を、付属のバンドを使用して**図3**の位置でフレームに固定する。

②余分な配線を、付属のバンドを使用して車両ハーネスに固定する。（**図2**参照）

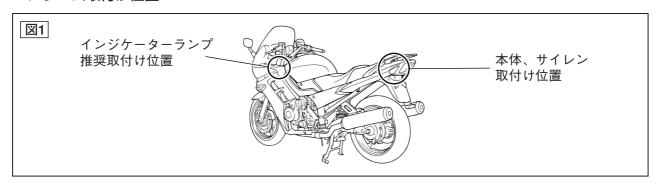
● 車両部品の取付け

バッテリーの㊀端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

FJR1300 / A 〈' 03～' 05、5VS1,7,D / 5JWG,N〉

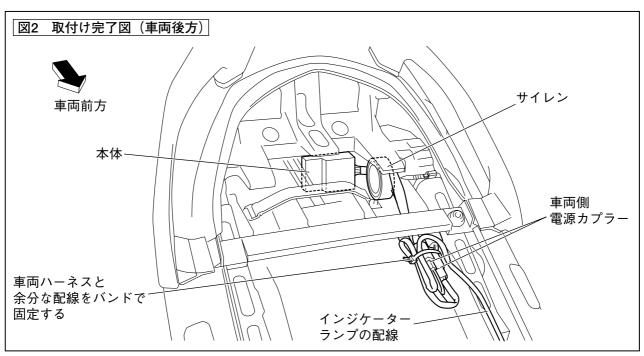
取付方法（取付 0.3h）

● アラーム取付け位置

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のシングルシート、タンデムシートを取外す。
③バッテリーの ㊀ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
　＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。

③図 3 の配線経路を通し、インジケーターランプをハザードスイッチの後方に取付ける。

＊図4は推奨取付け位置を示します。図4以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

＊シート開閉時に、配線が挟まれないように車両内部を通してください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

図3　インジケーターランプの配線経路

図4　インジケーターランプの推奨取付け位置

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、図 2 の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

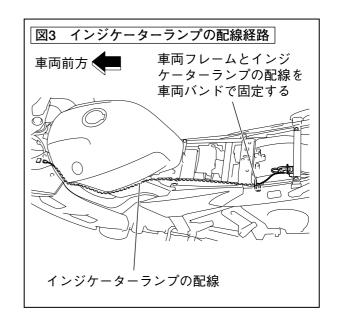
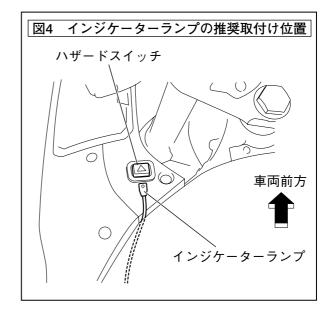
部品を取付けた後、各部品の配線を整理してください。

①インジケーターランプの配線を、車両バンドを使用して図 3 の位置で車両フレームと固定する。

②余分な配線を、付属のバンドを使用して車両ハーネスに固定する。（図 2 参照）

● **車両部品の取付け**

バッテリーの㊀端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

XJR1300 〈'03〜'09、5UX3,4,5,6,7,8,9,B,C,D,E〉

取付方法（取付 0.3h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のシートを取外す。
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。
③インジケーターランプを取付ける。
＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。
④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドを使用して**図3**のように整理してください。（⬅印、3ヶ所）

＊余分な配線がシートに挟まれないように注意してください。

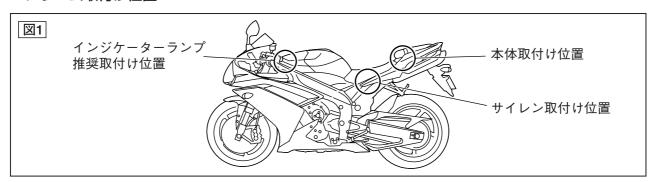
● **車両部品の取付け**

バッテリーの ㊀ 端子と取外した車両部品を取付けます。

適合モデル

YZF-R1 〈' 07〜' 08、4C86,D〉

取付方法（取付 0.3h）

● アラーム取付け位置

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のシングルシート、タンデムシート、ECU（配線は外さない）、カバーサイド1、カバートップを固定している左側面のボルト（1ヶ所）を取外す。

③バッテリーの ⊖ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③**図3**の配線経路を通し、インジケーターランプを取付ける。

＊**図4は推奨取付け位置を示します。図4以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。**

＊**シート開閉時に、配線が挟まれないように車両内部を通してください。**

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● 電源カプラーの接続

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊**車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。**

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● 配線の整理

部品を取付けた後、各部品の配線を整理してください。

①インジケーターランプの配線を、付属のクランプを使用して**図3**の位置でカバートップに固定する。

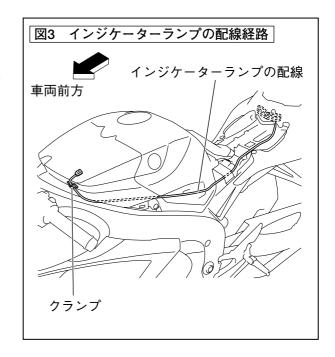
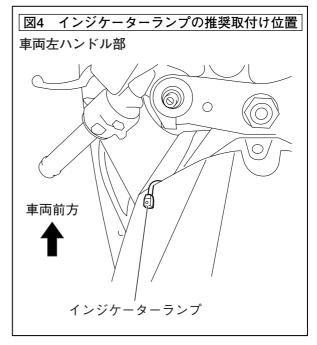
②余分な配線を、付属のバンドを使用して束ねる。（**図2**参照）

● 車両部品の取付け

バッテリーの㊀端子と取外した車両部品を取付けます。

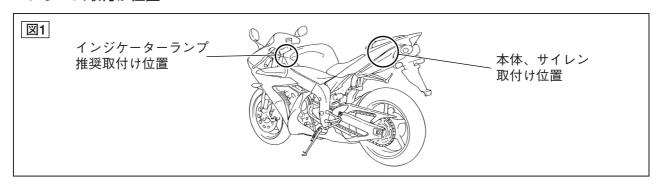
図3　インジケーターランプの配線経路

図4　インジケーターランプの推奨取付け位置

3. 取付方法

適合モデル

YZF-R1 〈' 04～' 06、5VY3,C,K,N / 4B16〉

取付方法 （取付 0.3h）

● アラーム取付け位置

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のシングルシート、タンデムシート、サービスツール、カバーサイド1、カバートップを固定している左側面のボルト（1ヶ所）を取外す。

③バッテリーの ⊖ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③**図3**の配線経路を通し、インジケーターランプを取付ける。

＊図4は推奨取付け位置を示します。図4以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

＊シート開閉時に、配線が挟まれないように車両内部を通してください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● 電源カプラーの接続

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● 配線の整理

部品を取付けた後、各部品の配線を整理してください。

①インジケーターランプの配線を、付属のクランプを使用して**図3**の位置でカバートップに固定する。

②インジケーターランプの配線を、車両バンドを使用して**図3**の位置で固定します。

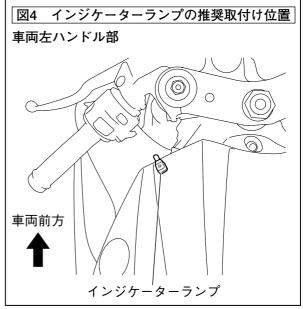
③余分な配線を、付属のバンドを使用して車両ハーネスに固定する。（**図2**参照）

● 車両部品の取付け

バッテリーの㊀端子と取外した車両部品を取付けます。

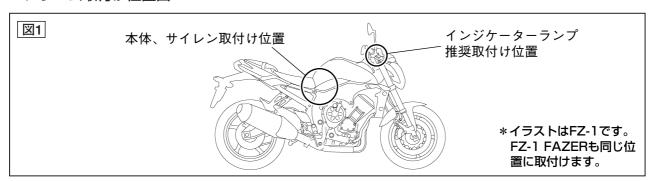
図3　インジケーターランプの配線経路

図4　インジケーターランプの推奨取付け位置

3. 取付方法

適合モデル

FZ-1 / FZ-1 FAZER 〈'08～'09、2D1A / 3C3G,W〉

取付方法（取付 0.4h）

● アラーム取付け位置図

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンド（FZ-1 はサイドスタンド）を使って駐車する。

②スタンダード車のシングルシート、タンデムシート、パネルインナ 1・2（FZ-1 FAZERのみ）、カバートップを取外す。

③フェールタンクを持ち上げ、倒れないように固定する。

＊フェールタンクが倒れないように、頑丈なひもなどで確実に固定してください。フェールタンクの固定が不確実な場合、作業中にフェールタンクが倒れ、思わぬけがをする恐れがあります。

④バッテリーの ⊖ 端子を外す。

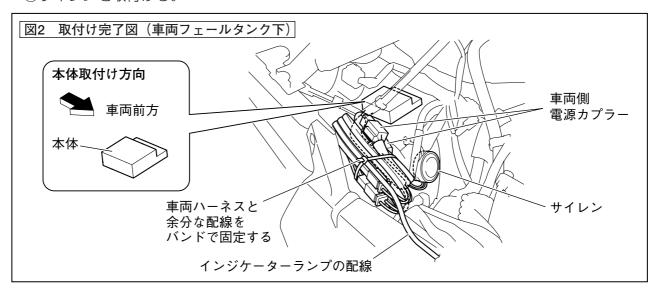
⑤部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプはフレームコンプリートの内側を通し、ハンドルクラウンに取付ける。

＊図3は推奨取付け位置を示します。図3以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

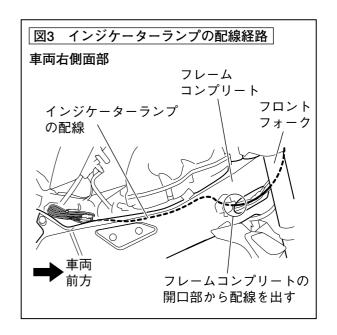
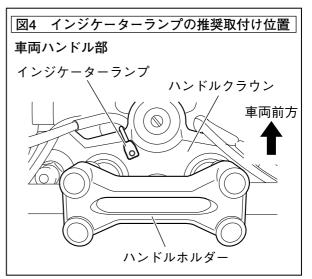
部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドを使用して**図2**の位置で車両ハーネスに固定してください。（1ヶ所）

● **車両部品の取付け**

バッテリーの㊀端子と取外した車両部品を取付けます。

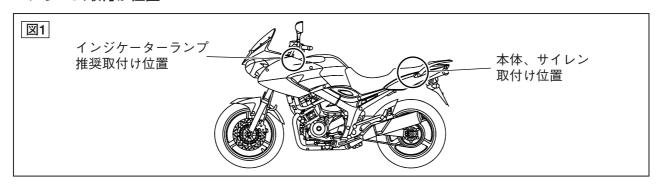
図3　インジケーターランプの配線経路

図4　インジケーターランプの推奨取付け位置

3. 取付方法

適合モデル

TDM900 〈'04〜'09、5PS6,8,A,C,E,G,H / 2B01,4,5,7〉

取付方法（取付 0.3h）

● アラーム取付け位置

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のシート、カバーサイド 1、パネル 1 を取外す。
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。

③**図 3** の配線経路を通し、インジケーターランプを取付ける。

＊図4は推奨取付け位置を示します。図4以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

＊シート開閉時に、配線が挟まれないように車両内部を通してください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● 電源カプラーの接続

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図 2** の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● 配線の整理

部品を取付けた後、各部品の配線を整理してください。

①インジケーターランプの配線を、付属のクランプを使用して**図 4** の位置でパネルインナ 1 に固定する。

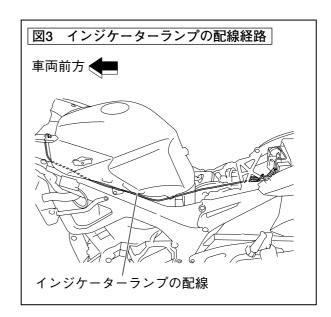
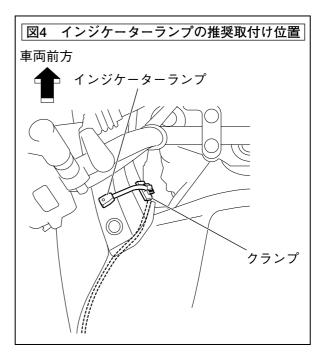
②余分な配線を、付属のバンドを使用して車両フレームに固定する。（**図 2** 参照）

● 車両部品の取付け

バッテリーの㊀端子と取外した車両部品を取付けます。

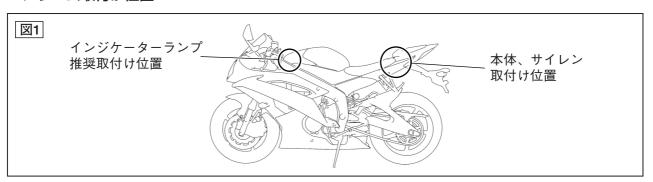
図3　インジケーターランプの配線経路

図4　インジケーターランプの推奨取付け位置

3. 取付方法

適合モデル

YZF-R6 〈'08～'09、13S6,9,G,K〉

取付方法（取付 0.3h）

● アラーム取付け位置

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のシングルシート、タンデムシート、サービスツール、ECU（配線は外さない）、タンクサイドカバーASSY1、カバートップを固定している左側面のボルト（1ヶ所）を取外す。

③バッテリーの ⊖ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③**図 3** の配線経路を通し、インジケーターランプを取付ける。

＊図4は推奨取付け位置を示します。図4以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

＊シート開閉時に、配線が挟まれないように車両内部を通してください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● 電源カプラーの接続

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● 配線の整理

部品を取付けた後、各部品の配線を整理してください。

①インジケーターランプの配線を、付属のバンドを使用して**図 2** の位置で車両ハーネスに固定する。

②インジケーターランプの配線を、付属のクランプを使用して**図 3** の位置でカバートップに固定する。

③余分な配線を、付属のバンドを使用して束ねる。（**図 2** 参照）

● 車両部品の取付け

バッテリーの㊀端子と取外した車両部品を取付けます。

図3　インジケーターランプの配線経路

図4　インジケーターランプの推奨取付け位置

3. 取付方法

適合モデル

YZF-R6 〈' 06～' 07、2C07,A,H〉

取付方法（取付 0.3h）

● アラーム取付け位置

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のシングルシート、タンデムシート、ECU（配線は外さない）、タンクサイドカバーASSY1、カバートップを固定している左側面のボルト（1ヶ所）を取外す。

③バッテリーの ⊖ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③**図3**の配線経路を通し、インジケーターランプを取付ける。

＊**図4は推奨取付け位置を示します。図4以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。**

＊**シート開閉時に、配線が挟まれないように車両内部を通してください。**

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊**車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。**

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線を整理してください。

①インジケーターランプの配線を、付属のバンドを使用して**図2**の位置で車両ハーネスに固定する。

②インジケーターランプの配線を、付属のクランプを使用して**図3**の位置でカバートップに固定する。

③余分な配線を、付属のバンドを使用して車両ハーネスに固定する。（**図2**参照）

● **車両部品の取付け**

バッテリーの㊀端子と取外した車両部品を取付けます。

図3　インジケーターランプの配線経路

図4　インジケーターランプの推奨取付け位置

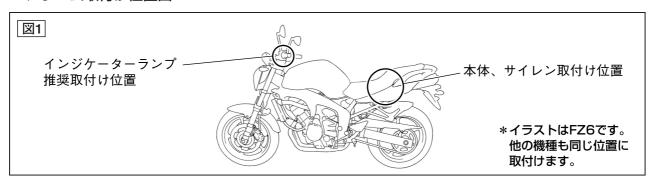
3. 取付方法

適合モデル

FZ6 / FZ6 S2 / FZ6 FAZER / FZ6 FAZER S2

〈'04～'09、1B31,3,5,7,9,B / 5S51 / 5VX1,6,B,D / 4S81,6,B / 5S22,3〉

取付方法（取付 0.4h）

● **アラーム取付け位置図**

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンド（またはサイドスタンド）を使って駐車する。

②スタンダード車のシート、カバーサイド 1、リレーステーを取外す。

③フェールタンクを持ち上げ、倒れないように固定する。

＊フェールタンクが倒れないように、頑丈なひもなどで確実に固定してください。フェールタンクの固定が不確実な場合、作業中にフェールタンクが倒れ、思わぬけがをする恐れがあります。

④バッテリーの ㊀ 端子を外す。

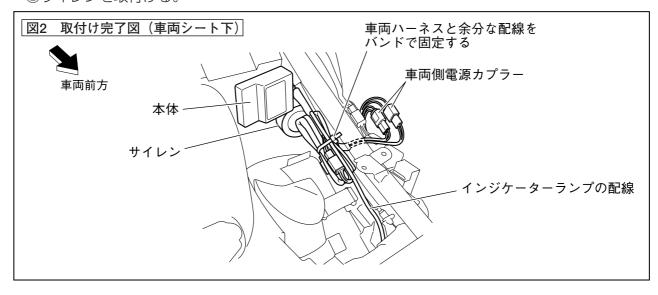
⑤部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプは**図3**の配線経路を通し、マスターシリンダーに取付ける。

＊図3は推奨取付け位置を示します。図3以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● 電源カプラーの接続

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。

（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

＊本体の3極カプラー及び4極カプラーは、フレームの内側を通してください。

● 配線の整理

部品を取付けた後、各部品の配線を整理してください。（**図2**参照）

①インジケーターランプの配線を、車両バンドを使用して**図4**の位置で固定します。

②インジケーターランプの配線を、付属のバンドを使用して**図3**の位置で車両ハーネスに固定します。

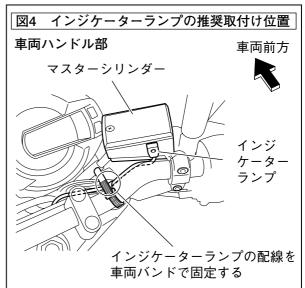
③余分な配線を、付属のバンドを使用して**図2**の位置で車両ハーネスに固定します。

● 車両部品の取付け

バッテリーの㊀端子と取外した車両部品を取付けます。

図3　インジケーターランプの配線経路

図4　インジケーターランプの推奨取付け位置

3. 取付方法

適合モデル

SR400 〈' 03～' 08、3HTF,G,H,J,K,L,M,N,P,S〉

取付方法（取付 0.5h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のシート、左サイドカバー、エアークリーナー横にあるスポンジを取外す。

＊スポンジは車両をアラームなしで使用するときに元に位置に取付ける必要があります。大切に保管してください。

③バッテリーの ⊖ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

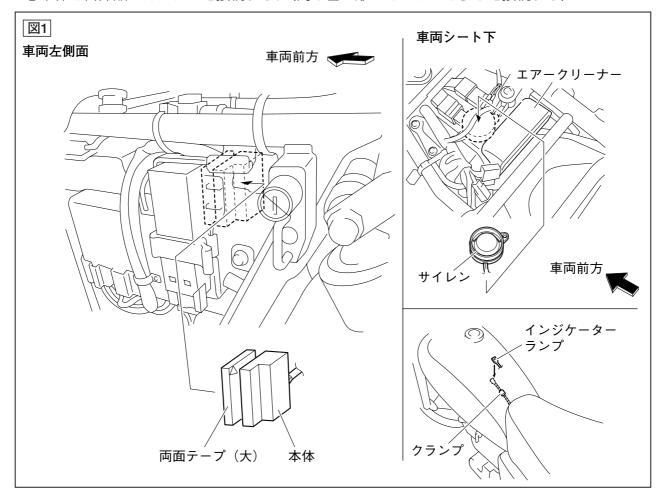
①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプを取付ける。

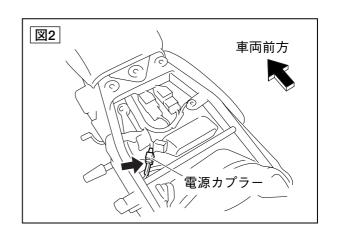
＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

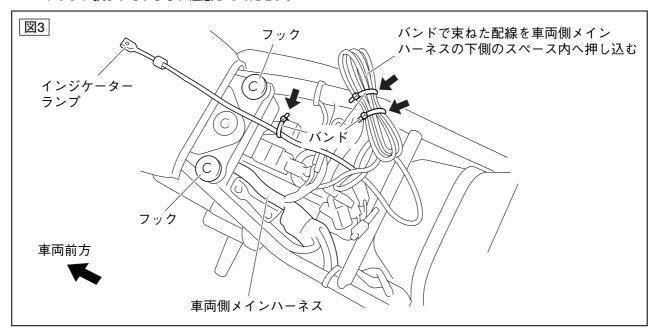
各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドで**図3**のように整理してください。（⬅印、3ヶ所）

＊余分な配線がシートに挟まれないように注意してください。また、インジケーターランプの配線がシート前側のフックに挟まれないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ㊀ 端子、左サイドカバー、シートを取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

XJR400R 〈'04～'07、4HMH,J,K,L〉

取付方法（取付 0.3h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のシート、シートカウル下部の物入れスペースのダンパーを取外す。

③バッテリーの ㊀ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

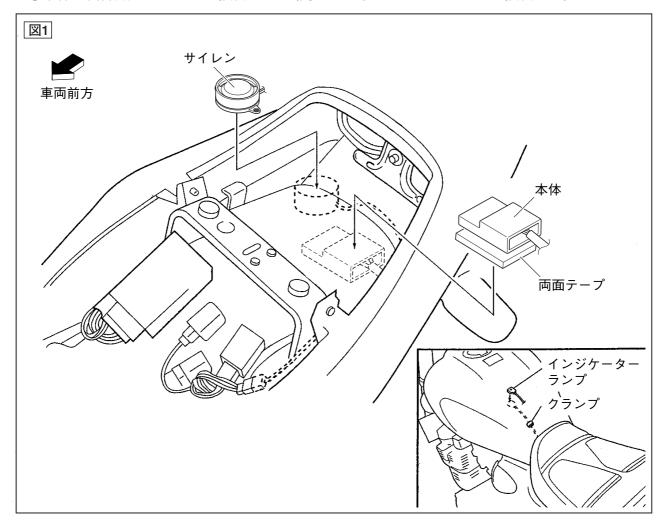
①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプを取付ける。

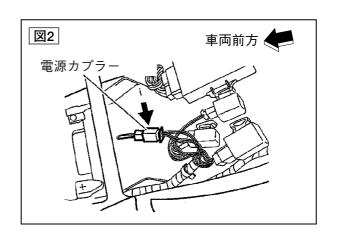
＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

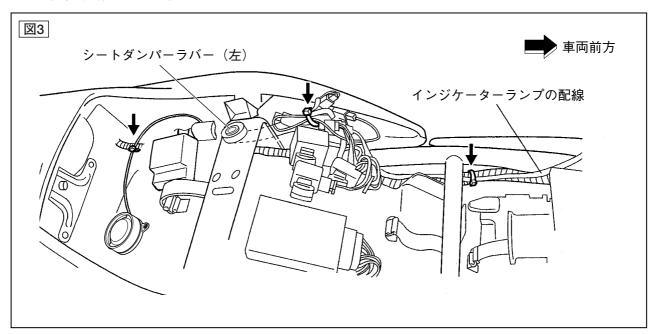
各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、シートダンパーラバー（左）の下側付近にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドで**図3**のように整理してください。（⬅印、3ヶ所）

＊余分な配線がシートに挟まれないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

DS11（XVS1100）〈’05～’08、3B91,2,3,4,5,6,7,8〉
DSC11（XVS1100A）〈’03～’08、5KSP / 5YS6,G,S / 11P1,2,3〉

取付方法（取付 0.4h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車の左側サイドカバー、カバーサイド３（エンジン左後方のメッキカバー）を取外す。

③バッテリーの ㊀ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

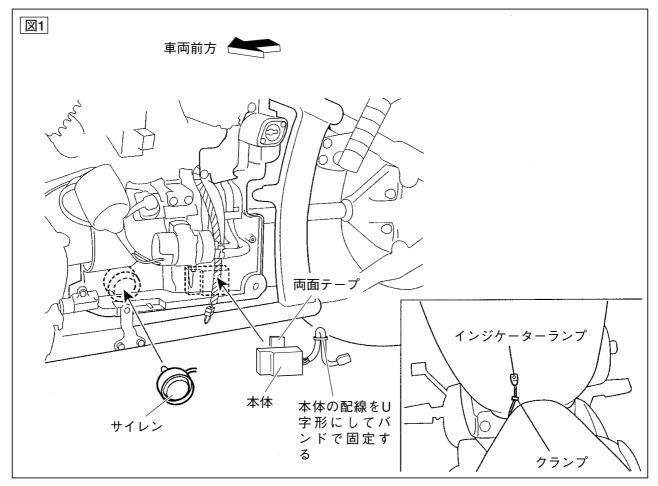
①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプを取付ける。

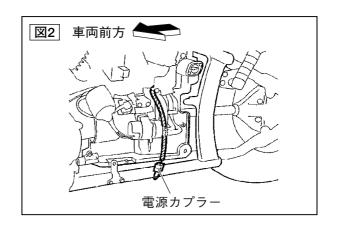
＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

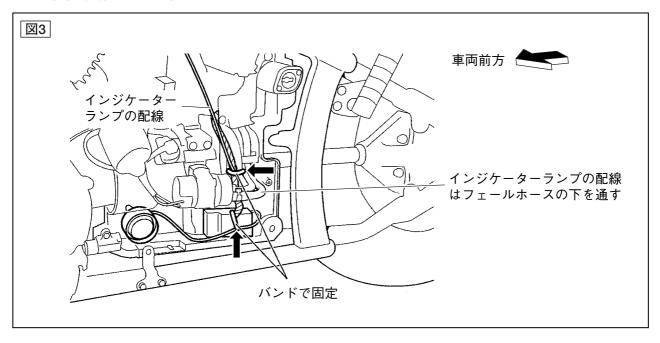
②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドで**図3**のように整理してください。（⬅印、2ヶ所）

＊余分な配線がシートに挟まれないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

DS4(XVS400) 〈'03～'08、5KP8,B,C,E,H,K,L,M〉
DSC4(XVS400C) 〈'04～'08、5KP9,D,F,G,J,N,P〉

取付方法 (取付0.5h)

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のタンデムシート、シングルシート、サイドカバー（右）を取外す。

③バッテリーの ㊀ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図1**の位置に取付けてください。

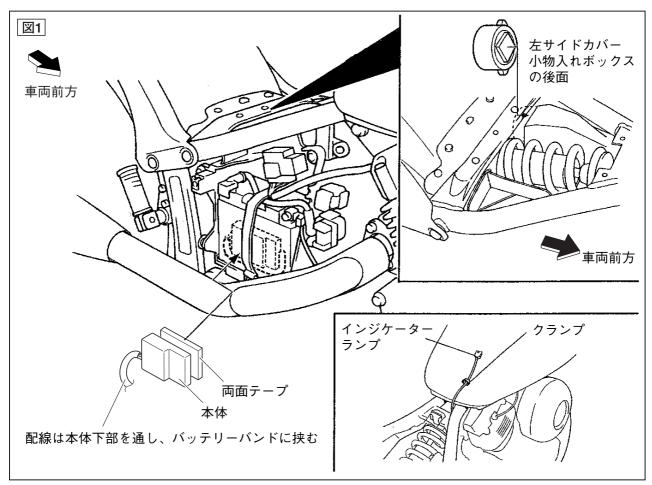
①本体を付属の両面接着テープ（大）1枚で取付ける。（取付けガイド部に入れ、バッテリーバンドに挟む。）

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ(大)の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。（左サイドカバー内小物入れボックス後面）

③インジケーターランプを取付ける。

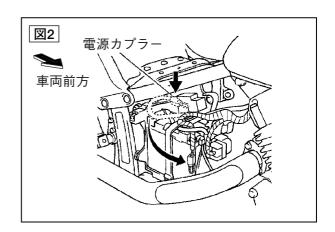
＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

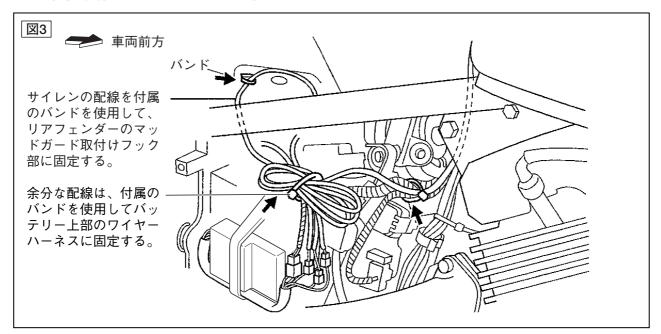
各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、バッテリー⊕線の下を通してバッテリー前方に移動させる。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

②車両側電源カプラーの防水用カプラーを外し、本体のカプラーと接続する。

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドで**図3**のように整理してください。（⬅印、3ヶ所）

＊余分な配線がサイドカバーやシートに挟まれないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの⊖端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

XT660R / X 〈'03〜'08、5VK1,6,8,A / 1D21,4 / 10S1,3〉

取付方法（取付 0.3h）

● アラーム取付け位置

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にサイドスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のシートを取外す。
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図 2** の位置に取付けてください。
①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。

③**図 3** の配線経路を通し、インジケーターランプを取付ける。

＊図3は推奨取付け位置を示します。図3以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

＊シート開閉時に、配線が挟まれないように車両内部を通してください。

図3　インジケーターランプの推奨取付け位置

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● 電源カプラーの接続

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図2**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● 配線の整理

部品を取付けた後、各部品の配線を整理してください。

①インジケーターランプの配線を、付属のバンドを使用して**図3**の位置で車両フレームに固定する。

②余分な配線を、付属のバンドを使用して車両ハーネスに固定する。（**図 2** 参照）

● 車両部品の取付け

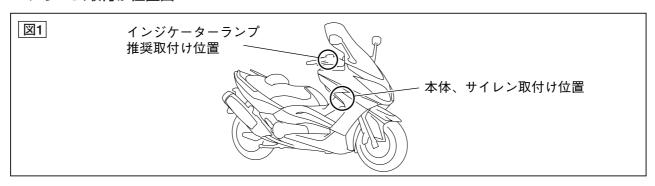
バッテリーの ㊀ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

TMAX（XP500）〈'08、4B53〉

取付方法（取付 1.0h）

● アラーム取付け位置図

● 取付けの準備

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車の下記の車両部品を取外す。

バックミラーアセンブリ（レフト・ライト）、カバーフロント、カバー5、スクリーン、プレート、パネルインナ5、パネルインナ2、フットレスト1・2、パネル1・2、ボデーカウリング（ライトカウルごと外す）

③バッテリーの ⊖ 端子を外す。

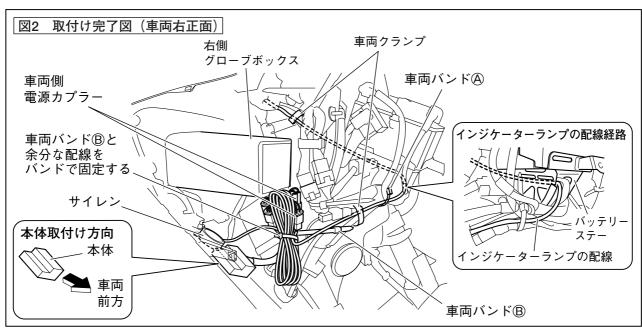
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● アラームの取付け

本体、サイレンは必ず**図2**の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1枚で取付ける。

＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③車両バンドⒶを緩め、インジケーターランプを通す。（**図 2** 参照）

④インジケーターランプをバッテリーステーの間とクランプ（2ヶ所）に通し、ハンドルカバーの開口部から出す。（**図 2、3** 参照）

⑤インジケーターランプをハンドルカバーに取付ける。

＊図3は推奨取付け位置を示します。図3以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。

⑥本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

図3　インジケーターランプの推奨取付け位置

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。

（電源カプラーは、**図 2** の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、余分な配線は付属のバンドを使用して車両バンドⒷに固定してください。（**図 2** 参照）

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

TMAX（XP500）〈' 04～' 07、5VU1,3,5,6,9,D / 15B7,8〉

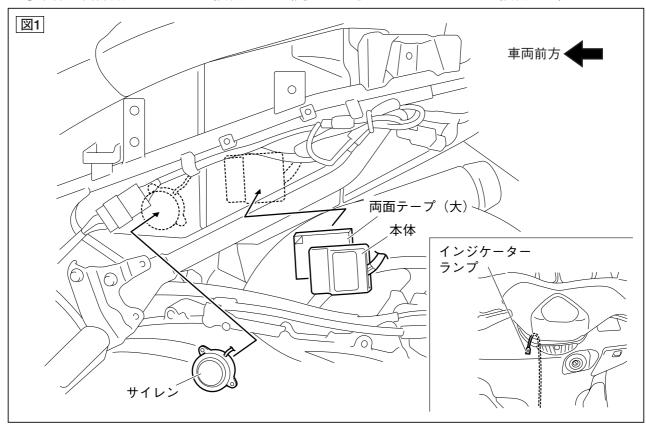
取付方法（取付 1.0h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。
②スタンダード車のグラブバー、リアカバー、アッパーカバーサイドモール（左）、リアサイドカバー（左）の順に取外す。
③バッテリーの ⊖ 端子を外す。
④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

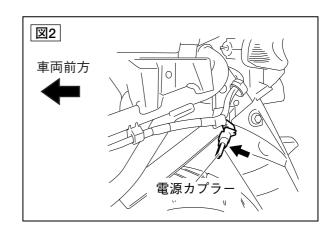
本体、サイレンは必ず**図 1** の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）1 枚で取付ける。
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。
②サイレンを取付ける。
③フロントサイドカバーモール（左右）、サイドミラー（左右）、フロントカウリングアッパーカバー、ウインドシールド、フロントカウリングインナーパネル、フロントカウリング、フロントアンダーカウル（左）の順に取外す。
④インジケーターランプを取付ける。
＊図1は推奨取付け位置を示します。図1以外の位置に取付ける場合は、3-3ページの「インジケーターランプ取付け上の注意事項」を守って取付けてください。
⑤本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、リアサイドカバー（左）の後方にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

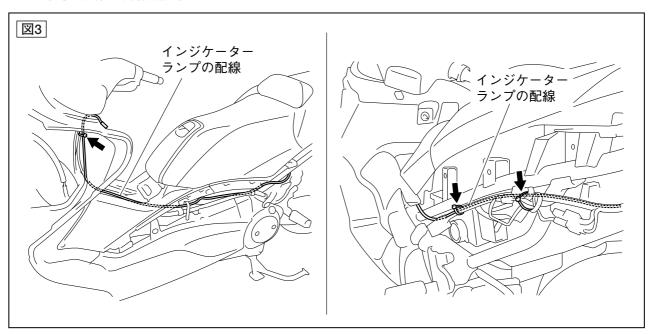
②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドで**図3**のように整理してください。（⬅印、3ヶ所）

＊余分な配線が車両部品に挟まれないように注意してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

3. 取付方法

適合モデル

MAJESTY（YP250）〈'07、4D91〉

取付方法（取付 0.5h）

● **取付けの準備**

①車両を平坦で安全な場所にメインスタンドを使って駐車する。

②スタンダード車のスクリーン、フロントカバー、インナーパネル４、インナーパネル３、サイドバイザー１・２、メーターパネルを固定しているネジ（６本）を取外す。

③バッテリーの ㊀ 端子を外す。

④部品を取付ける部分のほこり、油分などをふきとる。

● **アラームの取付け**

本体、サイレンは必ず**図２**の位置に取付けてください。

①本体を付属の両面接着テープ（大）１枚で取付ける。

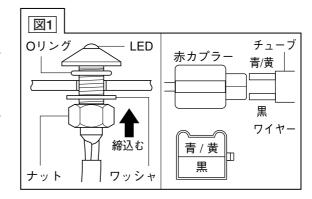
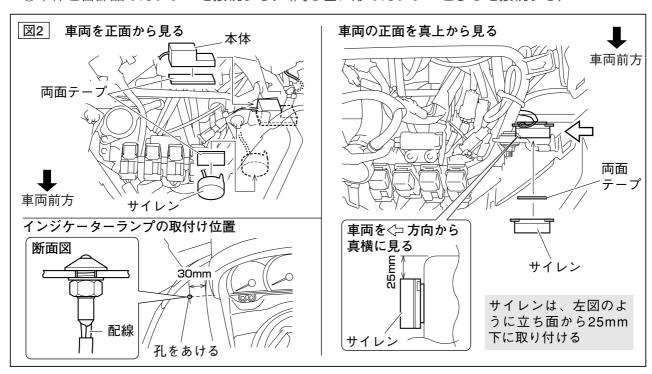
＊3-2ページの「取付け用両面接着テープ（大）の注意事項」を参照してください。

②サイレンを取付ける。

③インジケーターランプを取付ける。

図２の**インジケーターランプの取付け位置**にドリル等でφ 6.2 ± 0.1mm の孔をあける。

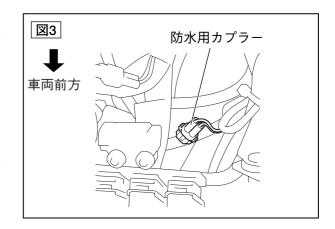
＊パネルを破損しないように注意してください。

図1のように部品を取付け、インジケーターランプを固定してからインジケーターランプのワイヤーを赤カプラーに差し込む。

④本体と各部品のカプラーを接続する。（同じ色、形のカプラーどうしを接続する）

● **電源カプラーの接続**

各部品の取付けが終了したら、車両側電源カプラー（プレワイヤリング）と接続します。

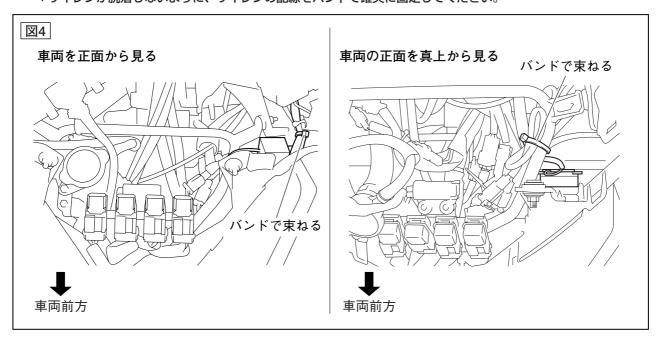
①車両側電源カプラーを探し、防水用カプラーを取外す。（電源カプラーは、**図3**の位置にあります）

＊車両側電源カプラーの防水用カプラーは、車両をアラームなしで使用するとき必要ですので、大切に保管してください。

②車両側電源カプラーと本体のカプラーを接続する。

● **配線の整理**

部品を取付けた後、各部品の配線は付属のバンドで**図4**のように整理してください。（2ヶ所）

＊余分な配線が車両部品に挟まれないように注意してください。

＊サイレンが脱落しないように、サイレンの配線をバンドで確実に固定してください。

● **車両部品の取付け**

バッテリーの ⊖ 端子と取外した車両部品を取付けます。

4. 取扱方法

■ 安全上の注意事項

製品を安全に使用していただくために、この「**■ 安全上の注意事項**」をご使用の前によくお読みください。
お読みになったあとは、必要なときにご覧になれるように、大切に保管してください。

絵表示について

この「**■ 安全上の注意事項**」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠警告　**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷及び傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。**

注意　**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

絵表示の例

記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近くに具体的な注意内容が書かれています。

記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容が書かれています。

記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。近くに具体的な指示内容が書かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

本製品は、ヤマハモーターサイクル・プレワイヤリング装備車およびヤマハスクーター適合車専用です。
プレワイヤリング装備車(適合車)以外には使用しないでください。
配線不良による火災や故障の原因になります。

配線は必ず、本書に記載してある通りに行なってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

配線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対におやめください。
電線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因になります。

本製品の取付けの際には、必ず付属の取付け用部品をご使用ください。
取付け用部品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こる可能性があります。
また、取付け不備により運転中に製品が外れて故障するなどの原因になります。

本製品の配線は、延長しないでください。
配線の被覆が壊れ、ショート、発熱事故による火災が起こる可能性があります。
また、電流オーバーにより、火災が起こる恐れがあります。

事故防止のため、取付け用両面接着テープや電池・ネジなどの小物類は幼児の手の届かない所に保管してください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師とご相談ください。

製品を分解したり、改造しないでください。
事故・火災・感電の原因になります。

⚠警告

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車両を停止させてから、行なってください。
・アラームのセット、解除、サイレン作動時間の変更など。

インジケーターランプがつかない、サイレンが鳴らないなどの故障状態で使用しないでください。
そのまま使用すると、事故・火災・感電などの原因となります。

万一、〈煙が出る・変な匂いがする〉など異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ず、〈お買い上げの販売店〉にご相談ください。
そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因になります。

修理は必ず、〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

注意

本製品の取付け・配線は専門技術と経験が必要です。
安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

純正ECU、純正イグナイタユニット、純正CDIユニット以外への変換は、不具合の原因となりますので、行なわないでください。

本製品は、指定された車両以外の用途では使用しないでください。

■ 取扱方法

用語の説明

この「■ **取扱方法**」の中で説明に使用する用語とその意味は以下のとおりです。
取付け、操作の前にご一読の上、内容をよく理解してください。

用語	意味
(1) システムをセットする	システムを作動状態にすること。 作動状態では、車両の姿勢変化の検出、メインスイッチ(電源)の不正操作の検出などを行ない、アラーム機能とイモビライザー機能を作動させます。 ※A324、A325にイモビライザー機能はありません。
(2) 自動セット	車両のメインスイッチ(電源)を〈OFF〉にすることにより、1分後にシステムが自動的にセットされます。
(3) アラーム機能	車両の姿勢変化をセンサーが検知したときや、メインスイッチ(電源)の不正操作などがあったときにサイレンによる警報を発する機能。
(4) イモビライザー機能	システムをセットすることによりエンジンを始動できなくする機能。
(5) システムを解除する	システムを不作動状態(乗車可能状態)にすること。

動作と機能

本製品には以下のような機能があり、盗難抑止に効果を発揮します。

機能	動　作	効　果
アラーム機能 (全種)	車両の揺れ、移動などを検知したときにサイレン(5秒間)を鳴らす。 メインスイッチ(電源)が、不正に操作されたときにサイレンを鳴らす(3回まで警告し、4回目は5秒間)。	・車両を揺らす、移動するなどの盗難行為に対し警報する。 ・メインスイッチ(電源)の不正操作に対して警報する。
イモビライザー機能 (A321、A322、A323)	エンジンの点火回路を遮断し、エンジンを始動できなくする。 **<イモビライザー標準装備車両にお乗りのお客様へ>** ・本製品のイモビライザー機能は、イモビライザー標準装備車両に対して作動しません。(車両側にイモビライザー機能が装備されているため)	・メインスイッチ(電源)の不正操作を行なってもエンジンが始動できない。
作動表示機能 (全種)	システムの作動状態をインジケーターランプで表示する。	・システムが作動中であることを表示し、車両に対する盗難行為を抑止する。
バッテリー電圧検出機能 (全種)	システムを解除した後、バッテリーの電圧が約10V以下のときに、サイレンを鳴らす。	・バッテリー電圧の低下に対して警告する。

	動　作	効　果
スリープ機能 （全種）	システムをセットして1週間程度（4～10日）放置した場合、インジケーターランプを消灯させて省電力化する。	・車両を長期間放置した場合のバッテリー負担を軽減する。
車両標準装備のイモビライザーとの連動機能 （A324）	標準装備のイモビライザーから、システム解除信号を受信した場合**（注1）**システムを解除する。	・簡単な操作（メインスイッチをONにする）でシステムを解除することができる。

注1：標準装備のイモビライザーは、正規のキーでメインスイッチをONにした場合、エンジンの始動を可能にするとともに、本製品にシステム解除信号を送信します。

	動　作	効　果
スマートユニットとの連動機能 （A325）	スマートユニットから、システム解除信号を受信した場合**（注2）**システムを解除する	・簡単な操作（電源をONにする）でシステムを解除することができる。

注2：スマートユニットは、正規のユーザーが電源をONにした場合、エンジンの始動を可能にするとともに、本製品にシステム解除信号を送信します。

リモコン付車両の場合

※車両付属のリモコンもおよそ1週間で"オートカットオフ機能"が働いて操作できなくなりますが、本システムのスリープ機能と開始時間が前後します。インジケーターランプが点滅していてもリモコン操作できないときは、4-8ページの「**2-2.車両付属のリモコンを使用しないとき**」を参考にシステムの解除を行なってください。

システムの作動状態とインジケーターランプの表示

インジケーターランプの表示	作　動　状　態
点灯	システムがセットされるまでの準備状態
点滅（約2秒に1回）	システムがセットされた状態
点滅（約1秒に1回）	給油・整備モードにセットされるまでの準備状態
点滅（約1秒に2回）	センサーの感度を変更している状態
高速点滅（約1秒に20回）	給油・整備モードに移行可能な状態
消灯	給油・整備モード、またはシステムが解除された状態
	システムをセットして1週間程度放置した状態 （車両を動かすと警報します）

※走行中にインジケーターランプがうっすら点灯する場合がありますが、本製品の故障ではありません。

4. 取扱方法

リモコンシャッター車用(A321)

使用上の注意

● 電源について

本製品の電源はDC12V、車載バッテリーです。

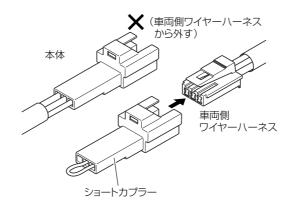
※バッテリーがあがり電源電圧が低下すると、システムが解除できずエンジンの始動ができなくなります。
スターターセルの回りが弱くなったな、と思ったら速やかにバッテリーを充電するか、交換を行なってください。

※バッテリーが劣化し容量が2分の1以下となった場合は、1ヶ月程度の放置でもセル始動ができなくなる恐れがあります。長時間放置する場合は適時に補充電を実施してください。(ときどきエンジンを始動するだけでは、かえって放電を促進します。)

● 適合車種について

ヤマハ発動機株式会社　国内向けリモコンシャッター車に適合します。

● システムの異常にお気付きのときは

万一、システムの異常にお気付きのときは、4-10ページの**「故障かな?と思ったら」**を参照して各部を点検してください。
それでも直らないときは、まず車両側のワイヤハーネスと接続しているカプラーを外し、最初についていたショートカプラーをつないでください。
そして、そのままの状態でお買い上げの販売店にご相談ください。
また、本システムが原因と思われる車両の不具合があった場合も車両との接続カプラーを外してシステムを切り離し、ショートカプラーをつないでください。
(ショートカプラーを他人に気づかれない場所に収納し、携帯してください。)

● 駐車場所について

本製品は車両の振動や、傾きの変化を検出して警報します。車両が安定しない場所への駐車はおやめください。やむをえず、不安定な場所や振動の大きな場所(工事現場等)に駐車する場合は、感度を標準2にするか(※1)、車両が揺れても警報しないモード(※2)にしてください。

※1 「4.センサーの感度を調整するとき」を参照(4-9ページ)してください。
※2 「3.ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき」を参照(4-8ページ)してください。

● 本製品を外して車両をご使用する場合

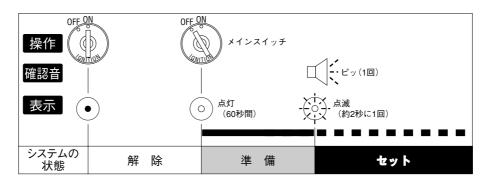
車両側のワイヤハーネスにショートカプラーを接続してください。
(ショートカプラーを接続しないとエンジンが始動できませんのでご注意ください。)

操作のしかた

1. 車両を降りるとき（システムをセットする）

車両のメインスイッチを〈OFF〉にするだけで、システムは60秒後に自動セットされます。

①車両のメインスイッチを〈OFF〉にする。

インジケーターランプが、60秒間点灯する。（準備状態）
60秒後に確認音がピッと1回鳴り自動セットされたことを知らせます。
インジケーターランプが点滅になる。（約2秒に1回）…〈セット完了〉
＊車両のシャッターロック操作に関係なく、本システムは必ずセットされます。

2. 車両に乗るとき（システムを解除する）

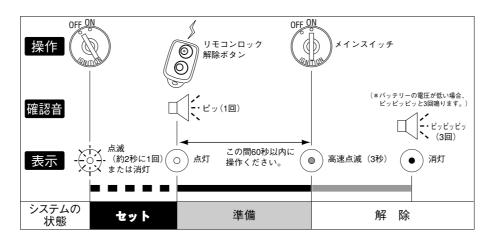
車両に乗るときは、必ず以下の操作をしてください。

2-1. 車両付属のリモコンを使用するとき

①車両付属リモコンのロック解除ボタンを押す。

確認音が「ピッ」と1回鳴り、インジケーターランプが点灯する（準備状態）。

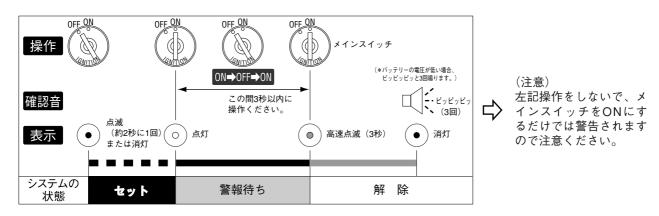
②インジケーターランプが点灯中（60 秒以内）、メインスイッチを〈ON〉にする。

インジケーターランプが3秒間高速点滅した後、消灯する。…〈解除完了〉
＊この状態でエンジンを始動することができます。
＊②の操作を行なわなかった場合、60秒後再びシステムがセットされます。

2-2. 車両付属のリモコンを使用しないとき
（1 週間以上放置状態で車両付属のリモコンが効かなくなったときなど）

①車両のメインスイッチの〈ON-OFF-ON〉を 3 秒以内に行ないます。

インジケーターランプが3秒間高速点滅した後、消灯する。…〈解除完了〉

＊この状態でエンジンを始動することができます。

＊もし解除されていなければ、サイレンで警告されます。この場合は再度操作をやり直してください。

＊バッテリーの電圧が低い場合、システムを解除したときの点滅後に、サイレンがピッピッピッと3回鳴りますのでバッテリーのチェックをしてください。

3. ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき
（車両の振動などでサイレンを鳴らしたくないとき）

ガソリンスタンドで給油する、車両を整備するときに、サイレンを鳴らしたくない場合があります。

そのような場合に、以下の操作をすることにより、車両が揺れても警報しないようにできます。

＊メインスイッチの不正操作に対しては警報します。

＊イモビライザー機能もはたらいています。

①車両のメインスイッチを〈OFF〉にする。

インジケーターランプが点灯する。(準備状態)を知らせます。

②準備状態中（60 秒以内）にメインスイッチの〈ON-OFF〉操作を 3 秒以内に行ないます。

インジケーターランプが10秒間ゆっくり点滅した後、確認音が「ピッピッ」と2回鳴り、アラーム機能が解除されたことを知らせます。

＊この状態から再度車両に乗るときは、**「2.車両に乗るとき(システムを解除する)」**の操作を行なってください。

＊再度車両に乗車後、メインスイッチを〈OFF〉にした場合は通常の「自動セット」に戻りますので、この操作を必要なときその都度行なってください。

4. センサーの感度を調整するとき

センサーの感度を、標準1と標準2および敏感の3段階で調整することができます。
初期設定は標準1となっています。

＊標準2は標準1に対して、不安定な場所や振動の大きな場所(工事現場等)または、大きな騒音が発生する場所(幹線道路に面した場所等)に駐車する場合、警報しにくくします。そのような場所で駐車する場合は、センサーの感度を標準2で設定することをお勧めします。

①操作のしかたの「3. ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき」の状態にする。

(3. の①および②を実施し、2回のサイレン音を確認してください。)

②メインスイッチを〈ON〉にする。

③サイレンが2回鳴った後、一旦メインスイッチを〈OFF〉にして、その後3秒以内にメインスイッチを〈ON〉〈OFF〉する。

現在の設定感度を、サイレンで知らせます。
(標準1なら1回。敏感なら2回。標準2なら3回。)
その後、LEDが点滅します。(感度調整状態)

④ LED が点滅している間(約 1 分間)に、メインスイッチを〈ON〉〈OFF〉(3 秒以内)する。

感度が変更され"設定感度"をサイレンで知らせます。
(標準1なら1回。敏感なら2回。標準2なら3回。)
標準1→敏感→標準2→標準1→敏感→標準2→標準1・・・
(1分の間、何回でも感度を変更することができます。1分経過するとそのときの設定値のまま、感度調整モードを抜けます。)

⑤メインスイッチを 3 秒以上〈ON〉にする。

インジケーターランプが点灯します。

⑥メインスイッチを〈OFF〉にする。

LEDがゆっくり2回点滅し、感度調整モードを終了します。
その後、アラームイモビライザーはシステムがセットされた状態になります。
＊センサーの感度は電源を切っても(バッテリーを外しても)保存されています。

故障かな？と思ったら

症　　状	考えられる原因	対　　応
● サイレンが鳴らない	・本体取付け方向の不良 ・サイレンのカプラーの接触不良または外れている ・センサーの感度が低い ・本体またはサイレンの故障	・取付方法どおりの場所、方向で取付けてください。 ・サイレンのカプラーの接続を確認して、外れていたら直してください。 ・取付けや、カプラーが外れていたら直してください。 ・センサーの感度を「敏感」にしてください。 ・お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● サイレンが鳴りやまない	・本体の故障	・サイレンのカプラーもしくはバッテリーを外し、お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● システムを解除しても車両のエンジンが始動できない ● システムが解除できない ● リモコンで車両のロックは解除できるが、システムは解除できない	・車両側ワイヤハーネスとの接触不良 ・バッテリーあがり ・本体の故障	・車両側ワイヤハーネスを一度外し、再度接続してください。 ・バッテリーを充電、または交換してください。 ・お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● インジケーターランプがつかない ● インジケーターランプが消えない	・カプラーの接触不良または外れている ・本体の故障	・カプラーの接続を確認してください。 ・お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● リモコンが全く効かない	・車両側の異常	・車両の説明書を参照してください。 ・お買い上げの販売店にご相談ください。

※走行中にインジケーターランプがうっすら点灯する場合がありますが、本製品の故障ではありません。

NEWベーシック(A322)
NEWスクーター(A323)

使用上の注意

● 電源について

本製品の電源はDC12V、車載バッテリーです。

※バッテリーがあがり電源電圧が低下すると、システムが解除できずエンジンの始動ができなくなります。
スターターセルの回りが弱くなったな、と思ったら速やかにバッテリーを充電するか、交換を行なってください。

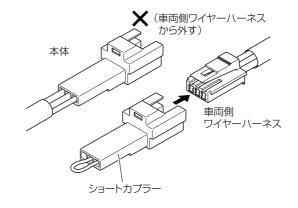
※バッテリーが劣化し容量が2分の1以下となった場合は、1ヶ月程度の放置でもセル始動ができなくなる恐れがあります。長時間放置する場合は適時に補充電を実施してください。(ときどきエンジンを始動するだけでは、かえって放電を促進します。)

● 適合車種について

A322:ヤマハ発動機株式会社　国内向けモーターサイクル、プレワイヤリング装備車に適合します。
A323:ヤマハ発動機株式会社　国内向けスクーターに適合します。

※A323を車両に取付けの際には、車種別ワイヤーキットが必要です。車両に適応したワイヤーキットを別途お買い求めください。

● システムの異常にお気付きのときは

万一、システムの異常にお気付きのときは、4-15ページの「故障かな?と思ったら」を参照して各部を点検してください。
それでも直らないときは、A322の場合、まず車両側のワイヤハーネスと接続しているカプラーを外し、最初についていたショートカプラーをつないでください。そして、そのままの状態でお買い上げの販売店にご相談ください。A323の場合は、そのままの状態でお買い上げの販売店にご相談ください。
また、本システムが原因と思われる車両の不具合があった場合も車両との接続カプラーを外してシステムを切り離し、ショートカプラーをつないでください。
(ショートカプラーを他人に気づかれない場所に収納し、携帯してください。)

● 駐車場所について

本製品は車両の振動や、傾きの変化を検出して警報します。車両が安定しない場所への駐車はおやめください。やむをえず、不安定な場所や振動の大きな場所(工事現場等)に駐車する場合は、感度を標準2にするか(※1)、車両が揺れても警報しないモード(※2)にしてください。

※1　「4.センサーの感度を調整するとき」を参照(4-13ページ)してください。
※2　「3.ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき」を参照(4-13ページ)してください。

● 本製品を外して車両をご使用する場合(A322)

車両側のワイヤハーネスにショートカプラーを接続してください。
(ショートカプラーを接続しないとエンジンが始動できませんのでご注意ください。)

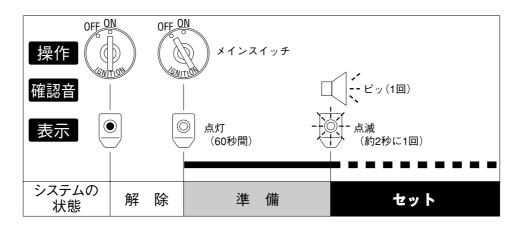
4. 取扱方法

操作のしかた

1. 車両を降りるとき(システムをセットする)

車両のメインスイッチを〈OFF〉にするだけで、システムは60秒後に自動セットされます。

①車両のメインスイッチを〈OFF〉にする。

インジケーターランプが、60秒間点灯する。(準備状態)
60秒後に確認音がピッと1回鳴り自動セットされたことを知らせます。
インジケーターランプが点滅になる。(約2秒に1回)…〈セット完了〉

2. 車両に乗るとき(システムを解除する)

車両に乗るときは、必ず以下の操作をしてください。

①車両のメインスイッチの〈ON-OFF-ON〉を3秒以内に行ないます。

インジケーターランプが消灯する。…〈解除完了〉
＊この状態でエンジンを始動することができます。
＊もし解除されていなければ、サイレンで警告されます。この場合は再度操作をやり直してください。

＊バッテリーの電圧が低い場合、システム解除したときの点滅後に、サイレンがピッピッピッと3回鳴りますので、バッテリーのチェックをしてください。

3. ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき （車両の振動などでサイレンを鳴らしたくないとき）

ガソリンスタンドで給油する、車両を整備するときに、サイレンを鳴らしたくない場合があります。
そのような場合に、以下の操作をすることにより、車両が揺れても警報しないようにできます。
＊メインスイッチの不正操作に対しては警報します。
＊イモビライザー機能もはたらいています。

①車両のメインスイッチを〈OFF〉にする。

インジケーターランプが点灯する。(準備状態)を知らせます。

②準備状態中（60 秒以内）にメインスイッチの〈ON-OFF〉操作を 3 秒以内に行ないます。

インジケーターランプが10秒間ゆっくり点滅した後、確認音が「ピッピッ」と2回鳴り、アラーム機能が解除されたことを知らせます。
＊この状態から再度車両に乗るときは、2.車両に乗るとき(システムを解除する)の操作を行なってください。
＊再度車両に乗車後、メインスイッチを〈OFF〉にした場合は通常の「自動セット」に戻りますので、この操作を必要なときその都度行なってください。

4. センサーの感度を調整するとき

センサーの感度を、標準1と標準2および敏感の3段階で調整することができます。
初期設定は標準1となっています。
＊標準2は標準1に対して、不安定な場所や振動の大きな場所(工事現場等)または、大きな騒音が発生する場所(幹線道路に面した場所等)に駐車する場合、警報しにくくします。そのような場所で駐車する場合は、センサーの感度を標準2で設定することをお勧めします。

4. 取扱方法

①操作のしかたの「3. ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき」の状態にする。

（3. の①および②を実施し、2回のサイレン音を確認してください。）

②メインスイッチを〈ON〉にする。

③サイレンが2回鳴った後、一旦メインスイッチを〈OFF〉にして、その後3秒以内にメインスイッチを〈ON〉〈OFF〉する。

現在の設定感度を、サイレンで知らせます。
（標準1なら1回。敏感なら2回。標準2なら3回。）
その後、LEDが点滅します。（感度調整状態）

④ LED が点滅している間（約 1 分間）に、メインスイッチを〈ON〉〈OFF〉（3 秒以内）する。

感度が変更され“設定感度”をサイレンで知らせます。
（標準1なら1回。敏感なら2回。標準2なら3回。）
標準1→敏感→標準2→標準1→敏感→標準2→標準1・・・
（1分の間、何回でも感度を変更することができます。1分経過するとそのときの設定値のまま、感度調整モードを抜けます。）

⑤メインスイッチを 3 秒以上〈ON〉にする。

インジケーターランプが点灯します。

⑥メインスイッチを〈OFF〉にする。

LEDがゆっくり2回点滅し、感度調整モードを終了します。
その後、アラームイモビライザーはシステムがセットされた状態になります。
＊センサーの感度は電源を切っても(バッテリーを外しても)保存されています。

故障かな？と思ったら

症　　状	考えられる原因	対　　応
● サイレンが鳴らない	・本体取付け方向の不良 ・サイレンのカプラーの接触不良または外れている ・センサーの感度が低い ・本体またはサイレンの故障	・取付方法どおりの場所、方向で取付けてください。 ・サイレンのカプラーの接続を確認して、外れていたら直してください。 ・取付けや、カプラーが外れていたら直してください。 ・センサーの感度を「敏感」にしてください。 ・お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● サイレンが鳴りやまない	・本体の故障	・サイレンのカプラーもしくはバッテリーを外し、お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● システムを解除しても車両のエンジンが始動できない ● システムが解除できない	・車両側ワイヤハーネスとの接触不良 ・バッテリーあがり ・本体の故障	・車両側ワイヤハーネスを一度外し、再度接続してください。 ・バッテリーを充電、または交換してください。 ・お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● インジケーターランプがつかない ● インジケーターランプが消えない	・カプラーの接触不良または外れている ・本体の故障	・カプラーの接続を確認してください。 ・お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。

※走行中にインジケーターランプがうっすら点灯する場合がありますが、本製品の故障ではありません。

4. 取扱方法

イモビライザー標準装備車用(A324)

使用上の注意

● 電源について

本製品の電源はDC12V、車載バッテリーです。

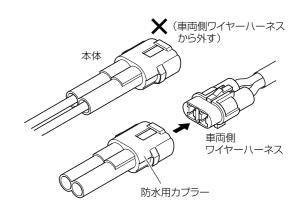
※バッテリーがあがり電源電圧が低下すると、システムが解除できなくなります。
スターターセルの回りが弱くなったな、と思ったら速やかにバッテリーを充電するか、交換を行なってください。

※バッテリーが劣化し容量が2分の1以下となった場合は、1ヶ月程度の放置でもセル始動ができなくなる恐れがあります。長時間放置する場合は適時に補充電を実施してください。(ときどきエンジンを始動するだけでは、かえって放電を促進します。)

● 適合車種について

ヤマハモーターサイクル、イモビライザー標準装備車に適合します。

● システムの異常にお気付きのときは

万一、システムの異常にお気付きのときは、4-20ページの「故障かな?と思ったら」を参照して各部を点検してください。それでも直らないときは、まず車両側のワイヤハーネスと接続しているカプラーを外し、最初についていた防水用カプラーをつないでください。そして、そのままの状態でお買い上げの販売店にご相談ください。
また、本システムが原因と思われる車両の不具合があった場合も車両との接続カプラーを外してシステムを切り離し、防水用カプラーをつないでください。

● 駐車場所について

本製品は車両の振動や、傾きの変化を検出して警報します。車両が安定しない場所への駐車はおやめください。やむをえず、不安定な場所や振動の大きな場所(工事現場等)に駐車する場合は、感度を標準2にするか(※1)、車両が揺れても警報しないモード(※2)にしてください。また、車両をトラックやフェリーで運搬する場合も、感度を車両が揺れても警報しないモード(※2)にすることをお勧めします。

※1 「4.センサーの感度を調整するとき」を参照(4-18ページ)してください。
※2 「3.ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき」を参照(4-18ページ)してください。

● 本製品を外して車両をご使用する場合

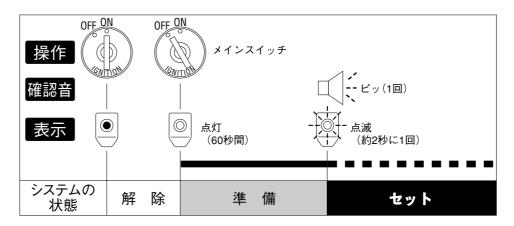
車両側のワイヤハーネスに防水用カプラーを接続してください。

操作のしかた

1. 車両を降りるとき(システムをセットする)

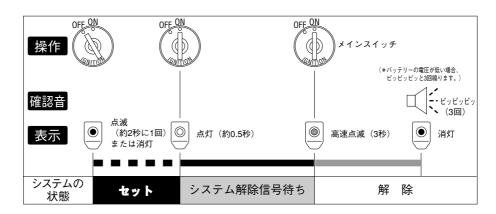
車両のメインスイッチを〈OFF〉にするだけで、システムは60秒後に自動セットされます。

①車両のメインスイッチを〈OFF〉にする。

インジケーターランプが、60秒間点灯する。(準備状態)
60秒後に確認音がピッと1回鳴り自動セットされたことを知らせます。
インジケーターランプが点滅になる。(約2秒に1回)…〈セット完了〉

2. 車両に乗るとき(システムを解除する)

車両に乗るときは、必ず以下の操作をしてください。

①車両のメインスイッチを〈ON〉にする。

インジケーターランプが消灯する。…〈解除完了〉
＊この状態でエンジンを始動することができます。

＊バッテリーの電圧が低い場合、システム解除したときの点滅後に、サイレンがピッピッピッと3回鳴りますので、バッテリーのチェックをしてください。

3. ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき（車両の振動などでサイレンを鳴らしたくないとき）

ガソリンスタンドで給油する、車両を整備するときに、サイレンを鳴らしたくない場合があります。
そのような場合に、以下の操作をすることにより、車両が揺れても警報しないようにできます。
＊メインスイッチの不正操作に対しては警報します。

①車両のメインスイッチを〈OFF〉にする。

インジケーターランプが点灯する。(準備状態)を知らせます。

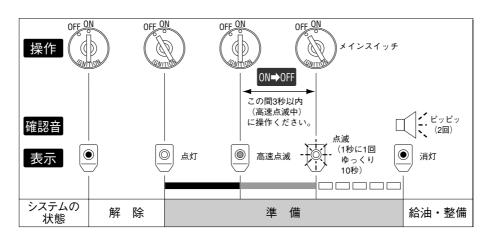
②準備状態中（60 秒以内）にメインスイッチの〈ON-OFF〉操作を 3 秒以内に行ないます。

インジケーターランプが10秒間ゆっくり点滅した後、確認音が「ピッピッ」と2回鳴り、アラーム機能が解除されたことを知らせます。
＊この状態から再度車両に乗るときは、2.車両に乗るとき(システムを解除する)の操作を行なってください。
＊再度車両に乗車後、メインスイッチを〈OFF〉にした場合は通常の「自動セット」に戻りますので、この操作を必要なときその都度行なってください。

4. センサーの感度を調整するとき

センサーの感度を、標準1と標準2および敏感の3段階で調整することができます。
初期設定は標準1となっています。
＊標準2は標準1に対して、不安定な場所や振動の大きな場所(工事現場等)または、大きな騒音が発生する場所(幹線道路に面した場所等)に駐車する場合、警報しにくくします。そのような場所で駐車する場合は、センサーの感度を標準2で設定することをお勧めします。

①操作のしかたの「3. ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき」の状態にする。

（3. の①および②を実施し、2回のサイレン音を確認してください。）

②メインスイッチを〈ON〉にする。

③ LED が高速点滅している間（約３秒間）に、メインスイッチを〈OFF〉にする。

現在の設定感度を、サイレンで知らせます。
（標準1なら1回。敏感なら2回。標準2なら3回。）
その後、LEDが点滅します。（感度調整状態）

④ LED が点滅している間（約１分間）に、メインスイッチを〈ON〉〈OFF〉（３秒以内）する。

感度が変更され“設定感度”をサイレンで知らせます。
（標準1なら1回。敏感なら2回。標準2なら3回。）
標準1→敏感→標準2→標準1→敏感→標準2→標準1・・・
（1分の間、何回でも感度を変更することができます。1分経過するとそのときの設定値のまま、感度調整モードを抜けます。）

⑤メインスイッチを３秒以上〈ON〉にする。

インジケーターランプが点灯します。

⑥メインスイッチを〈OFF〉にする。

LEDがゆっくり2回点滅し、感度調整モードを終了します。
その後、システムがセットされた状態になります。
＊センサーの感度は電源を切っても(バッテリーを外しても)保存されています。

故障かな？と思ったら

症　　状	考えられる原因	対　　応
● サイレンが鳴らない	・本体取付け方向の不良 ・サイレンのカプラーの接触不良または外れている ・センサーの感度が低い ・本体またはサイレンの故障	・取付方法どおりの場所、方向で取付けてください。 ・サイレンのカプラーの接続を確認して、外れていたら直してください。 ・取付けや、カプラーが外れていたら直してください。 ・センサーの感度を「敏感」にしてください。 ・お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● サイレンが鳴りやまない	・本体の故障	・サイレンのカプラーもしくはバッテリーを外し、お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● システムが解除できない	・車両側ワイヤハーネスとの接触不良 ・バッテリーあがり ・本体の故障	・車両側ワイヤハーネスを一度外し、再度接続してください。 ・バッテリーを充電、または交換してください。 ・お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● インジケーターランプがつかない ● インジケーターランプが消えない	・カプラーの接触不良または外れている ・本体の故障	・カプラーの接続を確認してください。 ・お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。

※走行中にインジケーターランプがうっすら点灯する場合がありますが、本製品の故障ではありません。

スマートキー車用(A325)

使用上の注意

● 電源について

本製品の電源はDC12V、車載バッテリーです。

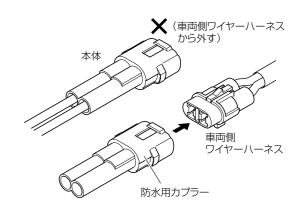
※バッテリーがあがり電源電圧が低下すると、システムが解除できなくなります。
スターターセルの回りが弱くなったな、と思ったら速やかにバッテリーを充電するか、交換を行なってください。

※バッテリーが劣化し容量が2分の1以下となった場合は、1ヶ月程度の放置でもセル始動ができなくなる恐れがあります。長時間放置する場合は適時に補充電を実施してください。(ときどきエンジンを始動するだけでは、かえって放電を促進します。)

● 適合車種について

ヤマハモーターサイクル、スマートキー車に適合します。

● システムの異常にお気付きのときは

万一、システムの異常にお気付きのときは、4-25ページの「故障かな?と思ったら」を参照して各部を点検してください。
それでも直らないときは、まず車両側のワイヤハーネスと接続しているカプラーを外し、最初についていた防水用カプラーをつないでください。そして、そのままの状態でお買い上げの販売店にご相談ください。
また、本システムが原因と思われる車両の不具合があった場合も車両との接続カプラーを外してシステムを切り離し、防水用カプラーをつないでください。

● 駐車場所について

本製品は車両の振動や、傾きの変化を検出して警報します。車両が安定しない場所への駐車はおやめください。やむをえず、不安定な場所や振動の大きな場所(工事現場等)に駐車する場合は、感度を標準2にするか(※1)、車両が揺れても警報しないモード(※2)にしてください。また、車両をトラックやフェリーで運搬する場合も、感度を車両が揺れても警報しないモード(※2)にすることをお勧めします。

※1 「5.センサーの感度を調整するとき」を参照(4-24ページ)してください。
※2 「4.ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき」を参照(4-23ページ)してください。

● 本製品を外して車両をご使用する場合

車両側のワイヤハーネスに防水用カプラーを接続してください。

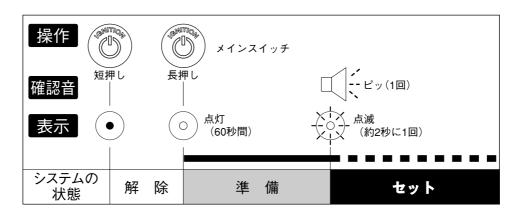
4. 取扱方法

操作のしかた

1. 車両を降りるとき（システムをセットする）

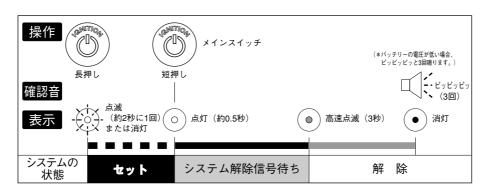
車両の電源を〈OFF〉にするだけで、システムは60秒後に自動セットされます。

①車両の電源を〈OFF〉にする。

インジケーターランプが、60秒間点灯する。（準備状態）
60秒後に確認音がピッと1回鳴り自動セットされたことを知らせます。
インジケーターランプが点滅になる。（約2秒に1回）…〈セット完了〉

2. 車両に乗るとき（システムを解除する）

車両に乗るときは、必ず以下の操作をしてください。

①車両の電源を〈ON〉にする。

インジケーターランプが消灯する。…〈解除完了〉
＊この状態でエンジンを始動することができます。

＊バッテリーの電圧が低い場合、システム解除したときの点滅後に、サイレンがピッピッピッと3回鳴りますので、バッテリーのチェックをしてください。

3. 車両を操作するとき（60秒間システムを解除する）

システムがセットされている状態で次の操作をすると、準備モードとなり、60秒間システムが解除されます。

- ボックスオープンスイッチを押したとき。
- シートオープンスイッチを短押ししたとき。
- 携帯機のシートオープンスイッチを長押ししたとき。
- メインスイッチを長押ししたとき。

操作をしてから60秒間経過すると、再びシステムがセットされます。

4. ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき
（車両の振動などでサイレンを鳴らしたくないとき）

ガソリンスタンドで給油する、車両を整備するときに、サイレンを鳴らしたくない場合があります。そのような場合に、以下のようにフューエルリッドを開ける操作をするだけで、車両が揺れても警報しないようにできます。

＊電源の不正操作に対しては警報します。

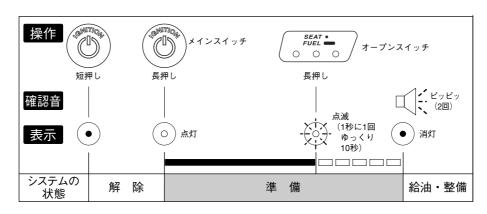
①車両の電源を〈OFF〉にする。

インジケーターランプが点灯する。（準備状態）を知らせます。

②オープンスイッチを長押しします。（または、②オープンスイッチを押しながら①の電源を〈OFF〉にする。）

インジケーターランプが10秒間ゆっくり点滅した後、確認音が「ピッピッ」と2回鳴り、アラーム機能が解除されたことを知らせます。

＊この状態から再度車両に乗るときは、2.車両に乗るとき（システムを解除する）の操作を行なってください。

＊再度車両に乗車後、電源を〈OFF〉にした場合は通常の「自動セット」に戻りますので、この操作を必要なときその都度行なってください。

5. センサーの感度を調整するとき

センサーの感度を、標準1と標準2および敏感の3段階で調整することができます。
初期設定は標準1となっています。
＊標準2は標準1に対して、不安定な場所や振動の大きな場所（工事現場等）または、大きな騒音が発生する場所（幹線道路に面した場所等）に駐車する場合、警報しにくくします。そのような場所で駐車する場合は、センサーの感度を標準2で設定することをお勧めします。

①操作のしかたの「4. ガソリンスタンドで給油するとき、整備するとき」の状態にする。
（4. の①および②を実施し、2回のサイレン音を確認してください。）

②電源を〈ON〉にする。

③ LED が高速点滅している間（約 3 秒間）に、電源を〈OFF〉にする。
現在の設定感度を、サイレンで知らせます。
（標準1なら1回。敏感なら2回。標準2なら3回。）
その後、LEDが点滅します。（感度調整状態）

④ LED が点滅している間（約 1 分間）に、電源を〈ON〉〈OFF〉（3 秒以内）する。
感度が変更され“設定感度”をサイレンで知らせます。
（標準1なら1回。敏感なら2回。標準2なら3回。）
標準1→敏感→標準2→標準1→敏感→標準2→標準1・・・
（1分の間、何回でも感度を変更することができます。1分経過するとそのときの設定値のまま、感度調整モードを抜けます。）

⑤電源を〈ON〉にして3秒間待ちます。
インジケーターランプが点灯します。

⑥電源を〈OFF〉にする。
LEDがゆっくり2回点滅し、感度調整モードを終了します。
その後、システムがセットされた状態になります。
＊センサーの感度は電源を切っても（バッテリーを外しても）保存されています。

故障かな？と思ったら

症　　状	考えられる原因	対　　応
● サイレンが鳴らない	・本体取付け方向の不良 ・サイレンのカプラーの接触不良または外れている ・センサーの感度が低い ・本体またはサイレンの故障	・取付方法どおりの場所、方向で取付けてください。 ・サイレンのカプラーの接続を確認して、外れていたら直してください。 ・取付けや、カプラーが外れていたら直してください。 ・センサーの感度を「敏感」にしてください。 ・お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● サイレンが鳴りやまない	・本体の故障	・サイレンのカプラーもしくはバッテリーを外し、お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● システムが解除できない	・車両側ワイヤハーネスとの接触不良 ・バッテリーあがり ・本体の故障	・車両側ワイヤハーネスを一度外し、再度接続してください。 ・バッテリーを充電、または交換してください。 ・お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。
● インジケーターランプがつかない ● インジケーターランプが消えない	・カプラーの接触不良または外れている ・本体の故障	・カプラーの接続を確認してください。 ・お買い上げの販売店、または㈱ワイズギアにご相談ください。

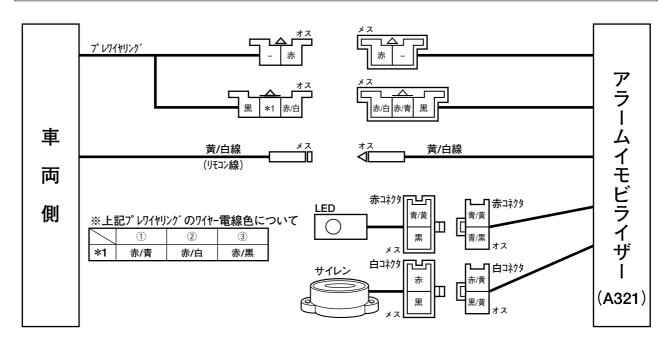
※走行中にインジケーターランプがうっすら点灯する場合がありますが、本製品の故障ではありません。

5. 結線図

■ リモコンシャッター車用（A321）

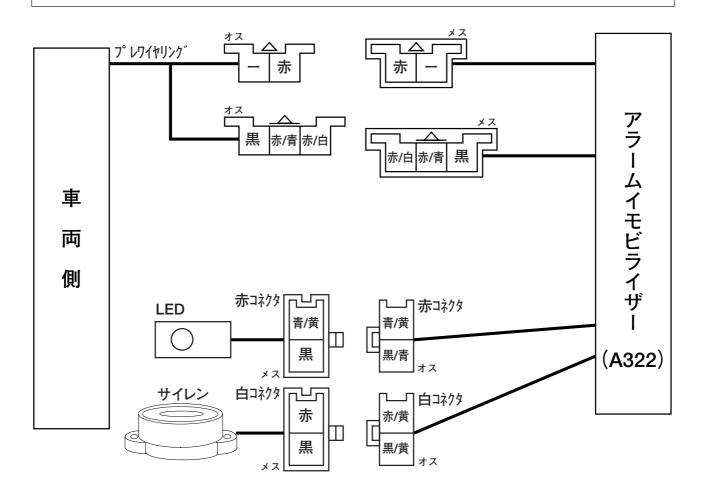
適合モデル

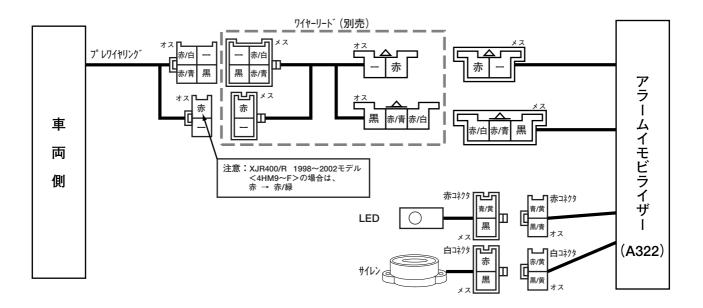
GRAND MAJESTY 400 ［YP400G］ （'05～'08、5RU9,M,S,V） .... ②
GRAND MAJESTY 250 ［YP250G］ （'04～'07、5VG1,2,3,4） .... ②
MAJESTY ［YP250］ （'02～'06、5SJ1,3,4,C,D,E,F,H,J,L,M,N） .... ①
MAXAM ［CP250］ （'05～'07、1B71,4,5,7） .... ③

	①	②	③
*1	赤/青	赤/白	赤/黒

5. 結線図

■ NEW ベーシック（A322）

適合モデル

XJR1300	('02、5UX1,2)
DS11 ［XVS1100］	('02～'03、5PBC,H)
DSC11 ［XVS1100A］	('02、5KSH)
DS4 ［XVS400］	('02、5KP7)
DSC4 ［XVS400C］	('02～'03、5KP6,A)
DS250 ［XVS250］	('02～'07、5KR7,B,D,F,G,J)
DS250 ［XVS250］	('08、19D1,2)

適合モデル

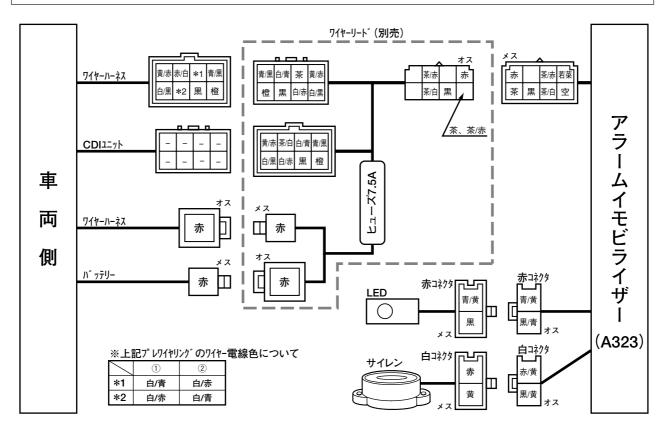
XJR1300	('98～'01、5EA1,7,9,G,P,R,S)
TDM850	('98～'99、5CG1,2)
XJR400R	('98～'03、4HM9,A,B,C,D,E,F,G)
ROAD STAR［XV1600］	('99～'00、5JA3,6)
DS11 ［XVS1100］	('98～'01、5EL4,E / 5PB1)
DSC11 ［XVS1100A］	('01、5KS6)
DS4 ［XVS400］	('00～'01、5KP1,2,4)
DSC4 ［XVS400C］	('98～'01、4TR5,7,9 / 5KP3)
DS250 ［XVS250］	('00～'01、5KR1,4)
MAJESTY ［YP250］	('98～'01、5CG2,4、5GM1,8)

5. 結線図

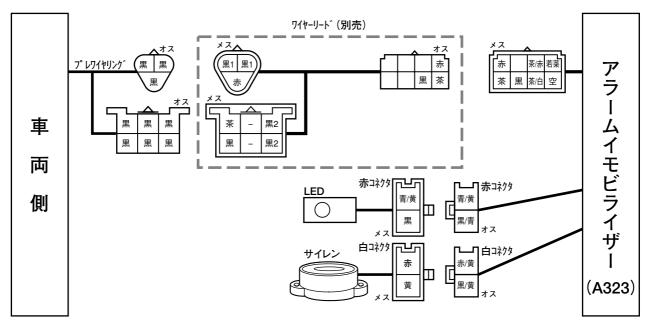
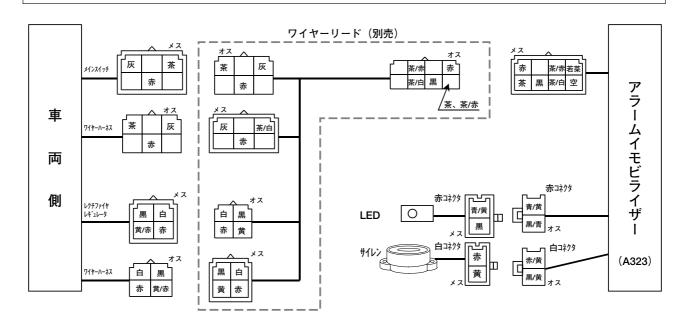
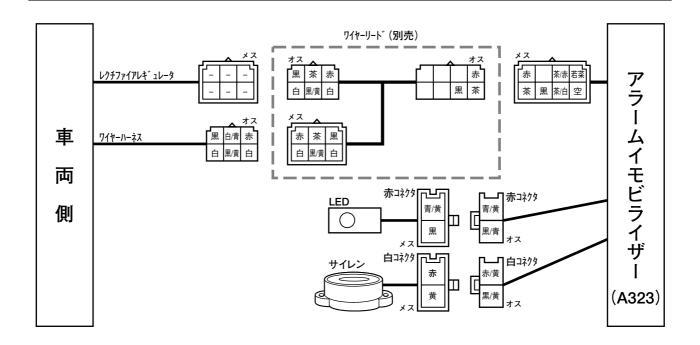
■ NEW スクーター（A323）

適合モデル

CYGNUS X ［XC125］	('04～'07、5UA2,4,5,6,7,8,9,A,B)	②
CYGNUS X ［XC125］	('03、5UA1)	①

※上記プレワイヤリングのワイヤー電線色について

	①	②
*1	白/青	白/赤
*2	白/赤	白/青

適合モデル

CYGNUS X FI ［XC125］　('07～'08、28S1,2)

適合モデル
GRAND AXIS100 ［YA100W］ （'98 ～'07、5FA1,2,3,4,5,6）

適合モデル
VOX ［XF50］ （'06 ～'09、3B31,4,5,A,D,E）
VINO molfe ［XC50H］ （'09、37B1）
VINO 4サイクル FI ［XC50］ （'08、13P2,3,4）
JOG 4 サイクル ［CE50］ （'07 ～'09、3P31,2,3,4,5）
GEAR FI ［BX50］ （'07 ～'08、10B1,2,3）

5. 結線図

適合モデル

VINO 4サイクル ［XC50］　（'04～'07、5ST1,3,9,B,D,F,K,L,M,S,V,W,X）

車両側

ワイヤーハーネス　緑/白 青 青/黄 黄/赤 / 黄/青 緑/赤 ー 茶

CDIユニット　ー ー ー ー / ー ー ー ー

ワイヤーハーネス　黒/青 黒 / 白/青 橙

CDIユニット　ー ー / ー ー

ワイヤーハーネス　赤 / 黄/赤

サーモスイッチ　赤 / 黄/黒

ワイヤーリード（別売）

黄/赤 青/黄 青 緑/白 / 茶 ー 緑/赤 黄/青

緑/白 青 青/黄 黄/赤 / 黄/青 緑/赤 ー 茶/白

黒 黒/青 / 橙 白/青

黒/青 黒 / 白/青 橙

赤 / 黄/赤

赤 / 黄/赤

オス　茶/赤 赤 / 茶/白 黒

茶、茶/赤

メス　赤 茶/赤 若菜 / 茶 黒 茶/白 空

LED　赤コネクタ　青/黄 黒　メス

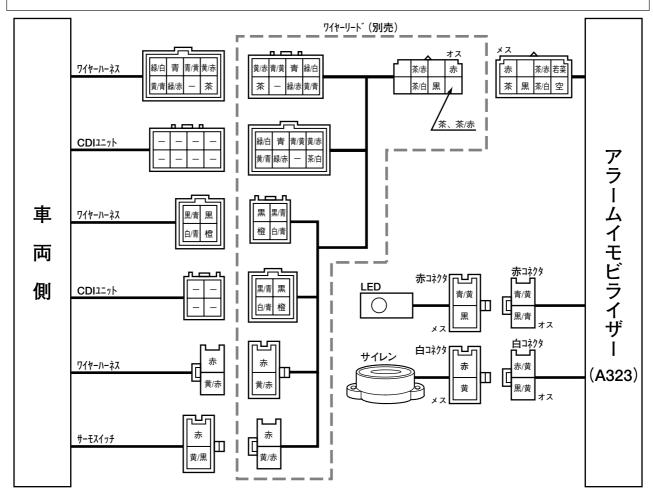
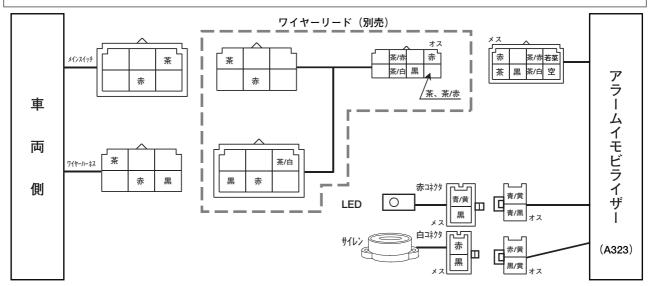
赤コネクタ　青/黄 黒/青　オス

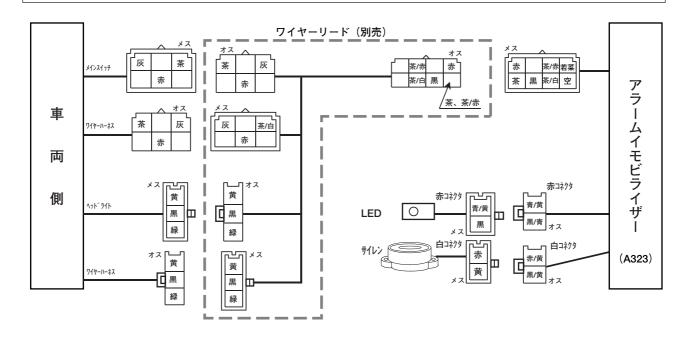
サイレン　白コネクタ　赤 黄　メス

白コネクタ　赤/黄 黒/黄　オス

アラームイモビライザー（A323）

適合モデル

JOG ［CV50 / A / R］　（'01～'07、5KN1,2,3,4,5,6 / 5SU1,2,3,4,5,6,7,8,B,C）
JOG ZR ［CV50ZR］　（'01～'07、5PT1,2 / 5SW1,2,3,4,5,6,7,8）

適合モデル

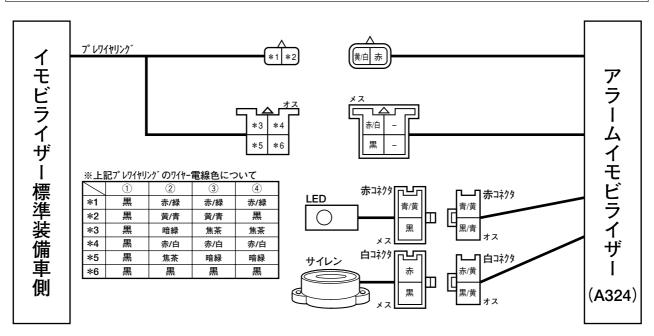
JOG POCHE ［YV50H］　　　　（'99～'07、5GD1,2,3,4,5,6）

5. 結線図

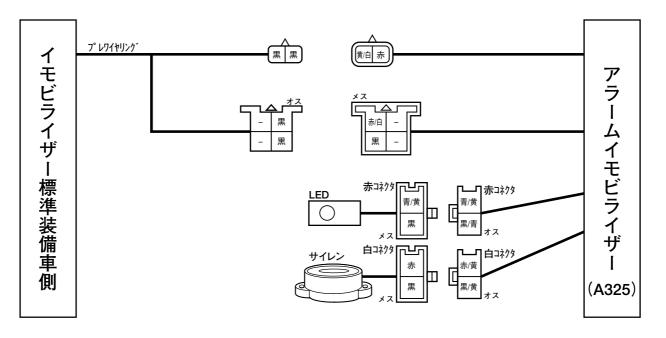
■ イモビライザー標準装備車用（A324）

適合モデル

MT-01　（'05～'08、5YU1,3,4,8,B,H）…… ①
FJR1300A / AS　（'06～'09、3P61,7,D,K,V / 2D21,7,D,K,V）…… ①
FJR1300 / A　（'03～'05、5VS1,7,D / 5JWG,N）…… ①
XJR1300　（'07～'09、5UXB,C,D,E）…… ④
XJR1300　（'03～'05、5UX3,4,5,6,7,8,9）…… ③
YZF-R1　（'07～'08、4C86,D）…… ①
YZF-R1　（'04～'06、5VY3,C,K,N / 4B16）…… ①
FZ-1 / FZ-1FAZER　（'08～'09、2D1A / 3C3G,W）…… ①
TDM900　（'04～'09、5PS6,8,A,C,E,G,H / 2B01,4,5,7）…… ①
YZF-R6　（'08～'09、13S6,9,G,K）…… ①
YZF-R6　（'06～'07、2C07,A,H）…… ①
FZ6 / FZ6 S2 / FZ6 FAZER / FZ6 FAZER S2
（'04～'09、1B31,3,5,7,9,B / 5S51 / 5VX1,6,B,D / 4S81,6,B / 5S22,3）…… ①
SR400　（'03～'08、3HTF,G,H,J,K,L,M,N,P,S）…… ②
XJR400R　（'04～'07、4HMH,J,K,L）…… ③
DS11 ［XVS1100］　（'05～'08、3B91,2,3,4,5,6,7,8）…… ①
DSC11 ［XVS1100A］　（'03～'08、5KSP / 5YS6,G,S / 11P1,2,3）…… ①
DS4 ［XVS400］　（'03～'08、5KP8,B,C,E,H,K,L,M）…… ①
DSC4 ［XVS400C］　（'04～'08、5KP9,D,F,G,J,N,P）…… ①
XT660R / X　（'03～'08、5VK1,6,8,A / 1D21,4 / 10S1,3）…… ①
TMAX ［XP500］　（'08、4B53）…… ①
TMAX ［XP500］　（'04～'07、5VU1,3,5,6,9,D / 15B7,8）…… ①

※上記プレワイヤリングのワイヤー電線色について

	①	②	③	④
*1	黒	赤/緑	赤/緑	赤/緑
*2	黒	黄/青	黄/青	黒
*3	黒	暗緑	焦茶	焦茶
*4	黒	赤/白	赤/白	赤/白
*5	黒	焦茶	暗緑	暗緑
*6	黒	黒	黒	黒

■ スマートキー車用（A325）

適合モデル
MAJESTY ［YP250］　　　　（'07、4D91）

6.FAQ

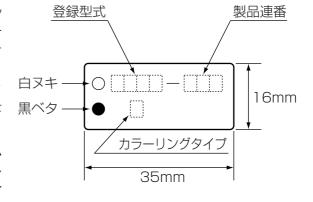
■ アラームイモビライザーFAQ（よくある質問）

● 適合について

Q1. どのアラームイモビライザーが適合するのか分からない。

A1. 1章の車種別適合表をご確認ください。適合表にない場合は申し訳ありませんが、適合するイモビライザーはありません。適合以外の車両に取付けると最悪の場合に、走行中にエンジンが停止する可能性がありますので、絶対に取付けないでください。
最新の適合一覧はワイズギアのホームページに公開していますので、以下の方法で検索してください。
ワイズギアのトップページ→モーターサイクル→よくある質問（バイク＆スクーター　サービス＆サポート欄内）→アラームイモビライザー→アラームイモビライザー適用機種について→PDFファイルダウンロード
http://www.ysgear.co.jp/support/faq/bike/alarm/pdf/tekigou.pdf
関連FAQ：Q2. 型式の検索方法

Q2.車名はわかるが型式やモデル年度がわからないけど、適合するイモビライザーは特定できますか？

A2. 車名だけでは適合するイモビライザーを特定できませんので、モデル型式の情報が必要になります。
車両には右記のようなモデルラベルが貼られていますので、モデル型式（登録型式）をご確認ください。モデルラベル貼り付け位置は車両ごとに異なりますので、サービスマニュアルの第1章 総説編 モデルラベル貼り付け位置をご確認ください。
また車体番号からモデル型式を特定できるツールがワイズギアのホームページ上に公開されていますので、以下の方法で調べてください。
ワイズギアのトップページ→モーターサイクル→ヤマハ純正部品検索（バイク＆スクーター サービス＆サポート欄内）→バイク・スクーター・電動スクーター→同意する→フレームNo検索欄に車体番号を記載→検索
http://www.yamaha-motor.co.jp/parts-search/index.jsp

● 取付方法について

Q3.製品に同梱されている取付説明書に、目的の車両の取付け説明が記載されていません。または取付け説明書が同梱されていませんでした。どのように取付ければいいのですか？

A3. 適合車両の拡大に伴い、近年モデルの取付け方法はY-DO（Yamaha Dealer Online）に記載していますので、以下の方法で取付説明書（PDFファイル形式）がご覧いただけます。
Y-DOのトップページ→ランドビークル（販売店様により表示されない場合があります）→部品発注→用品カタログ→部品番号欄にアラームイモビライザーの品番（90793-XXXXX）を記入→検索→商品情報→取付説明書
関連FAQ：Q4. 取付説明書の公開

Q4. 取付説明書はワイズギアのホームページから参照できますか？

A4.アラームイモビライザーはセキュリティー上の理由からヤマハ製品取り扱いの販売店様にのみ公開しておりますので、ホームページからは参照できません。
関連FAQ：Q3. 取付説明書の検索方法

6

● 取扱方法について

Q5. セキュリティーの解除方法や感度調整等の操作方法が分からない。

A5.製品により操作方法は異なりますので、まずアラームイモビラーザーの製品番号をご確認ください。製品番号は保証書とアラームイモビライザー本体に記載されています。
製品番号と品番との関係は以下のようになります。

製品番号	名称	品番	備考
A321-XXXXXX	リモコンシャッター車用	90793-67135	
A322-XXXXXX	アラームイモビライザーNEWベーシック	90793-67136	
A323-XXXXXX	NEWスクーター	90793-67192	
A324-XXXXXX	イモビライザー標準装着車用アラーム	90793-67205	
A325-XXXXXX	スマートキー車専用	90793-67236	
A281-XXXXXX	アラームイモビライザーリモコン付（YM400）	90793-67087	生産終了モデル
A281-XXXXXX	アラームイモビライザーTMAX専用（YM400）	90793-67111	生産終了モデル
A301-XXXXXX	アラームイモビライザーベーシック（YS350）	90793-67086	生産終了モデル
A301-XXXXXX	アラームイモビラーザースクーター（YS350）	90793-67037	生産終了モデル
A305-XXXXXX	アラームイモビライザー リモコンジョグ専用（YS350）	90793-67090	生産終了モデル

ワイズギアのホームページで上記品番の取扱説明書を公開しておりますので、以下の方法でご確認ください。
ワイズギアのトップページ→モーターサイクル→よくある質問(バイク＆スクーター　サービス＆サポート欄内）→アラームイモビライザー→取扱説明ダウンロード
http://www.ysgear.co.jp/support/faq/bike/alarm/qa3/index.html

Q6. 車両に取付いているアラームイモビライザーの品番がわからない。

A6. 1 章の車種別適合表をご確認ください。
適合するアラームイモビライザーが複数ある車両で、品番を特定できない場合は、保証書とアラームイモビライザー本体に記載されている製造番号をご確認ください。
関連 FAQ：Q5. 取扱説明書の検索

● アラームイモビライザーの取外し

Q7.アラームイモビライザーを取外して、接続を元に戻してもエンジンを始動することができません。どのようにすればよいですか？

A7.一部の車両（下記の表参照）はアラームイモビライザーを取付ける際に外されたカプラーを取付けないとエンジンを始動することができません。アラームイモビライザーが接続されていた車両側のメインハーネスにカプラーを接続してください。

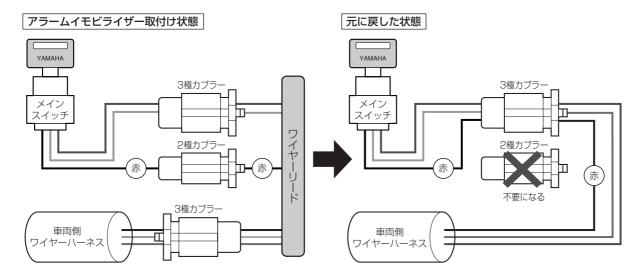
万が一、紛失された場合は以下のようにカプラーのみで購入することができます。

車名	モデル年度	型式	カプラー品番
XJR1300	'98～'01	5EA1,7,9,G,P,R,S	Q5K-YSK-001-U25
	'02	5UX1,2	Q5K-YSK-001-U32
YZF-R1	'02～'03	5PW1,7	Q5K-YSK-001-U36
TDM850	'98～'99	5GG1,2	Q5K-YSK-001-U25
XJR400	'98～'03	4HM9,A,B,C,D,E,F,G	Q5K-YSK-001-U25
XV1600	'99～'00	5JA3,6	Q5K-YSK-001-U25
XVS1100	'99～'01	5EL4,E / 5PB1	Q5K-YSK-001-U25
	'02～'03	5PBC,H	Q5K-YSK-001-U32
XVS1100A	'01	5KS6	Q5K-YSK-001-U25
	'02	5KSH	Q5K-YSK-001-U32
XVS400	'00～'01	5KP1,2,4	Q5K-YSK-001-U25
	'02	5KP7	Q5K-YSK-001-U32
XVS400C	'98～'01	4TR5,7,9 / 5KP3	Q5K-YSK-001-U25
	'02～'03	5KP6,A	Q5K-YSK-001-U32
XVS250	'00～'01	5KR1,4	Q5K-YSK-001-U25
	'02～'08	5KR7,B,D,F,G,J / 19D1,2	Q5K-YSK-001-U32
GRAND Majesty（YP400G）	'05～'08	5RU9,M,S,V	Q5K-YSK-001-U32
GRAND Majesty（YP250G）	'04～'07	5VG1,2,3,4	Q5K-YSK-001-U32
MAXAM（CP250）	'05～'07	1B71,4,5,7	Q5K-YSK-001-U32
MajestyC（YP250C）	'02～'06	5SJ1,3,4,C,D,E,F,H,J,L,M,N	Q5K-YSK-001-U32
Majesty（YP250）	'98～'01	5CG2,4 / 5GM1,8	Q5K-YSK-001-U25
CYGNUS X FI（XC125）	'07～'08	28S1,2	Q5K-YSK-001-U36

Q5K-YSK-001-U25	Q5K-YSK-001-U32	Q5K-YSK-001-U36
黒 黒	黒 黒	黒 黒 埋栓 黒 黒

Q8.アラームイモビライザーを取外して、接続を元に戻そうとすると赤線の2極カプラーがあまってしまう。メインスイッチをオンにしても電源が入らない。

A8.一部の車両（下記の表参照）はアラームイモビライザー取付け時にメインスイッチのカプラーを加工していますので、下記のように元に戻す必要があります。

名称	モデル年度	型式
SUPER JOG ZR（YG50ZR）	’00	3YKB
VINO 2サイクル（YJ50R）	’00	5AU9,A,B,C,D

関連 FAQ：Q2. 型式の検索方法
Q3. 取付説明書の検索

Q9. 補修部品はありますか？

A9. サイレンとインジケータランプのみ補修部品を設定しています。

名称	品番	価格	対応車両	対応アラームイモビライザー
サイレン	90793-67129	2,100円（2,000円）	全モデル共通	全モデル共通
インジケータランプ（角型）	90793-67190	1,050円（1,000円）	下記車両以外	A322,A323,A324
インジケータランプ（丸型）	90793-67137	1,575円（1,500円）	リモコンシャッター車 スマートキー車	A321,A325

アラームイモビライザー本体は補修部品の設定がありません。
また、旧モデル（A281、A301、A305）については製造終了しており在庫がありませんので、リモコンを含め販売ができません。取外してご使用頂くか、現行モデルで代替頂くようお願い致します。

関連 FAQ：Q6. アラームイモビライザーの品番検索
関連 FAQ：Q2. 型式の検索方法
関連 FAQ：Q1. アラームイモビライザーの適合一覧

Q10. アラームイモビライザーの保証はありますか？

A10.お買い上げ頂いてから１年以内であれば保証修理の対象になります。保証修理には本体に同梱されている保証書が必要になりますので、なくさないように保管してください。
保証規定の詳細は保証書の裏面に記載されておりますので、ご一読ください。

保証規定

1. 保証内容

お買い上げいただいたアラームイモビライザー（以下、商品といいます。）を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、この保証書に示す期間と条件に従って無料で修理いたします。（以下、この無料修理を保証修理といいます。）保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。なお、取り外した部品は、弊社の所有となります。

2. 保証期間

保証修理を受けられる期間は、商品の購入日（お客様が購入された日）より１年間とします。

3. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、お買い上げいただいた販売店へこの保証書をお持ちいただき、保証修理をお申し付けください。これにより保証修理をいたします。この保証書を提示されない場合は、保証修理をいたしかねます。

4. 保証を適用しない事項

⑴ 次に示す現象、不具合については保証修理適用外となります。

① 使用損耗または経時変化により発生する現象(樹脂部品等の自然退色およびひび割れ、腐食、錆、劣化ならびにこれらに類するもの)
② 機能上影響のない感覚的現象(音、振動等)

⑵ 次に示すものに起因する不具合は、保証修理適用外となります。

① 弊社純正または弊社の指定する以外の部品、材料等の使用
② 取扱い、保守、整備の誤り、不備、または不適当
③ 取扱説明書などにより弊社が示す取扱方法と異なる使用
④ 弊社の認めていない修理、改造、部品・付属品の装着
⑤ 地震、台風、水害等の天災、事故
⑥ ５．の「お客様にお守りいただく事項」の不遵守
⑦ 薬品、塩分等の外部要因

⑶ 次に示すものの費用は負担いたしません。

① お買い上げいただいた販売店以外での修理の費用
② 商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失など（電話代、休業補償、営業損失等）
③ 盗難等によって発生した車両の損害額

5. お客様にお守りいただく事項

次の事項を必ずお守りください。
取扱説明書などにより、弊社の定める取扱い方法および仕様に従った正しい使用

6. 保証書の発効

この保証書は、お買い上げいただいた販売店が、この保証書に必要事項を記入、捺印することにより有効になります。

7. 保証の適用

この保証書は、日本国内で販売され、かつ使用される商品に限り適用いたします。従って、日本国外に持ち出す場合は、その時点で保証が打ち切りになります。

8. その他

この保証書は、本書に明示した期間と条件のもとに無料修理をお約束するものです。従って、保証期間経過後に発生した不具合の修理は有料です。

株式会社ワイズギア 営業部

〒 432-8058
静岡県浜松市南区新橋町1103
TEL 0570-050814

■ 故障かな？と思ったら

C1.システムの解除はできる（インジケーターランプは高速点滅する）が、スターター スイッチを押すとサイレンが警報する。<全モデル共通>

A1.バッテリーの容量が少ないため、スターターモーターの起動によりバッテリー電圧が著しく低下し、アラームイモビライザーがリセット（再起動）した可能性が考えられます。バッテリーを充電するか交換してください。

【バッテリーを充電するときの注意点】
アラームイモビライザーやバッテリーを車両に接続したままバッテリーを急速充電したり、MF専用バッテリー充電器で充電したりすると、過電圧が印加されアラームイモビライザーが破壊されることがあります。バッテリーを充電するときは、バッテリーへ接続されているリード線はすべて取外してください。

関連 FAQ：Q5. 取扱説明書の検索
関連 FAQ：Q10. アラームイモビライザーの保証について

C2.システムの解除操作はできる（インジケーターランプは高速点滅する）がエンジンの始動ができない。< A321、A322、A323（FI 車は除く）>

A2. アラームイモビライザーを取外してエンジンが始動できるかご確認ください。
取外すとエンジンが始動できる場合は、アラームイモビライザーが故障している可能性がありますので、交換してください。

関連 FAQ：Q7. アラームイモビライザーの取外し
関連 FAQ：Q6. アラームイモビライザーの品番検索
関連 FAQ：Q10. アラームイモビライザーの保証について

C3.システムの解除操作はできる（インジケーターランプは高速点滅する）がエンジンの始動ができない。< A323（FI 車のみ）、A324、A325 >

A3.このアラームイモビライザーにはイモビライザー機能はありませんので、システムが解除されない場合でも、エンジンは始動できます。（サイレンが鳴る場合があります。）この場合は車両本体側に問題がある可能性が考えられます。

関連 FAQ：Q6. アラームイモビライザーの品番検索

C4. 数日放置するとインジケーターランプが点滅しなくなる。<全モデル共通>

A4. バッテリーの負荷を低減するために、インジケーターランプの点滅を停止し、スリープ状態になります。スリープになる時間の目安は 1 週間程度ですが、4 日から 10 日の誤差があります。
また、スリープ状態でもセンサーは機能していますので、盗難行為があった場合は警報します。

C5. メインスイッチをオフにしてもエンジンが止まらない。< A321、A322、A323（FI 車は除く）>

A5.イグナイタユニット、CDIユニットを純正品以外のものに交換した場合、このような不具合の発生が報告されています。イグナイタユニット、CDI ユニットを純正品以外には交換しないでください。

関連 FAQ：Q6. アラームイモビライザーの品番検索
関連 FAQ：Q10. アラームイモビライザーの保証について

C6. 走行中にサイレンが鳴ってしまう。＜ A324 ＞

A6.感度調整モード中に走行すると、約 1 分で感度調整モードが自動的に終了し、車両の振動を検出しサイレンがなります。
ガソリンスタンドモードにてメインスイッチの＜ ON - OFF - ON ＞を 3 秒以内に行なうと感度調整モードに移行しますので、この場合はメインスイッチを一度オフにして感度調整モードを終了してから走行してください。

関連 FAQ：Q5. 取扱説明書の検索
関連 FAQ：Q6. アラームイモビライザーの品番検索

C7. 頻繁にサイレンが鳴ってしまう。＜全モデル共通＞

A7.センサー感度を鈍く設定することができますので、感度調整モードにてセンサーの感度を標準2に設定してください。ただし製造番号が古いものは標準2モードが設定されていませんので、その場合は再度ご購入頂く必要があります。標準 2 モードが設定された製造番号は以下になります。

アラームイモビライザー品番	製造番号
A321	006081以降
A322	003518以降
A323	001001以降
A324	全て
A325	全て

関連 FAQ：Q5. 取扱説明書の検索
関連 FAQ：Q6. アラームイモビライザーの品番検索

C8. サイレンが鳴らない。＜全モデル共通＞

A8.センサー感度を敏感に設定することができますので、感度調整モードにてセンサーの感度を敏感に設定してください。
全く鳴らない場合はサイレンが故障している可能性がありますので、交換してください。
サイレンのカプラーを外して、アラームイモビライザー側のカプラー（2 極白）の電圧がアラームイモビライザーに振動を加えたときに、12V 程度なければアラームイモビライザー本体が故障している可能性があります。

関連 FAQ：Q5. 取扱説明書の検索
関連 FAQ：Q10. アラームイモビライザーの保証について

C9. インジケーターランプが点灯しない。<全モデル共通>

A9. インジケーターランプのカプラー（2 極赤）を外し、インジケーターランプ側のカプラーを、テスターを用いてダイオードチェックを実施し、1.6V程度になっていなければインジケーターが故障している可能性がありますので、インジケーターランプを交換してください。

【インジケーターランプの注意点】
サイレンとインジケーターのカプラーは色が異なりますが、同一形状カプラーのため逆に接続される場合があります。この場合はインジケーターランプに過電流が流れ、故障の原因になりますのでご注意ください。

関連 FAQ：Q5. 取扱説明書の検索
関連 FAQ：Q10. アラームイモビライザーの保証について

C10. ヒューズが切れる。< A321、A322、A323（FI 車は除く）>

A10. アラームイモビライザーを外すと直る場合は、アラームイモビライザーが故障しており、内部でショートしてヒューズが切れてしまうため、修理が必要です。
イグナイタユニット、CDIユニットを純正品以外のものに交換した場合、過去のモデルでこのような不具合の発生が報告されています。
イグナイタユニット、CDI ユニットを純正品以外のものには交換しないでください。
関連 FAQ：Q6. アラームイモビライザーの品番検索
関連 FAQ：Q10. アラームイモビライザーの保証について

7. セキュリティペイジャー（SP-1）

■ 主要構成部品

モデル名	品 番	価格（ ）内は本体価格
①リモコンユニット	QQ1-YSK-001-124	21,000円（20,000円）
②メインユニット（内蔵サイレン80dB）	―	―
③アンテナユニット	QQ1-YSK-001-125	8,400円（8,000円）
④充電台座	QQ1-YSK-001-123	8,400円（8,000円）
⑤ACアダプター	QQ1-YSK-001-122	3,150円（3,000円）
⑥バックアップバッテリー	QQ1-YSK-001-141	3,360円（3,200円）
⑦動作確認LED	QQ1-YSK-001-142	1,260円（1,200円）
⑧大音量サイレン110dB（オプション）	90793-67129	2,100円（2,000円）
●メインハーネス（電源配線）	QQ1-YSK-001-121	4,200円（4,000円）
●アンテナ配線	QQ1-YSK-001-126	3,150円（3,000円）
●取付・取扱説明書	―	―

※ 品番のある構成部品は補修部品としてご購入できます。
※ 補修用リモコンユニットをご購入の際は、再設定の必要があります。7-2ページの「**■ 補修用リモコンの同調方法**」を参考に再設定してください。

■ 補修用リモコンの同調方法

• SP-1補修用リモコン（QQ1-YSK-001-124）の本体との同調方法について
※ セキュリティ商品のため、ユーザー様への提示は控えて頂きますようお願い申し上げます。

①メインユニット裏にある黒いシールをはがします。

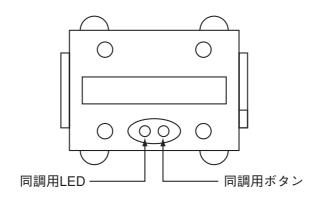
②リモコンの4つのボタン 🔒 🔓 AUX 🔊 をすべて同時に押します。

③リモコンから「ピーーッ」と確認音が鳴ります。

④リモコンの F アイコンが表示され、リモコン設定モードに入ります。

⑤リモコン設定モード中に 🔒 🔓 を同時に押します。

⑥リモコンから「ピッ」と確認音が鳴ります。

⑦5秒以内に①ではがしたメインユニット裏にある同調用ボタンを1回押します。

⑧メインユニット裏のリモコン同調用LEDが点灯します。

⑨メインユニットとリモコン間で送受信が行なわれ、同調が完了します。

⑩同調が完了すると同調用LEDが点滅に変わり消灯します。
※ ⑩で作業は終了となります。作業が終了しましたら、本体へシールを必ず貼り付けてください。

取付店の方は必ずお読みください
内容をご熟読ください

二輪車専用

盗難抑止機

セキュリティ ペイジャー

SP-1

取付説明書

お取り付けは販売店にお任せください。
取り付けミスは誤作動や車両の電装品に悪影響を与える原因となります。

車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

株式会社ワイズギア
〒432-8058　静岡県浜松市南区新橋町1103番地
TEL.053-443-2180 FAX.053-443-2187
http://www.ysgear.co.jp/

❶お取り扱い上の注意

取付上の注意

⚠警告

●ボディコンピューター、その他特殊な装置を装備している場合にはバッテリーの配線やヒューズを抜くなどして電源供給を止めないように留意してください。電源が切断されると車両側が故障し機能しなくなる場合があります。また、誤作動により人身事故につながる可能性があります。
●メインユニットおよびオプション商品等の取り付けの際は必ずエンジンを停止して換気のよい場所で行なってください。
排気ガスが充満して危険です。
●各部品をパネルなどに取り付けの際は、他の機器に影響を与えない場所に設置してください。
特に駆動部やブレーキパイプ、ホース類には設置しないでください。
●必ず正しい取り付け、配線を行なってください。取り付けおよび配線を誤ると、車両の装置、機器類を破損あるいは損傷する可能性があります。
●メインユニットやオプション商品を水、湿気、熱、湯気、ほこり、油などの多い場所に保管、設置しないでください。
火災、感電、故障などにより死亡や大けがになる可能性があります。
●本商品はアナログ制御になります。コンピューターによるデータ送信線への接続はできません。
装着をした場合は本商品のみならず車両の機器を破損する可能性があります。
●車種により本商品の接続が不可能な場合があります。

⚠注意

●メインユニットから各種オプション商品の配線、接続を行なった場合には保護のため貫通口に必ずゴムブッシュなどを使用してください。
また、電線保護のためコルゲートチューブ（コンジットチューブ）などをご使用ください。
●取付終了後、必ず取り付けをした機能のすべてをテストしてください。
●センサーテストの際は、**迷惑防止機能**※1があることを考慮して行なってください。
※1：メインユニット内蔵のセンサーが8回異常を検出し、サイレンが鳴った場合、最後に異常を検出した時点から無効にします。
●本商品はアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重電送通信線への接続はできません。
装着をした場合は本商品のみならず車両の機器を破損する可能性があります。
●車種により本商品の接続が不可能な場合があります。
●車両のバッテリーが弱っている場合など車両本来の機能に不備がある場合には、システムが正常に作動しないことがあります。常に車両の整備が行き届いた状態での取り付けを行なってください。

使用上の注意

⚠注意

この装置は、電波法に基づく特定小電力無線局の技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許申請は不要です。したがって次のことを厳守してください。
●商品に付いているラベルは、技術基準適合証明のしるしです。
このラベルを絶対にはがさないでください。
●表示ラベルの付いている商品を分解したり、改造して使用することはできません。
●不法に改造して使用すると、法律により罰せられます。
●本商品は、日本国内専用であり、外国では使用できません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.
外国では、電波法が異なり違法となります。

❷取付方法

接続全体図
⚠注意 ●取り回しをした配線は、脱落防止のために各所でしっかりと固定してください。
アンテナユニット
アンテナを上にして金属部以外の場所に取り付けてください。（フロントカウル、テールカウルの内側）
地面
①メインユニット
付属の両面テープおよび結束バンド等でしっかりと固定します。
※メインユニットの設置角度、向きについての制限はありませんが、走行中に脱落しないようにしっかりと固定してください。
⊘設置禁止場所
・車外又はバイクに乗り込んだときに、容易に目に付くところ
・エンジン近辺
⊘禁止
●サイレンは、簡単には探せない場所に取り付けてください。また、サイレンへの配線も簡単には探し出せないように取り付けてください。
●サイレン内部に水、油分等が入らないようにスピーカー面を横向きまたは下向きに取り付けてください。
●サイレンは駆動部には絶対に取り付けないでください。
オプション
サイレン
(90793-67129)
アンテナハーネス
アンテナポートへ
LEDポートへ
メインハーネスのコネクタへ
黄
黒
赤
9/32インチ
(約7mm)
ゲル状ゴム、ゴムチューブなどで防水処理を行なってください。
②SP-1専用ハーネス
メインユニットのコネクタに付属のSP-1専用ハーネスを接続します。ハーネスを「パチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
ハーネスを差し込んでからランプ部を差し込む
③詳細図参照
+
−
12V
バッテリー
推奨バッテリー容量：7Ah以上
メインスイッチの出力リード線へ割込配線をする
警告LED
メインユニットにLEDランプを取り付けてください。上図のようにLEDランプに付属のコネクターをメインユニットのLEDポートへ接続します。コネクターを「パチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
LEDランプは付属のLED用ステーを使用して視認性のよい所に設置してください。
⚠注意 ●LEDランプは防水構造ではありませんので、必ず防水処理を施してください。
バックアップバッテリー
付属の両面テープで固定してください。

❸詳細図

SP-1専用ハーネス信号系統図

❹設置・取り付けが終わったら

動作チェック

1. システムを作動します

□エンジンを停止します。
□リモコンの 🔒 ボタンを1回押し、システムを作動します。
→動作確認音が「ピッ」と１回鳴り、警告LEDが点滅を開始します。

2. Gセンサーの確認

2-1　衝撃の検出

□弱い振動を検出した時に警告音「ピッピッピッピッ」が鳴ることを確認します。
□強い振動を検出した時にサイレンが鳴ることを確認します。
□リモコンユニットに異常通知があることを確認します。
□ダイアグノスティック機能により、警告LEDが2回ずつ点滅することを確認します。

2-2　傾斜の検出

□車両を傾けた時にサイレンが鳴ることを確認します。
□リモコンユニットに異常通知があることを確認します。
□ダイアグノスティック機能により、警告LEDが2回ずつ点滅することを確認します。

3. イグニッションセンサーの確認

□イグニッションをONにした時にサイレンが鳴ることを確認します。
□リモコンユニットに異常通知があることを確認します。
□ダイアグノスティック機能により、警告LEDが3回ずつ点滅することを確認します。

4. 電源断線センサーの確認

□（+)12V電源線を外した時にサイレンが鳴ることを確認します。
□リモコンユニットに異常通知があることを確認します。
□ダイアグノスティック機能により、警告LEDが4回ずつ点滅することを確認します。

5. システムを解除します

□リモコンの 🔓 ボタンを1回押し、システムを解除します。
→メモリー機能により動作確認音が4回「ピッピッピッピッ」と鳴ることを確認します。

以上で、動作チェックは終了です。

動作チェックが終了しましたら、お客様へ操作方法と注意事項をご説明の上、オートバイをお引き渡しください。

内容をご熟読ください

Y'S GEAR

二輪車専用

盗難抑止機

セキュリティ ペイジャー

SP-1

取 扱 説 明 書

本商品は車両の盗難、イタズラを完全に防止するものではありません。

車両の保管、駐車時には機械式ロックを併用していただき、バイクカバーを装着して盗難の予防を心がけるようにお願い致します。

取り付けミスは誤作動や車両の電装品に悪影響を与える原因となります。

車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

はじめに

この度はセキュリティ ペイジャーSP-1をお買い上げげいただきまして誠にありがとうございます。
本書に記した注意事項は、本商品を安全かつ正しくご使用していただき、事故や損害を未然に防止するための大切なものです。
ご使用の前に、本書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
本書はなくさないよう、大切に保管しておいてください。

●本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、株式会社ワイズギアまでご連絡ください。
●本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
●本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。
●乱丁、落丁はお取り替え致します。
●本書に掲載されている内容は2006年6月1日現在のものです。

目次

お取り扱い上の注意

本商品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか物的損害のみの発生が想定される事項。

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒントなどを説明。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒントなどを説明。

強制・制約・指示等を表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上の注意

警告

- メインユニット、サイレンを取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。
  ショートをし、感電や機器が故障する可能性があります。
- リモコンはお子様の手の届かないところに保管してください。
  システムを解除してしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
- メインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある販売店にて行なってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。
  知識のない方が取り付けを行なうと車両、システムの故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。
- 本商品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。
  商品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する可能性があります。また、分解および改造変更を行なった商品の保証は一切しておりません。

使用上の注意

（1）適応車種限定品

取付可能な車種は、下記条件を全て満たしている車種に限定されています。

危険

- DC12V車両専用
  6V車両には装着できません。

注意

- 本商品は、車両からの電源供給によって作動します。バッテリーの状態を確認してご使用ください。バッテリーが古かったり、電圧が低い場合には、車両のセルモーターが駆動しなくなり、エンジン始動ができなくなります。日頃からバッテリーの状態を確認し、十分なメンテナンスを行なってください。

（2）リモコンの取り扱いに関する注意

注意

- リモコン本体を強い力で押したり、曲げたりしないでください。内部部品の破損やリモコンの通信エラー等の故障原因となります。
- リモコンは落としたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
- リモコンは完全防水性ではないため内部へは絶対に水などが浸入しないように十分注意してください。
- 水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。
  また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
- 持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- 専用充電池または市販の充電用単4乾電池以外は使用しないでください。
- 電池は使用場所の温度の影響を受け易い性質を持っています。例えば冬に寒い場所で使用した場合、暖かい場所に比べると電池残量の表示が減りやすい傾向になりますが、室内に入るなどして温度が上がると、減っていたはずの電池残量の表示が増えることがあります。

お取り扱い上の注意

この装置は、電波法に基づく特定小電力無線局の技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許申請は不要です。したがって次のことを厳守してください。
●商品に付いているラベルは、技術基準適合証明のしるしです。
　このラベルを絶対にはがさないでください。
●表示ラベルの付いている商品を分解したり、改造して使用することはできません。
●不法に改造して使用すると、法律により罰せられます。
●本商品は、日本国内専用であり、外国では使用できません。
　This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.
　外国では、電波法が異なり違法となります。

（3）使用方法についての注意

⚠注意

●本商品はスリープモードの設定などにより、低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。バッテリーの状態によっては、1週間以上車両をご使用されない場合などは、セルモーターが駆動せず、エンジン始動ができなくなります。バッテリーのメンテナンスを定期的に行ない、車両本体のエンジン始動状況等を日頃から十分にご確認ください。
●本商品の警告音、サイレンは、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切な感度にてご使用ください。
●何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であっても強制サイレンにより警報（サイレン）が鳴りだす場合がありますが、あわてずにリモコンにより解除してください。
●本商品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
●本商品はメインユニットおよびアンテナユニットは完全防水仕様ですが、故意に水をかけたり、落とすなどの行為はおやめください。
●本商品は電波を使用している性質上、周囲の環境（建物などの障害物、強力な電波や電磁波の影響など）や車両のバッテリー状態、リモコンの電池の充電状況によっては、通信のエラー等や混信を受けます。また通信距離にも影響が出ます。

! お読みください

●本商品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社では責任を一切負いかねますのでご了承ください。
●本商品の取り扱いにより、お客様に不利益な状況が発生しても、当社では責任を一切負いかねますのでご了承ください。
●当社では商品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行なっておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
●取り付けの前に必ず、梱包物をご確認ください。
●本商品の仕様、デザインおよび価格は予告なく変更される場合があります。
●本商品は予告なく販売終了させていただく場合があります。

梱包物をご確認ください

梱包物

メインユニット×1台

リモコンユニット×1個

アンテナユニット×1個

動作確認LED×1個
LED用ステー×1個

AC/DCアダプタ×1個

充電器×1個

その他：メインハーネス×1束、アンテナハーネス×1束
　　　　バックアップバッテリー×1個、丸端子×2個
　　　　ギボシ(オス)・スリーブ×1セット
　　　　ターミナルギボシ(メス)・スリーブ×1セット
　　　　取扱説明書×1部、取付説明書×1部
　　　　結束バンド×2本、両面テープ×3枚

リモコンについて

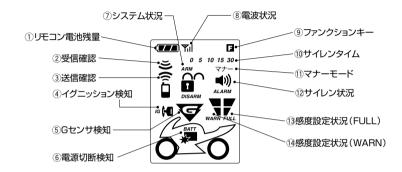
相互通信機能

リモコンを操作することでシステムの作動／解除や機能設定変更はもちろん、それらの操作完了を手元のリモコンで確認することができます。また、愛車の異常の確認も手元のリモコンで知ることができます。

●リモコンの各部名称

⚠ 注意

- ●リモコン本体を強い力で押したり、曲げたりしないでください。内部部品の破損やリモコンの通信エラー等の故障原因となります。
- ●アンテナは固定式です。無理に引っ張らないでください。故障の原因になります。

●液晶表示アイコンの説明

①電池残量 ……………現在の電池残量を表示します。
②受信確認 ……………メインユニットからの受信を表示します。
③送信確認 ……………リモコンからの送信を表示します。
④イグニッション検知 ……システム作動中にイグニッションスイッチを不正操作されたことを表示します。
⑤Gセンサ検知…………システム作動中に衝撃または傾斜によってGセンサが検知したことを表示します。
⑥電源切断検知 …………システム作動中に電源を断線されたことを検知して表示します。
⑦システム状況 …………セキュリティーのON／OFFを表示します。
⑧電波状況 ……………メインユニットからの信号受信時に表示します。
⑨ファンクションキー ……各設定モードに移行したことを表示します。
⑩サイレンタイム …………現在設定されたサイレンの作動時間を表示しています。作動時間を0秒に設定するとサイレント（消音）モードにすることができます。
⑪マナーモード …………リモコンがマナーモード（リモコン着信音なしでバイブのみ）に設定されたことを表示します。
⑫サイレン状況 …………サイレンが鳴った時、履歴として表示します。（警告音は表示されません）
⑬感度設定状況（FULL）…現在のGセンサのサイレン感度（大音量の連続音 ピーッ）を表示します。
⑭感度設定状況（WARN）…現在のGセンサの警告音感度（小音量の断続音 ピッ、ピッ）を表示します。

リモコンの充電について

●はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してからお使いください。その際、充電時間が長くなることがあります。
●充電電池は消耗品です。完全に充電した後にご使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しい充電電池（充電用単4乾電池［1.2V］1個）をお買い求めください。
●下の表示は電池残量表示アイコンが充電容量が低下していることをお知らせしています。速やかに充電してください。

リモコンの電池が低下していることを表示しています。

フル充電

リモコンの充電方法

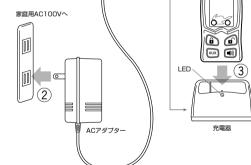
①充電器のアダプター差し込み口にAC/DCアダプターのプラグを差し込みます。

②AC/DCアダプターを家庭用AC100Vコンセントに差し込みます。

③充電器にリモコンを差し込みます。
充電を開始すると、充電器のLEDが赤色に点灯し、充電が完了するとLEDが消灯します。

ヒント

●リモコン電池の使用時間の目安は、セキュリティON時では満充電で待受け最大で約3日間です。
●充電時間は約3～4時間が目安です。
●使用時間や充電時間は、電池残量や周囲温度などの使用状況や環境により異なります。

注意

●必ず専用充電器を使用してください。
●充電器はAC100Vの家庭用電源以外は使用しないでください。
●リモコン用電池として一次電池をご利用になる際には、絶対に充電はしないでください。液漏れや破裂等をおこす危険があります。
●**充電中はリモコンの電池残量表示がフル充電表示をしますが、すぐにフル充電になるわけではありません。充電器のLEDが消灯するまでお待ちください。**

●標準センサについて

三次元Gセンサ警報

【目的】盗難やいたずら等による衝撃や傾きをキャッチ！

Gセンサの採用により弱い衝撃には警告音（小音量の断続音 ピッ、ピッ）を鳴らし、強い衝撃にはサイレン（大音量の連続音 ピーッ）が鳴り威嚇します。さらにセンサが車体の傾きをキャッチすると即サイレンを鳴らして威嚇します。また、坂道駐車の場合も傾斜角度を自動学習し、車体の傾きを検出します。
リモコンで衝撃感度を4段階で調整でき、誤作動を低減します。

※センサの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（幹線道路周辺、工事現場や工場の近く、飛行場周辺、バックファイヤーの激しい車の往来、台風その他）による微振動や衝撃波を検出して犯罪時以外にもサイレンが鳴る場合があります。センサの特徴をよく理解し、ご利用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご利用ください。
※一般的にセンサで傷つけなどのいたずらを防ぐことはできません。
※傾斜の検出角度は約5度固定です。

イグニッション警報

【目的】乗り逃げ対策！

システム作動中に、メインスイッチを操作してエンジンをかけようとするとサイレンを鳴らして威嚇します。

●省電力モード（P.18）に入っている状態では、イグニッションセンサは働きません。

電源切断警報

【目的】バックアップバッテリーで警報！

システム作動中、車両とメインユニットの間の電源が切断されてもバックアップバッテリーで警報。
メインユニットのサイレンを鳴らして威嚇します。

注意

●電源切断警報時は異常通信を優先させるためにオプションサイレンは鳴りません。

異常通知

センサが異常をキャッチした場合、サイレン発報に加え、リモコンに異常があったことを通知することができます。

ヒント

異常通知を30秒間のリモコンの着信音・バイブで知ることができます。
・マナーモード（P.27参照）
・バイブモードの切り替え（P.34参照）
・着信音の変更（P.35参照）

センサの異常検知時の動作について

本商品には異常を検知したセンサの種類に応じた発報があります。

	異常検知の種類	警告音／サイレンの鳴り方	リモコンの表示
Gセンサ	①弱い衝撃を受けたとき	警告音： ピッピッピッピッピッピッ	なし
	②強い衝撃を受けたとき	サイレン： ピ――――――ッ	ALARM 点滅
	③バイクを5°傾けたとき	サイレン： ピ――――――ッ	ALARM 点滅
イグニッションセンサ	④メインスイッチの 不正操作があった場合	サイレン： ピ――――――ッ	ALARM IG 点滅
バッテリーセンサ	⑤電源切断があった場合	サイレン： ピ――――――ッ	ALARM BATT 点滅

※サイレンタイムは30秒が初期設定値です。
15、10、5秒の設定が選択できます。0秒に設定するとサイレント（消音）モードになります。

●着信中はリモコン表示が点滅、着信後は点灯に変わります。

●サイレン・音に関する機能

サイレン

メインユニット内蔵のピエゾサイレンは80dBの高音量電子サイレンで犯罪抑止効果は抜群です。
防犯効果をさらにアップさせたい場合は大音量サイレン（別売オプション：90793-67129）の装着をお勧めします。

サイレンタイム選択

サイレンによる警報発報時間を0、5、10、15、30秒で選択できます。（P.31参照）

初期設定：30秒

サイレントモード

サイレンタイムを0秒にすることで、センサが異常をキャッチしてもサイレン音を鳴らさなくすることができます。異常はリモコンへの異常通知で知ることができます。（P.12参照）

動作確認音消音機能

システム作動時（解除時）の操作で、一時的に動作確認音を消音することができます。（P.21／P.22参照）

マナーモード

リモコンの着信音を一時的に消音し、バイブにすることができます。
（P.27参照）

●異常確認に関する機能

メモリー機能

システム作動中、サイレン音が鳴ったことを記憶し、システム解除時に動作確認音の回数が変化して、サイレンが鳴ったことをレポートしてくれる便利な機能です。

サイレンが鳴らなかった場合	2回の確認音
サイレンが鳴った場合	4回の確認音
迷惑防止機能が働いた場合	5回の確認音

●迷惑防止機能はP.18をご参照ください。

動作確認LED

本商品にはダイアグノスティック機能が内蔵されており、センサが異常を検出してサイレンが鳴った場合にLEDの点滅回数によってある程度特定することができます。

LED点滅回数	発報履歴内容
0回	発報なし
1回	発報なし
2回	Gセンサが反応
3回	メインスイッチがONされた
4回	バッテリー断線

ヒント

●履歴削除またはメインスイッチをONにするとメモリー機能はリセットされます。
●システム作動からセンサが異常を検知せずに約24時間経過すると、動作確認LEDは消費電流を抑えるため消灯します。

システム作動時

異常の履歴を1つ記憶することができます。

システム解除時

異常の履歴を3つまで記憶することができます。

例：Gセンサが反応し、その後イグニッションセンサが反応し、発報した場合
　2回点滅－3回点滅を繰り返します。
例：バッテリー断線が反応し、その後Gセンサが反応し、発報した場合
　2回点滅－4回点滅を繰り返します。
例：イグニッションセンサが反応し、その後Gセンサが反応し、最後にバッテリー断線が反応し発報した場合
　2回点滅－3回点滅－4回点滅を繰り返します。

※反応した順序や最後に反応したセンサの特定はできません。

履歴確認方法

システム作動中

異常通知着信後、リモコン画面の表示により異常状況を知ることができます。
※ ボタンを着信中や着信後に押すことでセンサ履歴は画面上から消すことができます。

システム解除中

セキュリティシステムを解除すると、センサ履歴が8回点滅して異常があったことを知ることができます。
※再度、センサ履歴を確認したい場合に履歴確認操作を行ないます。

履歴確認操作方法

①AUXボタンを押した後にボタンを押します。
②リモコン画面にセンサ通知履歴が表示されます。

履歴表示の一例

履歴消去方法

システム作動中

センサ履歴消去はできません。

システム解除中

メインスイッチをONの位置にします。（エンジン始動します）
もしくは
①ボタンを押した後にAUXボタンを押します。
②リモコン画面に ALARM が8回点滅し、警告LEDが消灯し、センサ履歴が消去されます。

履歴表示の一例

●便利な機能

強制サイレン

いざというときに、意外と大きな声では叫べないもの。でも、強制サイレンならリモコン操作で強制的にサイレンを鳴らすことができます。(P.26参照)

＊強制サイレンの作動時間はリモコンによる機能設定で選択された秒数に関係なく約30秒間鳴り続けますが、任意に停止させる事もできます。

迷惑防止機能

本商品には迷惑防止機能が内蔵されています。メインユニット内蔵の各センサが8回異常を検出しサイレンが鳴った場合、8回目の異常を検出した時点からセンサ検知が無効となります(9回目以降の異常は、解除時の履歴で確認可能です)。
システムを解除し、再度システムを作動することで迷惑防止機能はリセットされます。

レジューム機能

各種作動状態を記憶し、バッテリーが抜かれても電源復帰した時点で記憶状態を再現します。
機能設定された内容を記憶するため、メンテナンス等でバッテリーが外されても設定内容が残っているため再設定する必要がありません。

省電力モード

本商品には省電力モードが備わっています。省電力モードとは、センサの反応の有無に関わらず、システムを作動してから約48時間(約2日間)経過すると自動的にバッテリーの負担を軽減させます。

●省電力モード中は、イグニッションセンサは働きません。Gセンサ、バッテリーセンサは引き続き警戒を続けます。

ヒント

省電力モードとは？
省電力モード中はリモコンの操作が一切できなくなります。ただし、異常検知時には異常通知を送信します。異常検知後1分間はリモコン操作が可能となりシステム解除などの操作ができます。
省電力モード中はリモコンからのシステム解除ができません。P.28の「強制的に省電力モードに移行させる方法、省電力モードから復帰させる方法」を参照の上、省電力モードから復帰させる必要があります。

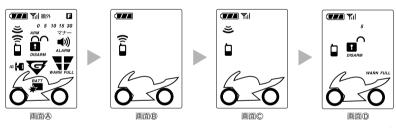
リモコンの操作方法

基本操作

リモコン操作により、システムの作動や解除および機能設定などを行ないます。メインユニットの車両取付、配線接続・充電およびリモコンの電池装着・充電が終了していることを確認してください。
なお、リモコンのボタン操作は、特に指示がない限り1秒ほどしっかりと押してください。また、メインユニットからリモコンに通信を行なっている間は、リモコンの操作が効かない場合があります。通信が終了してから再度操作を行なってください。

リモコンの電源を入れるには

①リモコンの AUX ボタンを3秒以上の長押しをします。
②「ピッ」と電源投入音が鳴り、バックライトと全てのアイコンが表示され(画面Ⓐ)、リモコン電源が入ります。
③リモコンとシステムが相互通信を行ない、システム状況を確認し、表示します。(画面ⒷⒸⒹ)

画面Ⓐ　画面Ⓑ　画面Ⓒ　画面Ⓓ

相互通信を行ない、システム状況を確認します。　システムが解除中の場合

ヒント

●リモコンの電源が入っていない場合、システム作動中にセンサが異常を検出し、サイレンが鳴っていた場合は電源投入後に異常通知を受信します。

通信エラー表示について
ボタン操作による通信ができなかった場合、エラー音「ピピッピピッピピッ」が鳴ります。
エラー音が鳴った場合、車両の設定状況などは画面に表示されませんが、
 AUX のいずれかのボタンを1秒ほど押すことで相互通信を再度試み、システム状況を確認します。

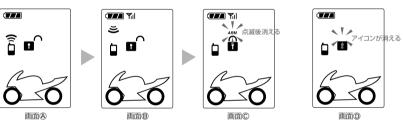
リモコンの電源を切るには

①リモコンの AUX ボタンを3秒以上の長押しをします。
②「ピッ」と電源投入音が鳴り、オートバイアイコン以外のディスプレイ表示が消え電源を切ることができます。

●システム作動中に電源を切る際に、異常通知があると異常通知が優先されるため電源を切ることはできません。
電源を切る際は、履歴削除を行なってから電源をお切りください。
履歴削除方法（P.17参照）

システム作動させるには

システムを作動させて車両を警戒態勢にします。

①車両のメインスイッチをOFFにします。
②リモコンの ボタンを押します。
③リモコンの液晶画面に と表示されます（画面Ⓒ）。
④同時にリモコンとメインユニットからシステム作動音が「ピッ」と鳴りシステムが作動します。

●エラー音が鳴った場合は再度!からの操作を行なってください（エラー音「ピピッピピッピピッ」)。
●作動（の通信）に失敗した場合、画面Ⓓのようになります。再度、作動の操作を行なってください。

消音機能

本商品にはメインユニットからシステム作動音を鳴らさずに車両を警戒態勢にすることができます。

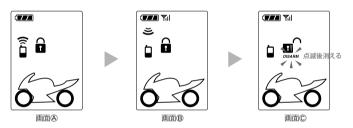
①リモコンの AUX ボタンを押した後に ボタンを押します。
②リモコンの液晶画面に と表示されます。
③リモコンのみ「ピッ」とシステム作動音が鳴り、システムが作動します。

▲ヒント ●システム作動中は履歴削除できません。

●本商品のリモコンユニットは機能設定などのデータ電送の際には約5秒間のレスポンスがあります。
●エンジン作動中にシステムを作動させることはできません（エラー音「ピピッピピッピピッ」が鳴ります）。
●リモコンのボタンはゆっくり確実に操作し、ディスプレイの発信マークを確認してください。

システムを解除させるには

システムを解除させて警戒態勢を解きます。

①リモコンの 🔓 ボタンを押します（画面Ⓐ）。
②リモコンの液晶画面に 🔓DISARM と表示されます（画面Ⓒ）。
③同時にリモコンとメインユニットからシステム解除音が「ピッピッ」と鳴りシステムが解除します。

●エラー音が鳴った場合は再度①からの操作を行なってください（エラー音「ピピッピピッピピッ」）。
●センサが異常を検知してシステム解除した場合はメインユニットが「ピッピッピッピッ」もしくは「ピッピッピッピッピッ」と鳴ります。

消音機能

本商品にはメインユニットからシステム解除音を鳴らさずに車両の警戒態勢を解除することができます。

①リモコンの AUX ボタンを押した後に 🔓 ボタンを押します。
②リモコンの液晶画面に 🔓DISARM と表示されます。
③リモコンのみ「ピッピッ」とシステム解除音が鳴り、システムが解除します。

⚠注意

●センサが検知しても消音機能を使用した場合、システム解除音は鳴りません。
●本商品のリモコンユニットは機能設定などのデータ通信の際には約5秒間のレスポンスがあります。
●省電力モード中は、リモコンからのシステム解除ができませんので、省電力モードを解除してからリモコン操作を行なってください。

省電力モードからシステムを解除させるには

省電力モードを解除させてから警戒態勢を解きます。

①メインスイッチをONにします。
②メインスイッチをOFFにします。
　省電力モードが解除されます。
　システムは引き続き作動中です。
③省電力モードが解除された状態で、システムを解除（P.22）してください。

⚠注意

●省電力モード中は、イグニッションセンサは働きません。上記手順にて、メインスイッチをON→OFFにすると再度警戒を開始します。Gセンサ、バッテリーセンサは引き続き警戒を続けます。

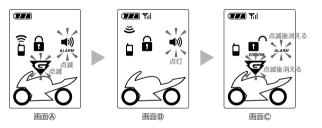
鳴っているサイレンを止めるには

センサが異常を検知し、サイレンが鳴っているときに鳴っているサイレンを止めることができます。方法は2つあります。

方法①（サイレン停止後システム解除させる方法）

①リモコンの ボタンを押します（画面Ⓐ）。
②サイレン音が止まります。
③同時にリモコンとメインユニットからシステム解除音が「ピッピッピッピッ」と鳴りシステムが解除します。
サイレンが鳴った原因のセンサが点滅表示します（画面Ⓒ）。

画面Ⓐ 画面Ⓑ 画面Ⓒ

⚠注意

●異常通知を優先するため解除しにくい場合があります。その場合は異常通知を受信してから操作を行なってください（エラー音「ピピッピピッピピッ」）。

方法②（サイレン停止後も引き続きシステム作動中にさせる方法）

①リモコンの ボタンを押します（画面Ⓐ）。
②リモコンのブザー音が止まり、システム作動中のままサイレンを止めます（画面Ⓓ）。

画面Ⓐ 画面Ⓒ 画面Ⓓ

⚠注意

●異常通知を優先するため解除しにくい場合があります。その場合は異常通知を受信してから操作を行なってください（エラー音「ピピッピピッピピッ」）。

強制的にサイレンを鳴らすには(強制サイレン)

本商品は、リモコン操作によって強制的に30秒間のサイレンを鳴らすことができます。犯人への威嚇や周囲への通報を行なうときに使用します。この機能はシステム状態に関係なく使用することができます。

強制サイレンを行ないます。

①リモコンの ボタンを3秒以上長押しします。
②リモコンの液晶画面上に ALARM が表示されサイレンが鳴動します。

解除方法

①リモコンの ボタンを押します。
②リモコンの液晶画面上から ALARM の表示が消えサイレンが鳴動を停止します。

リモコンの着信音を鳴らさないようにするには（マナーモード）

本商品には、リモコンの着信音を鳴らさないようにするマナー設定することができます。
マナーモード設定時はバイブによって異常を知らせます。
なお、着信音以外の音（設定時の音など）は消音されません。

リモコンの着信音を鳴らさないようにします。

①リモコンの ボタンを押してから ボタンを押します。
②リモコンから「ピッ」と音が鳴り、リモコンの液晶画面上に マナー と表示されます。

解除方法

①リモコンの ボタンを押してから ボタンを押します。
②リモコンから「ピッピッ」と音が鳴り、リモコンの液晶画面上から マナー の表示が消えます。

鳴っているリモコン着信音を止めるには

異常通知の着信音を途中で止める場合に使用します。

①リモコンの ボタンを押します。
②リモコン着信音が停止します。
③原因のセンサ表示と ALARM の表示が消えます（画面Ⓑ）。

画面Ⓐ

画面Ⓑ

ヒント ● ボタンを押すことでサイレンも同時に停止します。

強制的に省電力モードに移行させる方法

ヒント 本商品には省電力モードが備わっていますが、システム作動状態が約48時間（2日間）経過しないと省電力モードに移行しません。この操作を行なった直後から省電力モードに移行することができます。システム作動中、解除中関係なく移行することができます。

①リモコンの ボタンを押してから ボタンを押します。
②メインユニットからシステム作動音が「ピッピッ、ピッピッ」と音が鳴り省電力モードに移行します。

注意

●省電力モード中はキー操作が無効になります（エラー音「ピピッピピッピピッ」）。
●メインスイッチがONの状態の時には、省電力モードには移行しません。

省電力モードから復帰させる方法

①メインスイッチをONの位置まで回してください。
②省電力モードから復帰します。

注意

●メインスイッチをONにする際、省電力モードを使用している場合はGセンサが検知しないよう注意をして行なってください。

Gセンサの衝撃感度調整方法

Gセンサには、衝撃の強さによって警告音とサイレンが鳴ります。
弱い衝撃のときには警告音（WARN）、強い衝撃のときはサイレン（FULL）です。
リモコンから感度調整を行ないます。お買い上げ時はサイレン感度レベル3、警告音感度レベル3に設定されています。
・弱い衝撃に対して：警告音「ピッ、ピッ」
・強い衝撃に対して：サイレン「ピ―――」
・傾斜に対して：サイレン「ピ―――」

警告音（小音量の断続音 ピッ、ピッ）の作動感度を調整します。

① AUX ボタンを押しながら ボタンを同時に押します。
②画面上に F と WARN と現在の感度レベルが表示されます。

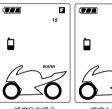
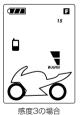
感度0の場合

感度1の場合

③感度を上げる場合は ボタンを押します。
④感度を下げる場合は ボタンを押します。
⑤ AUX ボタンを押して感度設定の確定をさせ終了します。

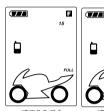
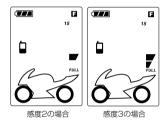
感度2の場合

感度3の場合

注意

●設定中に約10秒間ボタン操作がない場合、設定は中断され設定前の状態に戻ります。その場合は再度設定してください。
●リモコンに異常通知の履歴がある場合は、設定ができませんので履歴削除をしてから設定してください。
●システム作動中に設定する場合は、異常通知があると異常通知が優先されます。設定は中断され設定前の状態に戻ります。中断してしまった場合は、履歴削除をしてから再度設定してください。

サイレン（大音量の連続音 ピーッ）の作動感度を調整します。

①AUX ボタンを押しながら ボタンを同時に押します。

②画面上に F と FULL と現在の感度レベルが表示されます。

感度0の場合

感度1の場合

③感度を上げる場合は ボタンを押します。

④感度を下げる場合は ボタンを押します。

⑤AUX ボタンを押して感度設定の確定をさせ終了します。

感度2の場合　感度3の場合

⚠注意

●設定中に約10秒間ボタン操作がない場合、設定は中断され設定前の状態に戻ります。中断してしまった場合は、再度設定してください。
●リモコンに異常通知の履歴がある場合は、設定ができませんので履歴削除をしてから設定してください。
●システム作動中に設定する場合は、異常通知があると異常通知が優先されます。設定は中断され設定前の状態に戻ります。中断してしまった場合は、履歴削除をしてから再度設定してください。

警告音（WARN）、サイレン（FULL）の感度設定がともに0の場合でも、傾斜による警戒は続いています。
強すぎる衝撃を加えた場合、傾斜としてセンサが読み取ってサイレンが鳴る場合があります。

サイレンタイム設定方法

サイレンの作動時間は以下から設定できます。　初期設定：30秒

0秒	5秒	10秒	15秒	30秒

サイレンタイムを設定します。

① ボタンと ボタンを同時に押します。

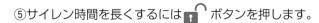
② F と現在のサイレンタイムが表示されます。

③サイレン時間を短くするには ボタンを押します。

④画面上の数字が ボタンを押すたびに30秒、15秒、10秒、5秒、0秒と変化します。

15秒の場合

⑤サイレン時間を長くするには ボタンを押します。

⑥画面上の数字が ボタンを押すたびに0秒、5秒、10秒、15秒、30秒と変化します。

⑦AUX ボタンを押してサイレンタイム設定の確定をさせ終了します。

⚠注意

●設定中に約10秒間ボタン操作がない場合、設定は中断され設定前の状態に戻ります。中断してしまった場合は、再度設定してください。
●リモコンに異常通知の履歴がある場合は、設定ができませんので履歴削除をしてから設定してください。
●システム作動中に設定する場合は、異常通知があると異常通知が優先されます。設定は中断され設定前の状態に戻ります。中断してしまった場合は、履歴削除をしてから再度設定してください。

リモコンの各設定について

リモコンの各設定モードでは、下記の3つの設定変更を行なうことができます。

バックライトの切り替え

ボタン操作時や着信時のバックライトの有無を設定変更できます。

バイブの切り替え

作動／解除や異常通知の着信バイブの有無を設定変更できます。

着信音の切り替え

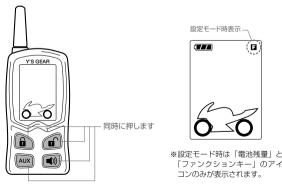
作動／解除や異常通知の着信音を6種類の中から選択することができます。

各設定を行なうには下記の操作を行ない、設定モードに移行する必要があります。

リモコン設定モード

① AUX の4つのボタンを同時に押します。

② F が表示され設定モードに移行したことを知らせます。

※設定モード時は「電池残量」と「ファンクションキー」のアイコンのみが表示されます。

バックライトの切り替え

初期設定：ON

設定モードに移行します。

① AUX の4つのボタンを同時に押します。

② F が表示され設定モードに移行したことを知らせます。

バックライトを点灯するように設定します。

① ボタンを押すと「ピッ」と鳴りバックライトが点灯します。

②そのまま放置して10秒後に設定音が鳴ったら終了です。

バックライトを点灯させないように設定します。

① ボタンを押すと「ピッピッ」と鳴りバックライトが消灯します。

②そのまま放置して10秒後に設定音が鳴ったら終了です。

バイブモードの切り替え

初期設定：ON

設定モードに移行します。

① AUX の4つのボタンを同時に押します。

② F が表示され設定モードに移行したことを知らせます。

バイブを作動するように設定します。

① ボタンを押すと「ピッ」と鳴りバイブが作動します。

②そのまま放置して10秒後に設定音が鳴ったら終了です。

バイブを作動させないように設定します。

① ボタンを押すと「ピッピッ」となりバイブが作動しなくなります。

②そのまま放置して10秒後に設定音が鳴ったら終了です。

着信音の変更

着信音は **6種類** の中から選択することができます。

設定モードに移行します。

① AUX の4つのボタンを同時に押します。

② F が表示され設定モードに移行したことを知らせます。

着信音を設定します。

① ボタンを押すと着信音が鳴り、押すたびに順次変更ができます。

②着信音を選択します。

③そのまま放置して10秒後に設定音が鳴ったら終了です。

トラブルシュート

故障かな？と思ったら

Q1.勝手にサイレンが鳴る
A1.メインユニットの固定が不十分
→確実に固定してください。
A2.電源線の接触不良
→電源線を確実に接続してください。
A3.Gセンサの感度が強すぎる
→感度を絞ってください。

Q2.リモコンが利かない
リモコンの画面表示である程度判断できます。
A1.ラジオ局など無線局が近くにある
→バイクの近くに寄って操作してください。
A2.リモコンの電池がない
→充電してください。
A3.リモコンの電池の接触不良
→電池を入れ直してください。
A4.水の浸入があった
→お買い求めの販売店に持ち込み修理を依頼することをお勧めします。
＊水の浸入による故障は保証期間内であっても有償修理となります。
A5.省電力モードに移行している
→省電力モードを解除してください。
A6.リモコンを操作したのに反応が遅い
→リモコンを操作した後、メインユニットからの信号をチェックしていますので操作してから2～3秒遅れます。

Q3.システムの作動ができない
A1.イグニッションONになっている
→イグニッションをOFFにしてください。

Q4.叩いてもサイレンが鳴らない
A1.システムをONにしてから5秒以上待っていない
→システムをONにしてから5秒以上待ってください。
A2.車体を揺らしている
→揺れには反応しません。
A3.感度が低すぎる
→感度を上げてください。
A4.メインユニットの固定方法が最適でない
→説明書通りに固定してください。
A5.迷惑防止機能が働いている
→迷惑防止機能を解除してください。

Q5.イグニッションセンサが働かない
A1.作動音がしてから5秒以上待っていない
→システムをONにしてから5秒以上待ってください。
A2.イグニッション線の接続不良
→イグニッション線を確実に配線してください。
A3.迷惑防止機能が働いている
→迷惑防止機能を解除してください。
A4.省電力モードに移行している
→省電力モードを解除してください。

上記のテストを行なっても正しく作動しない場合は取付販売店へお尋ねください。

保証とアフターサービス

保証書

この商品の保証書は次頁に添付されています。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、保証書の記載内容により修理いたします。

保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店、または（株）ワイズギアにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により有料修理いたします。

修理のためお買い上げの販売店にお持ちになるときは、メインユニットとリモコン、アンテナユニット、動作確認LED、その他オプションのサイレン等を一緒にお持ちください。

リモコンを紛失、破損した場合

お買い上げの販売店、または（株）ワイズギアにご相談ください。

お願い

保証書に必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

保証規定

1. 保証内容

お買い上げいただいたセキュリティ ペイジャーSP-1（以下、商品といいます。）を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、この保証書に示す期間と条件に従って、無料で修理いたします。（以下、この無料修理を保証修理といいます。）保証修理は部品の交換あるいは補修により行ないます。
なお、取り外した部品は、弊社の所有となります。

2. 保証期間

保証修理を受けられる期間は、商品の購入日（お客様が購入された日）より1年間とします。

3. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、お買い上げいただいた販売店へこの保証書をお持ちいただき、保証修理をお申し付けください。これにより保証修理をいたします。この保証書を提示されない場合は、保証修理をいたしかねます。

4. 保証を適用しない事項

⑴ 次に示す現象、不具合については保証修理適用外となります。

① 使用損耗または経時変化により発生する現象（樹脂部品等の自然退色およびひび割れ、腐食、錆、劣化ならびにこれらに類するもの）
② 機能上影響のない感覚的現象（音、振動等）

⑵ 次に示すものに起因する不具合は、保証修理適用外となります。

① 弊社純正または弊社の指定する以外の部品、材料等の使用
② 取扱い、保守、整備の誤り、不備、または不適当
③ 取扱説明書などにより弊社が示す取扱方法と異なる使用
④ 弊社の認めていない修理、改造、部品・付属品の装着
⑤ 地震、台風、水害等の天災、事故
⑥ 5．の「お客様にお守りいただく事項」の不遵守
⑦ 薬品、塩分等の外部要因

⑶ 次に示すものの費用は負担いたしません。

① お買い上げいただいた販売店以外での修理の費用
② 商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失など（電話代、休業補償、営業損失等）
③ 盗難等によって発生した車両の損害額

5. お客様にお守りいただく事項

次の事項を必ずお守りください。
取扱説明書などにより、弊社の定める取扱い方法および仕様に従った正しい使用

6. 保証書の発効

この保証書は、お買い上げいただいた販売店が、この保証書に必要事項を記入、捺印することにより有効になります。

7. 保証の適用

この保証書は、日本国内で販売され、かつ使用される商品に限り適用いたします。従って、日本国外に持ち出す場合は、その時点で保証が打ち切りになります。

8. その他

この保証書は、本書に明示した期間と条件のもとに無料修理をお約束するものです。従って、保証期間経過後に発生した不具合の修理は有料です。

株式会社ワイズギア
〒432-8058
静岡県浜松市南区新橋町1103
TEL 053-443-2180
FAX 053-443-2187

保 証 書

お客様記入欄	商品名 セキュリティ ペイジャーSP-1	製造番号 ご購入年月日　年　月　日
	お名前（フリガナ） 生年月日 年　月　日（満　歳）	
	ご住所 〒 取付車種名 取付車体番号 お電話番号　（　　）	
販売店記入欄	※取り扱い販売店名・ご住所・お電話番号 印 保証期間はご購入日より1年間	

☆お客様へのお願い
上記お客様記入欄に必要事項をご記入の上、大切に保管されるようお願い申し上げます。
万一お客様控えを紛失された場合は、再発行いたしかねますのであらかじめご了承ください。

☆販売店様へのお願い
※本保証書に記載のない場合、無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。

株式会社ワイズギア　〒432-8058　静岡県浜松市南区新橋町1103
TEL 053-443-2180　FAX 053-443-2187

バックアップバッテリーについて

同梱されています「バックアップバッテリー」につきまして下記の項目をご理解頂きます様お願い申し上げます。

①バックアップバッテリーは9V乾電池を使用しておりますので交換が必要です。

②交換に際しましては、弊社が設定しています補修用バックアップバッテリーをご使用ください。(防滴仕様になっています。)

③バックアップバッテリーは主電源が切断された場合に電気を供給します。使用しない場合でも電池容量の劣化によって電圧が低下しますので、約1年半を目安に交換してください。また、故意に主電源を切断した場合、連続約20回サイレンを鳴らした場合はバックアップバッテリーの電圧が使用限度近くになりますので交換をお奨めします。

④バックアップバッテリーは7V以下では使用できません。7V以下になりましたら交換をしてください。

お問い合わせ先

●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア　営業部 053-443-2180

〒432-8058　静岡県浜松市南区新橋町1103番地　FAX 053-443-2187
インターネットホームページ　http://www.ysgear.co.jp/

※カスタムパーツ装着の場合、オートバイ本体のクレーム及びメーカーサービスを受けられない場合があります。

製品仕様

●電源電圧	DC12V
●平均消費電流（待機時）	約10mA
●平均消費電流（警報時）	約160mA
●サイレン音圧	約80dB
●使用周囲温度	約−40℃〜+80℃
●メインユニット外形寸法	約66×74×27mm
●メインユニット質量	約110g

操作一覧

リモコンのボタンの操作は、特に指示がない限り１秒ほどしっかりと押してください。
メインユニットからリモコンに通信を行なっている間は、リモコンの操作が効かない場合があります。通信が終了してから再度操作を行なってください。
各操作の詳細につきましては、本書記載の各項目の内容をご確認ください。

操作	ボタン
システム作動	
システム解除	
強制サイレン	を長押し
マナーモード	を押してから
省電力モード	を押してから
衝撃感度調整 ・警告音 ・サイレン	 AUX を押しながら AUX を押しながら
履歴確認	AUX を押してから
履歴削除	を押してから AUX
サイレンタイム設定方法	と を同時に押す
リモコンの各設定	と と AUX と の4つのボタンを同時に押す ①バックライトの切り替え を押す ②バイブの切り替え を押す ③着信音の変更 を押す

発売元

株式会社ワイズギア
〒432-8058 静岡県浜松市南区新橋町1103番地
TEL.053-443-2180 FAX.053-443-2187
http://www.ysgear.co.jp/

7. セキュリティペイジャー（SP-1）

■ トラブルシューティング

• リモコン系

・充電しない
→①リモコン本体、②充電器、③充電池の問題
①：リモコンを修理　②充電器交換　③充電池の交換

・液晶が写らない・バイブレーションが動かない・音がでない
→リモコンに物理的ダメージがあり液晶・バイブ等の回路が破損：リモコンの修理及び交換

・リモコンケースを破損した
→ケースの交換はできないため、新品に交換し、本体と同期させる。

・ボタンを押しても反応しない
→液晶が写らないと同様の対処。

・発信はするが返信がない
→「**• 修理対応の仕方**」の表にてチェック

• その他

・LEDがつかない
→LED交換

・本電源をカットしても警報が鳴らない。
→接触不良や配線ミスにより本電源が断線した状況になっているため、配線を正規にする。
上記状況が発生している場合は、9Vのサブバッテリーの電圧が下がっている。サブバッテリーも要交換。

・省電力モードから復帰しない
→黄色配線が配線されていないか、接触不良が原因。省電力モードに移行しなければこの状態で使用できてしまう。48時間以上経過すると通信できないため、通信不良という症状になる。

・本体のバッテリーが上がってしまう。
→使用中の走行等が少なかったり、極端に容量の少ないバッテリーに接続するとこの状態になる。
ただし、本体の異常も考えられる：場合によっては修理交換の必要もあり。

• 修理対応の仕方

→ 動作不良という症状でスタートする場合、リモコンが効かないとの症状がもっとも多い。

・故障原因の推定：原因はいくつかの症状に大別できるので確認しながら対応方法を決める。